

第23回

東金市民アンケート調査報告書

令和元年11月



東 金 市

目 次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査対象及び調査方法	1
	(3) 配布数及び回収結果	1
	(4) 本報告書の留意事項	1
2	回答者の属性	2
	(1) 性別	2
	(2) 年齢	2
	(3) 職業	3
	(4) 居住年数	3
	(5) 居住地区	4
	(6) 家族構成	4
	(7) 住まいの形態	5
II	調査結果	6
1	東金市の住みごこちなどについて	6
	(1) 市に対する愛着度	6
	(2) 市の住みやすさについて	8
	(3) 住みにくい理由	10
	(4) 今後の定住意向	14
	(5) 居住地に求める条件	16
2	生活や考え方について	19
	(1) 地域活動の参加状況	19
	(2) 地域活動の参加意向	21
	(3) ボランティア活動の参加状況	23
	(4) ボランティア活動の参加意向	25
	(5) 避難場所やハザードマップの確認	27
	(6) この1年間に防災訓練に参加したか	29
	(7) 頼りになる友人や知人が近所にいるか	31
	(8) 日頃の健康増進のための取り組み	33
	(9) 日頃市内で買い物をしているか	35
	(10) この1年間に生涯学習活動をしたか	37
	(11) 週1回以上スポーツ活動をしているか	39
	(12) 資源回収を活用しているか	41
	(13) 地域住民が市と協力してできること	43
3	子育てについて	47

(1) 行政に実施してほしい子育て支援事業.....	47
4 東金市のにぎわいについて.....	51
(1) 若者を中心とした市の活気について.....	51
(2) 観光やイベントのPRについて.....	53
(3) 開催イベントで知っているもの.....	55
(4) イベントを知ったきっかけ.....	57
(5) 東金市の誇れるものや魅力について.....	59
5 近隣市町との連携について.....	62
(1) 近隣市町との連携について.....	62
6 市の公共施設について.....	64
(1) 公共施設の設置状況や使いやすさ.....	64
7 市の公共交通について.....	66
(1) 行政に実施してほしい公共交通施策.....	66
8 広報・情報発信について.....	69
(1) 市政情報の入手方法.....	69
(2) 市の実施事業の情報発信について.....	72
(3) 今後情報発信してほしい媒体.....	74
9 満足度と重要度について.....	77
(1) まちの各環境に関する満足度.....	77
(2) まちの各環境に関する重要度.....	95
(3) 満足度と重要度の相関（優先度）.....	111
10 東金市のまちづくりについて.....	114
(1) 将来に向けて目指すまちづくりのイメージ.....	114
(2) コンパクトなまちづくりへの方向性.....	119
(3) コンパクトなまちづくりに必要な施設.....	121
(4) 行うべき道路整備について.....	125
(5) 公園・緑に対する考え方.....	129

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、東金市第4次総合計画（令和3年度～令和12年度）の策定に当たって、まちへの愛着度や今後の定住意向をはじめ、まちの現状評価や今後重視する取り組みなど、市民の意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	18歳以上の市民
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法
調査時期	令和元年7月～8月
調査地域	市内全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	1,500
有効回収数	592
有効回収率	39.5%

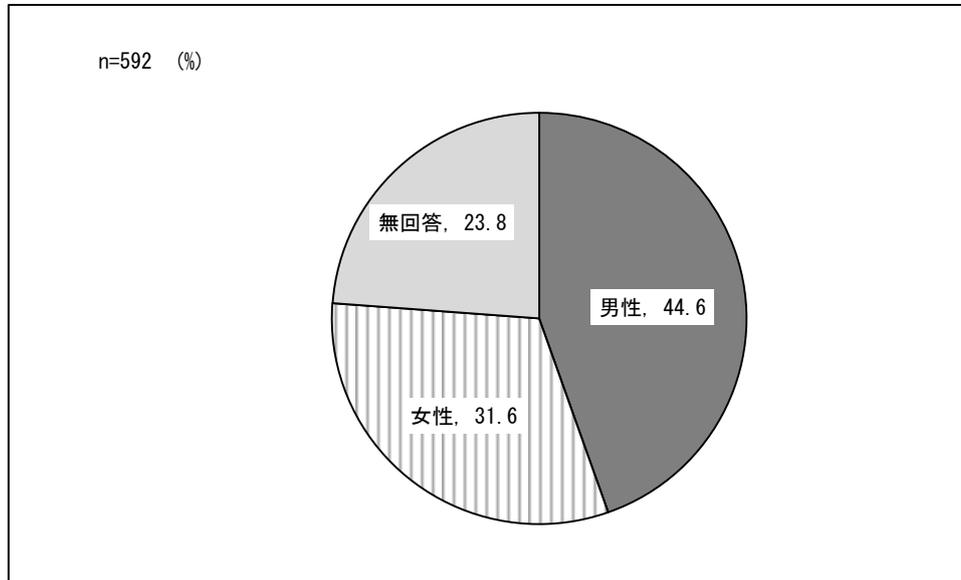
(4) 本報告書の留意事項

- ① 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、したがって、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ④ 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。
- ⑤ 問の中には「～に○をつけた方がいます。」などの制限があり、また、属性別での職業別など回答者数が少なく、有意性の低いものも含まれます。

2 回答者の属性

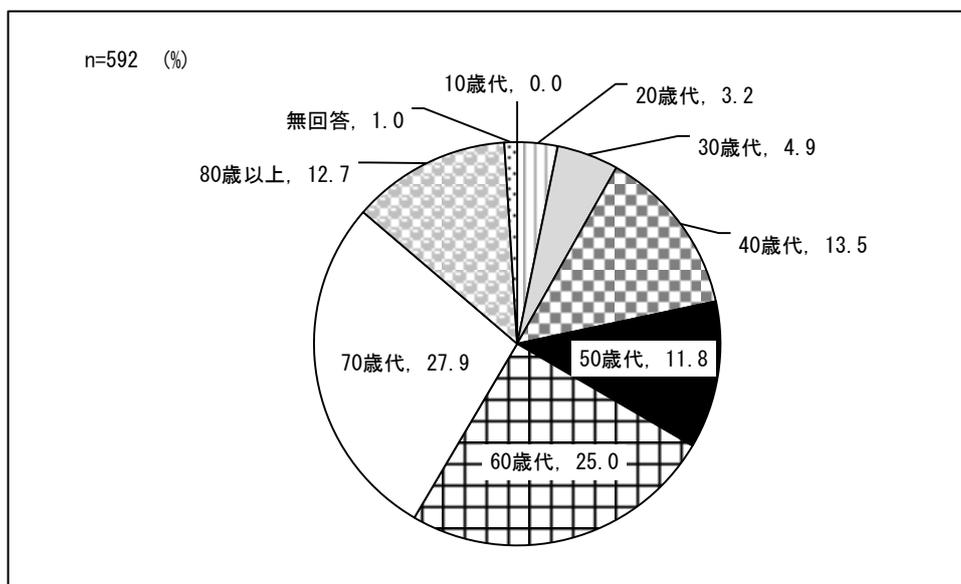
(1) 性別

性別構成は、「男性」(44.6%)、「女性」(31.6%)となっています。



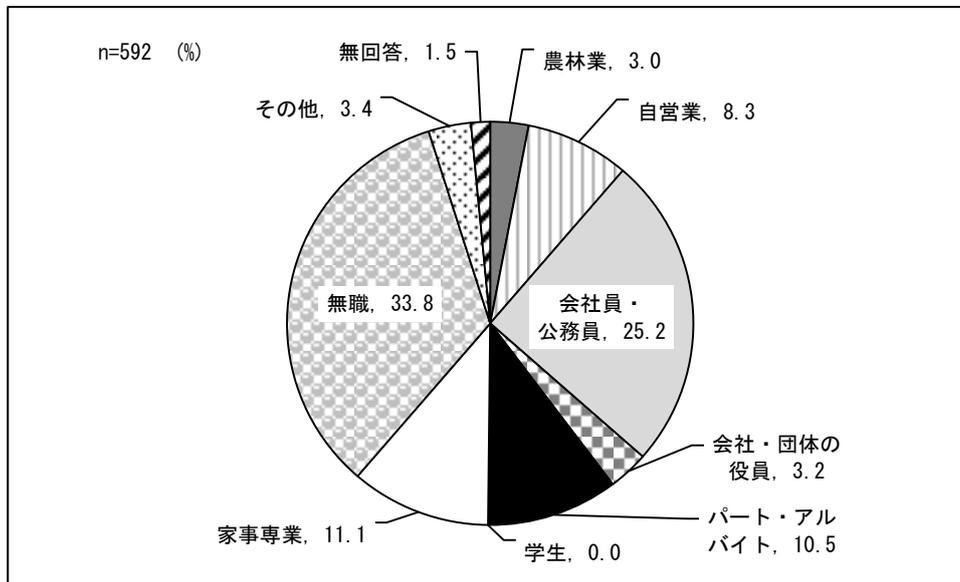
(2) 年齢

年齢構成は、「70歳代」(27.9%)、「60歳代」(25.0%)、「40歳代」(13.5%)、「80歳以上」(12.7%)、「50歳代」(11.8%)、「30歳代」(4.9%)、「20歳代」(3.2%)の順となっています。



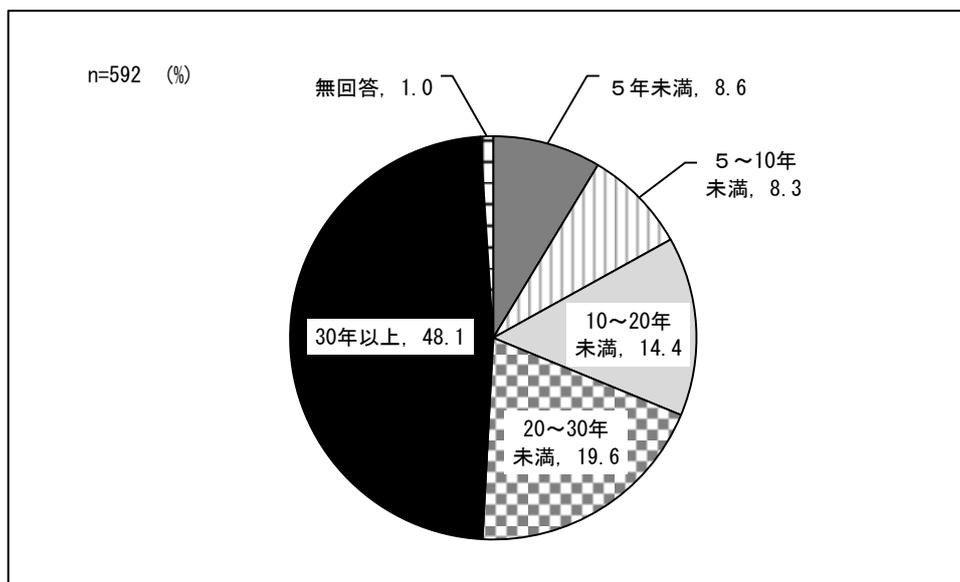
(3) 職業

職業は、「無職」(33.8%)、「会社員・公務員」(25.2%)、「家事専業」(11.1%)、「パート・アルバイト」(10.5%)、「自営業」(8.3%)、「会社・団体の役員」(3.2%)、「農林業」(3.0%)の順となっています。



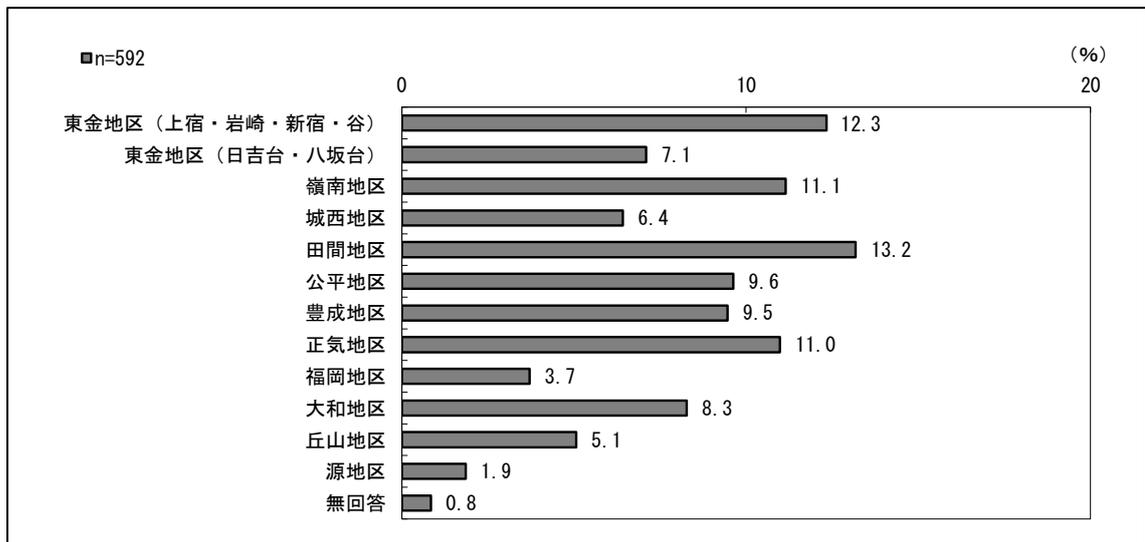
(4) 居住年数

居住年数は、「30年以上」(48.1%)、「20～30年未満」(19.6%)、「10～20年未満」(14.4%)、「5年未満」(8.6%)、「5～10年未満」(8.3%)の順となっています。



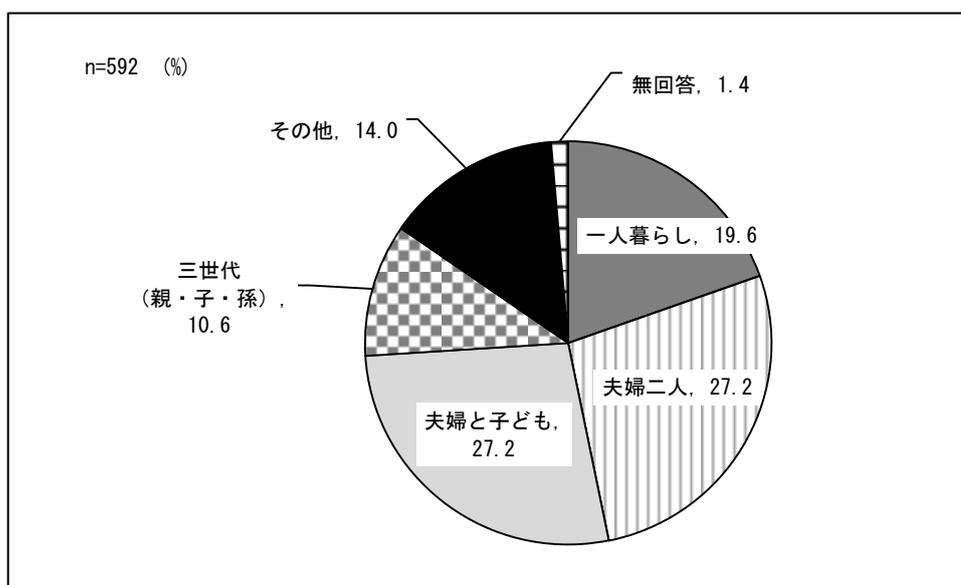
(5) 居住地区

居住地区は、「田間地区」(13.2%)、「東金地区(上宿・岩崎・新宿・谷)」(12.3%)、「嶺南地区」(11.1%)、「正気地区」(11.0%)、「公平地区」(9.6%)、「豊成地区」(9.5%)、「大和地区」(8.3%)、「東金地区(日吉台・八坂台)」(7.1%)、「城西地区」(6.4%)、「丘山地区」(5.1%)、「福岡地区」(3.7%)、「源地区」(1.9%)の順となっています。



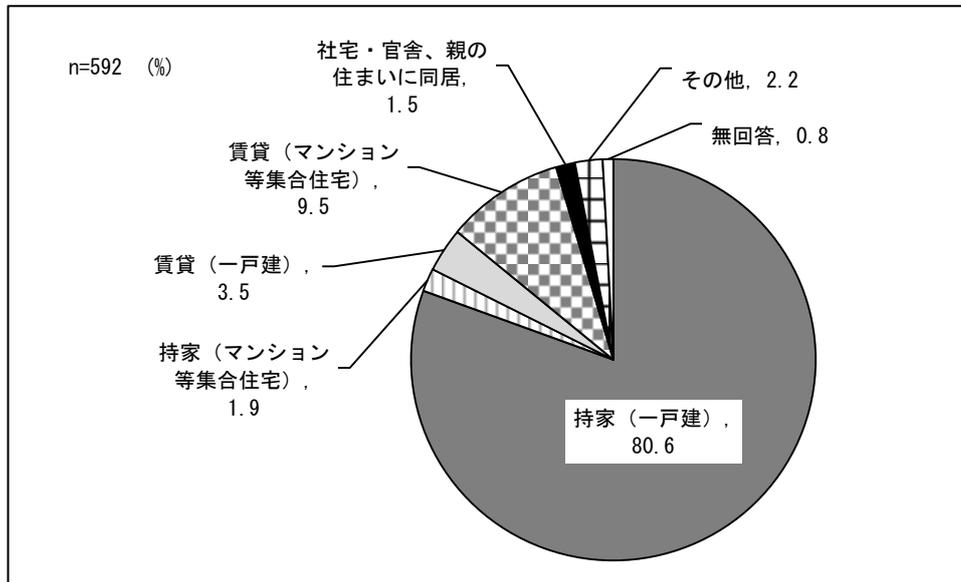
(6) 家族構成

家族構成は、「夫婦二人」・「夫婦と子ども」(同率 27.2%)、「一人暮らし」(19.6%)、「その他」(14.0%)、「三世代(親・子・孫)」(10.6%)の順となっています。



(7) 住まいの形態

住まいの形態は、「持家（一戸建）」(80.6%)、「賃貸（マンション等集合住宅）」(9.5%)、「賃貸（一戸建）」(3.5%)、「その他」(2.2%)、「持家（マンション等集合住宅）」(1.9%)、「社宅・官舎、親の住まいに同居」(1.5%) の順となっています。



Ⅱ 調査結果

1 東金市の住みごころなどについて

(1) 市に対する愛着度

問2 東金市に「わがまち」といった愛着や親しみを感じていますか。

● “感じている” が 63.9%、“感じていない” が 34.3%。

市民のまちに対する愛着度を把握するため、愛着や親しみを「とても感じている」、「感じている」、「あまり感じていない」、「感じていない」の中から1つを選んでもらいました。

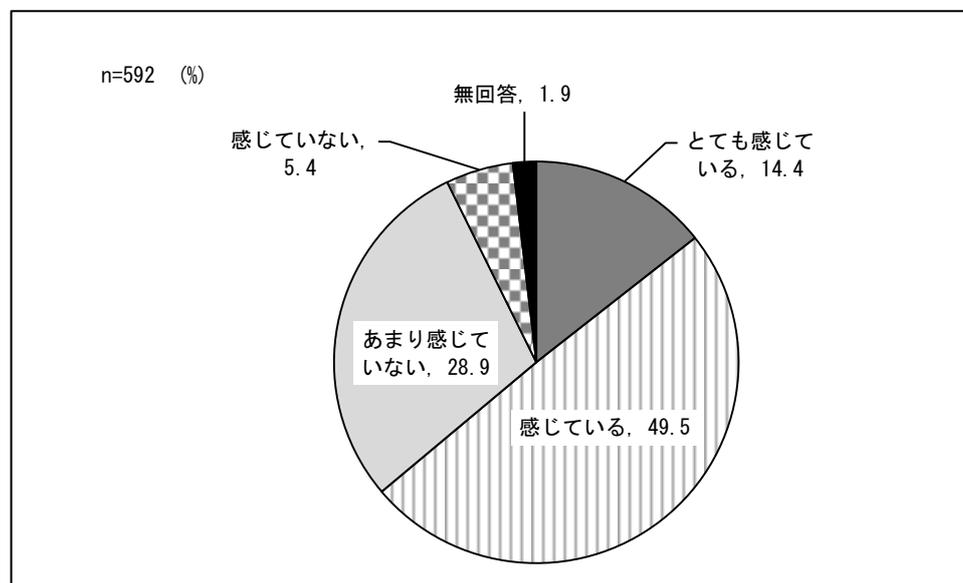
その結果、「感じている」と答えた人が49.5%で最も多く、これに「とても感じている」(14.4%)をあわせた“感じている”という人が63.9となっています。これに対し、“感じていない”という人(「あまり感じていない」(28.9%)と「感じていない」(5.4%)の合計)も34.3%と3割を超えています。

属性別で“感じている”率をみると、性別では、男性が67.5%、女性が62.6%と、男性の方がやや高くなっています。

年齢では、80歳以上(78.7%)が最も高く、概ね加齢とともに愛着度が高くなる傾向がみられます。

また、居住地区で“感じている”率をみると、嶺南地区(73.2%)、嶺南地区(72.7%)、田間地区(71.7%)、城西地区(71.0%)で7割を超え、以下、東金地区(上宿・岩崎・新宿・谷)(67.1%)、公平地区(66.6%)、東金地区(日吉台・八坂台)(59.5%)、丘山地区(56.7%)、正気地区(55.4%)、福岡地区(54.5%)、大和地区(51.0%)、源地区(36.4%)の順となっています。[図表1・2参照]

図表1 市に対する愛着度(全体)



図表2 市に対する愛着度（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	とても感じている	感じている	あまり感じていない	感じていない	無回答
全体		592	14.4	49.5	28.9	5.4	1.9
性別	男性	264	15.2	52.3	28.8	3.4	0.4
	女性	187	13.4	49.2	27.8	7.5	2.1
年齢	20歳代	19	15.8	47.4	15.8	21.1	0.0
	30歳代	29	13.8	41.4	41.4	3.4	0.0
	40歳代	80	17.5	38.8	37.5	6.3	0.0
	50歳代	70	14.3	50.0	30.0	4.3	1.4
	60歳代	148	11.5	52.7	30.4	4.1	1.4
	70歳代	165	13.9	49.7	28.5	6.1	1.8
	80歳以上	75	18.7	60.0	17.3	4.0	0.0
職業	農林業	18	11.1	61.1	27.8	0.0	0.0
	自営業	49	20.4	49.0	20.4	8.2	2.0
	会社員・公務員	149	15.4	48.3	30.2	4.7	1.3
	会社・団体の役員	19	31.6	26.3	36.8	5.3	0.0
	パート・アルバイト	62	14.5	50.0	25.8	9.7	0.0
	家事専業	66	10.6	48.5	37.9	1.5	1.5
	無職	200	13.5	51.5	28.0	6.0	1.0
	その他	20	0.0	60.0	35.0	5.0	0.0
居住年数	5年未満	51	3.9	41.2	35.3	17.6	2.0
	5～10年未満	49	10.2	51.0	34.7	4.1	0.0
	10～20年未満	85	1.2	49.4	41.2	8.2	0.0
	20～30年未満	116	11.2	44.8	37.9	4.3	1.7
	30年以上	285	22.5	53.3	20.0	3.2	1.1
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	19.2	47.9	26.0	6.8	0.0
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	7.1	52.4	33.3	7.1	0.0
	嶺南地区	66	22.7	50.0	21.2	4.5	1.5
	城西地区	38	10.5	60.5	21.1	7.9	0.0
	田間地区	78	17.9	53.8	25.6	1.3	1.3
	公平地区	57	17.5	49.1	29.8	3.5	0.0
	豊成地区	56	8.9	64.3	19.6	5.4	1.8
	正気地区	65	12.3	43.1	41.5	3.1	0.0
	福岡地区	22	13.6	40.9	40.9	0.0	4.5
	大和地区	49	6.1	44.9	34.7	12.2	2.0
	丘山地区	30	16.7	40.0	30.0	10.0	3.3
源地区	11	9.1	27.3	54.5	9.1	0.0	
家族構成	一人暮らし	116	9.5	44.0	37.9	6.9	1.7
	夫婦二人	161	16.8	54.0	23.0	5.6	0.6
	夫婦と子ども	161	14.3	46.0	32.9	5.0	1.9
	三世代（親・子・孫）	63	22.2	54.0	20.6	3.2	0.0
	その他	83	10.8	55.4	27.7	6.0	0.0
住まいの形態	持家（一戸建）	477	16.1	51.2	27.5	4.2	1.0
	持家（マンション等集合住宅）	11	9.1	72.7	9.1	9.1	0.0
	賃貸（一戸建）	21	9.5	38.1	28.6	23.8	0.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	5.4	41.1	44.6	7.1	1.8
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	22.2	33.3	44.4	0.0	0.0
	その他	13	0.0	53.8	30.8	15.4	0.0

(2) 市の住みやすさについて

問3 東金市は、住みやすいまちですか。

- “住みやすい” が 37.2%、“住みにくい” が 19.1%。

市民がまちの住みやすさをどのように感じているかを把握するため、「とても住みやすい」、「住みやすい」、「普通」、「住みにくい」、「とても住みにくい」の中から1つを選んでもらいました。

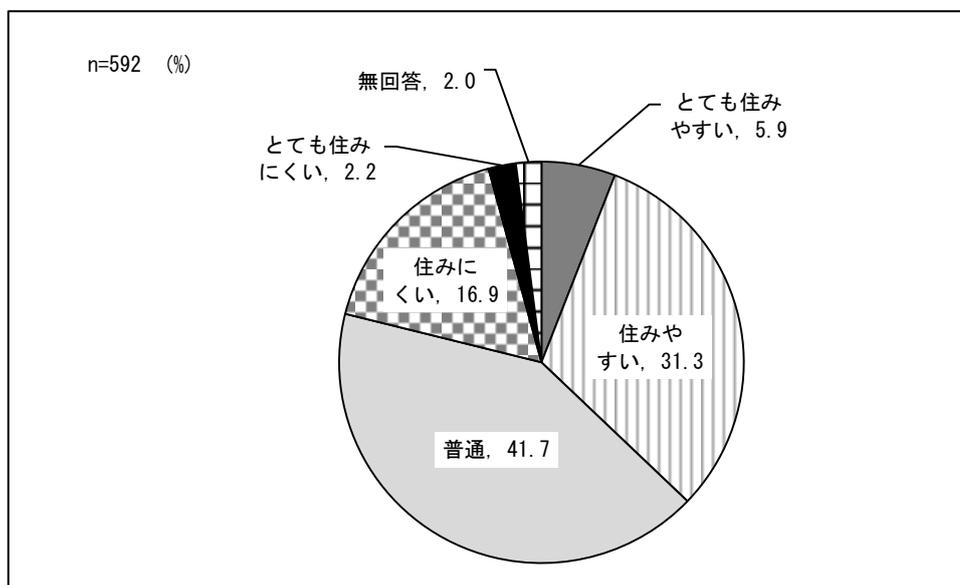
その結果、「普通」(41.7%)が最も多く、次いで「住みやすい」(31.3%)が続き、これと「とても住みやすい」(5.9%)をあわせた“住みやすい”という人が37.2%となっています。一方、“住みにくい”という人(「住みにくい」(16.9%)と「とても住みにくい」(2.2%)の合計)は19.1%となっています。

属性別で“住みやすい”率をみると、性別では、女性が39.0%、男性が37.5%と、女性の方がやや高くなっています。

年齢では、20歳代(52.6%)が最も高く5割を超え、以下、50歳代(41.5%)、80歳以上(40.0%)、40歳代・70歳代(同率37.5%)、60歳代(33.8%)、30歳代(31.0%)の順となっています。

また、居住地区で“住みやすい”率をみると、田間地区(51.3%)が最も高く5割強となっており、次いで公平地区(49.1%)、東金地区(上宿・岩崎・新宿・谷)(43.8%)、福岡地区(40.9%)が4割台で続いています。一方、東金地区(日吉台・八坂台)(23.8%)、城西地区(23.7%)、丘山地区(23.3%)では他の地区に比べ低く3割以下にとどまっており、特に源地区では0.0%となっています。[図表3・4参照]

図表3 市の住みやすさについて (全体)



図表4 市の住みやすさについて（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	とても住 みやすい	住みやす い	普通	住みにく い	とても住 みにくい	無回答
全体		592	5.9	31.3	41.7	16.9	2.2	2.0
性別	男性	264	6.4	31.1	42.8	16.7	2.7	0.4
	女性	187	5.3	33.7	38.0	18.2	3.2	1.6
年齢	20歳代	19	15.8	36.8	26.3	15.8	5.3	0.0
	30歳代	29	0.0	31.0	55.2	13.8	0.0	0.0
	40歳代	80	5.0	32.5	41.3	18.8	2.5	0.0
	50歳代	70	8.6	32.9	34.3	18.6	4.3	1.4
	60歳代	148	6.1	27.7	45.3	18.9	1.4	0.7
	70歳代	165	4.8	32.7	40.6	17.6	2.4	1.8
	80歳以上	75	6.7	33.3	45.3	10.7	1.3	2.7
職業	農林業	18	11.1	38.9	38.9	11.1	0.0	0.0
	自営業	49	12.2	32.7	34.7	16.3	2.0	2.0
	会社員・公務員	149	7.4	32.9	38.3	18.8	2.0	0.7
	会社・団体の役員	19	10.5	42.1	36.8	10.5	0.0	0.0
	パート・アルバイト	62	1.6	33.9	38.7	19.4	4.8	1.6
	家事専業	66	0.0	25.8	54.5	18.2	1.5	0.0
	無職	200	5.5	29.5	44.5	16.0	2.5	2.0
	その他	20	10.0	30.0	50.0	10.0	0.0	0.0
居住年数	5年未満	51	3.9	25.5	47.1	19.6	3.9	0.0
	5～10年未満	49	6.1	40.8	42.9	10.2	0.0	0.0
	10～20年未満	85	0.0	22.4	51.8	21.2	3.5	1.2
	20～30年未満	116	6.0	25.9	37.9	25.0	4.3	0.9
	30年以上	285	8.1	35.8	40.0	13.3	1.1	1.8
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	8.2	35.6	39.7	12.3	4.1	0.0
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	2.4	21.4	47.6	26.2	0.0	2.4
	嶺南地区	66	9.1	28.8	47.0	12.1	3.0	0.0
	城西地区	38	5.3	18.4	60.5	15.8	0.0	0.0
	田間地区	78	5.1	46.2	34.6	14.1	0.0	0.0
	公平地区	57	7.0	42.1	38.6	10.5	0.0	1.8
	豊成地区	56	3.6	35.7	37.5	21.4	0.0	1.8
	正気地区	65	7.7	26.2	44.6	20.0	0.0	1.5
	福岡地区	22	13.6	27.3	36.4	13.6	4.5	4.5
	大和地区	49	4.1	28.6	36.7	20.4	8.2	2.0
	丘山地区	30	0.0	23.3	43.3	23.3	6.7	3.3
源地区	11	0.0	0.0	54.5	36.4	9.1	0.0	
家族構成	一人暮らし	116	2.6	34.5	42.2	18.1	1.7	0.9
	夫婦二人	161	7.5	28.0	44.7	16.8	2.5	0.6
	夫婦と子ども	161	6.2	31.7	39.1	17.4	3.1	2.5
	三世代（親・子・孫）	63	9.5	42.9	34.9	12.7	0.0	0.0
	その他	83	4.8	25.3	47.0	19.3	2.4	1.2
住まいの形態	持家（一戸建）	477	6.3	32.1	41.9	16.4	1.9	1.5
	持家（マンション等集合住宅）	11	0.0	27.3	45.5	27.3	0.0	0.0
	賃貸（一戸建）	21	9.5	28.6	33.3	19.0	9.5	0.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	5.4	30.4	42.9	17.9	3.6	0.0
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	その他	13	0.0	23.1	61.5	15.4	0.0	0.0

(3) 住みにくい理由

問4 問3で「4. 住みにくい」または「5. とても住みにくい」とお答えの方におたずねします。住みにくい主な理由を選んでください。【複数回答】

- 「交通の便が良くない」が他を大きく引き離して第1位。次いで「まさに魅力や活気がない」、「買い物などの日常生活が不便」の順。

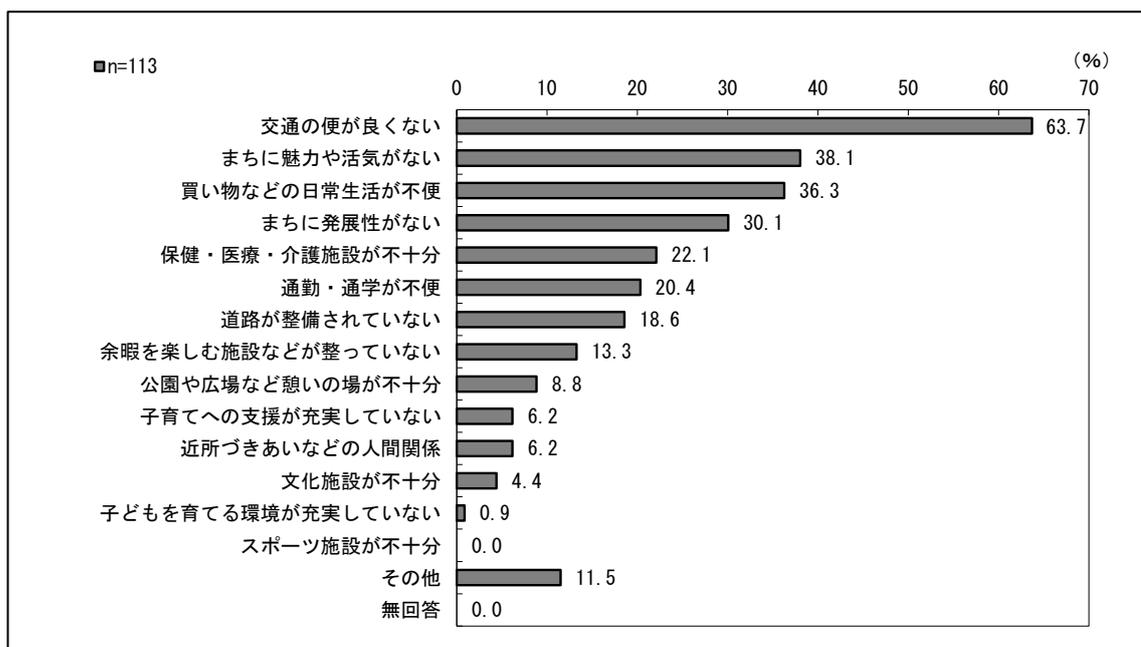
問3で“住みにくい”と答えた113人（全体の19.1%）に、住みにくい主な理由についてたずねたところ、「交通の便が良くない」（63.7%）が第1位にあげられ、次いで「まさに魅力や活気がない」（38.1%）、「買い物などの日常生活が不便」（36.3%）が続き、以下、「まさに発展性がない」（30.1%）、「保健・医療・介護施設が不十分」（22.1%）などの順となっています。

これを属性別でみると、性別では、上位3項目は全体と概ね同様の傾向がみられますが、男性では「まさに発展性がない」（39.2%）が第2位にあげられています。

年齢では、特に30歳代で「通勤・通学が不便」（50.0%）が第1位にあげられているほか、20歳代で「子育てへの支援が充実していない」（50.0%）が第2位にあげられており、世代による問題意識の違いがみられます。

また、居住地区では、嶺南地区・城西地区・公平地区・正気地区で「道路が整備されていない」（40.0%・33.3%・33.3%・38.5%）が上位3項目にあげられているのが特徴的です。[図表5・6参照]

図表5 住みにくい理由（全体／複数回答）



図表6 住みにくい理由（全体、属性別—上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位	
全体		交通の便が良くない 63.7	まちに魅力や活気がない 38.1	買い物などの日常生活が不便 36.3	
性別	男性	交通の便が良くない 60.8	まちに発展性がない 39.2	まちに魅力や活気がない 37.3	
	女性	交通の便が良くない 65.0	買い物などの日常生活が不便 52.5	まちに魅力や活気がない 30.0	
年齢	20歳代	交通の便が良くない 75.0	買い物などの日常生活が不便/子育てへの支援が充実していない	50.0	
	30歳代	通勤・通学が不便/まちに魅力や活気がない/まちに発展性がない			50.0
	40歳代	交通の便が良くない 47.1	まちに魅力や活気がない 35.3	通勤・通学が不便/保健・医療・介護施設が不十分/道路が整備されていない	29.4
	50歳代	交通の便が良くない 62.5	まちに魅力や活気がない 43.8	通勤・通学が不便	37.5
	60歳代	交通の便が良くない 83.3	まちに発展性がない 36.7	保健・医療・介護施設が不十分/まちに魅力や活気がない	33.3
	70歳代	交通の便が良くない 54.5	買い物などの日常生活が不便 48.5	まちに魅力や活気がない	45.5
	80歳以上	買い物などの日常生活が不便 88.9	交通の便が良くない 77.8	まちに発展性がない	33.3
	職業	農林業	余暇を楽しむ施設などが整っていない/まちに発展性がない		100.0
自営業		まちに魅力や活気がない 55.6	交通の便が良くない/まちに発展性がない		44.4
会社員・公務員		交通の便が良くない 61.3	通勤・通学が不便 51.6	まちに発展性がない	29.0
会社・団体の役員		交通の便が良くない 100.0	買い物などの日常生活が不便/保健・医療・介護施設が不十分/余暇を楽しむ施設などが整っていない/まちに発展性がない		50.0
パート・アルバイト		交通の便が良くない 73.3	まちに魅力や活気がない 60.0	道路が整備されていない	33.3
家事専業		交通の便が良くない 76.9	買い物などの日常生活が不便 53.8	まちに魅力や活気がない/まちに発展性がない	38.5
無職		交通の便が良くない 64.9	買い物などの日常生活が不便 45.9	まちに魅力や活気がない	37.8
その他		買い物などの日常生活が不便/交通の便が良くない/保健・医療・介護施設が不十分/道路が整備されていない/公園や広場など憩いの場が不十分			50.0

		第1位	第2位	第3位
居住年数	5年未満	交通の便が良くない 58.3	まちに魅力や活気がない 41.7	買い物などの日常生活が不便/ 道路が整備されていない/公園 や広場など憩いの場が不十分 33.3
	5～10年未満	買い物などの日常生活が不便/交通の便が良くない 60.0		余暇を楽しむ施設などが整っ ていない 40.0
	10～20年未満	交通の便が良くない 52.4	買い物などの日常生活が不便 47.6	まちに魅力や活気がない 38.1
	20～30年未満	交通の便が良くない 82.4	まちに魅力や活気がない 38.2	まちに発展性がない 32.4
	30年以上	交通の便が良くない 56.1	買い物などの日常生活が不便/ まちに魅力や活気がない 39.0	
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新 宿・谷）	交通の便が良くない 58.3	まちに発展性がない 50.0	まちに魅力や活気がない 41.7
	東金地区（日吉台・八坂台）	交通の便が良くない 90.9	まちに魅力や活気がない/ まちに発展性がない 45.5	
	嶺南地区	交通の便が良くない 60.0	買い物などの日常生活が不便 50.0	道路が整備されていない 40.0
	城西地区	交通の便が良くない 66.7	通勤・通学が不便/ 道路が整備されていない/ まちに魅力や活気がない 33.3	
	田間地区	まちに魅力や活気がない 54.5	交通の便が良くない/ まちに発展性がない 36.4	
	公平地区	買い物などの日常生活が不便 50.0	通勤・通学が不便 33.3	交通の便が良くない/ 保健・医療・介護施設が不十分/ 道路が整備されていない/ まちに魅力や活気がない 33.3
	豊成地区	交通の便が良くない 66.7	まちに魅力や活気がない 41.7	買い物などの日常生活が不便/ まちに発展性がない 33.3
	正気地区	交通の便が良くない 76.9	まちに魅力や活気がない 46.2	道路が整備されていない 38.5
	福岡地区	買い物などの日常生活が不便/ 交通の便が良くない 75.0	保健・医療・介護施設が不十分 50.0	
	大和地区	買い物などの日常生活が不便 57.1	まちに発展性がない 50.0	交通の便が良くない 42.9
	丘山地区	交通の便が良くない 77.8	買い物などの日常生活が不便 55.6	まちに魅力や活気がない 44.4
	源地区	交通の便が良くない 100.0	買い物などの日常生活が不便 80.0	まちに魅力や活気がない 40.0
	家族構成	一人暮らし	交通の便が良くない 60.9	買い物などの日常生活が不便 52.2
夫婦二人		交通の便が良くない 80.6	買い物などの日常生活が不便 45.2	まちに魅力や活気がない 38.7
夫婦と子ども		交通の便が良くない 60.6	保健・医療・介護施設が不十分 39.4	通勤・通学が不便/ まちに魅力や活気がない 30.3
三世代（親・子・孫）		まちに発展性がない 50.0	買い物などの日常生活が不便/ 通勤・通学が不便/ 交通の便が良くない/ まちに魅力や活気がない 37.5	
その他		交通の便が良くない 55.6	まちに魅力や活気がない 44.4	通勤・通学が不便 27.8

		第1位	第2位	第3位
住まいの形態	持家（一戸建）	交通の便が良くない 66.7	買い物などの日常生活が不便 39.1	まちに魅力や活気がない 34.5
	持家（マンション等集合住宅）	保健・医療・介護施設が不十分/まちに魅力や活気がない 66.7		通勤・通学が不便/子どもを育てる環境が充実していない/公園や広場など憩いの場が不十分/余暇を楽しむ施設などが整っていない/まちに発展性がない 33.3
	賃貸（一戸建）	買い物などの日常生活が不便 66.7	交通の便が良くない/まちに魅力や活気がない 50.0	
	賃貸（マンション等集合住宅）	交通の便が良くない 58.3	まちに魅力や活気がない 33.3	保健・医療・介護施設が不十分/まちに発展性がない 25.0
	社宅・官舎、親の住まいに同居	通勤・通学が不便/交通の便が良くない/まちに魅力や活気がない 66.7		
	その他	交通の便が良くない/まちに魅力や活気がない 100.0		文化施設が不十分/公園や広場など憩いの場が不十分 50.0

(4) 今後の定住意向

問5 これからも現在のお住まいに住み続けたいと思いますか。

- 「住み続けたい」が59.5%、「移りたい」が9.1%。

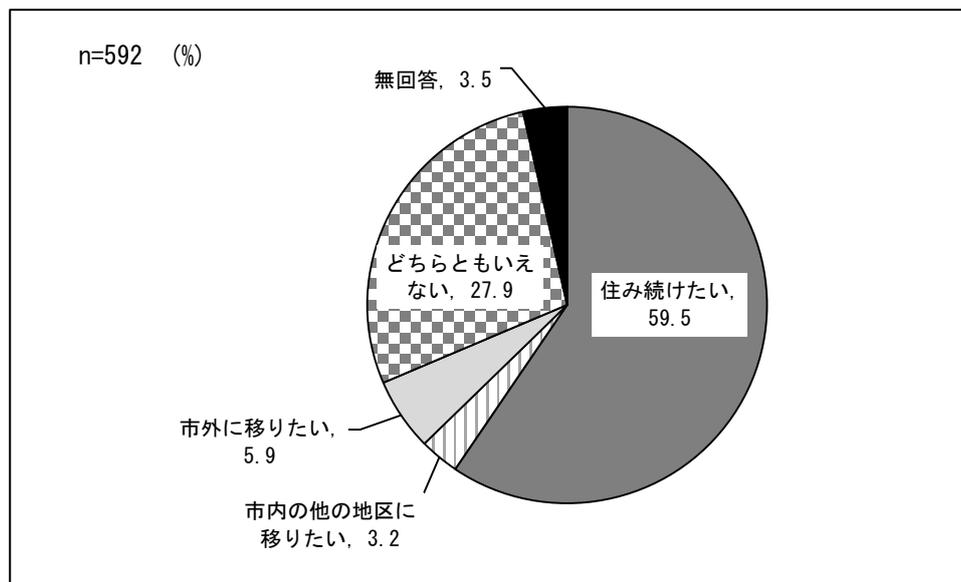
今後の定住意向については、「住み続けたい」と答えた人が59.5%で約6割となっています。これに対し、「移りたい」（「市外に移りたい」（5.9%）と「市内の他の地区に移りたい」（3.2%）の合計）と答えた人は9.1%となっています。なお、「どちらともいえない」は27.9%となっています。

これを属性別で見ると、性別では、男性（62.1%）が女性（59.4%）よりも「住み続けたい」率が高くなっています。

年齢では、問2の愛着度と同様、概ね加齢とともに「住み続けたい」率が上昇していく傾向にあり、特に80歳以上（84.0%）では8割を超えています。一方、20歳代では36.8%と他の世代に比べ低く、「移りたい」と答えた人が21.0%となっています。

また、居住地区で「住み続けたい」率をみると、ほとんどの地区で5割を超えています。他の地区に比べ、大和地区（44.9%）、源地区（27.3%）で低くなっています。[図表7・8参照]

図表7 今後の定住意向（全体／複数回答）



図表8 今後の定住意向（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	住み続けた い	市内の他の 地区に移り たい	市外に移り たい	どちらとも いえない	無回答
全体		592	59.5	3.2	5.9	27.9	3.5
性別	男性	264	62.1	3.4	6.4	25.4	2.7
	女性	187	59.4	3.2	6.4	28.9	2.1
年齢	20歳代	19	36.8	10.5	10.5	42.1	0.0
	30歳代	29	58.6	6.9	3.4	31.0	0.0
	40歳代	80	50.0	5.0	7.5	36.3	1.3
	50歳代	70	52.9	5.7	4.3	32.9	4.3
	60歳代	148	58.8	1.4	7.4	28.4	4.1
	70歳代	165	60.6	3.0	6.7	27.3	2.4
	80歳以上	75	84.0	0.0	1.3	12.0	2.7
職業	農林業	18	94.4	0.0	0.0	5.6	0.0
	自営業	49	69.4	2.0	8.2	20.4	0.0
	会社員・公務員	149	52.3	6.7	8.1	29.5	3.4
	会社・団体の役員	19	52.6	5.3	5.3	36.8	0.0
	パート・アルバイト	62	53.2	0.0	12.9	32.3	1.6
	家事専業	66	59.1	0.0	6.1	33.3	1.5
	無職	200	63.0	3.0	2.5	27.0	4.5
	その他	20	60.0	5.0	5.0	30.0	0.0
居住年数	5年未満	51	43.1	5.9	5.9	43.1	2.0
	5～10年未満	49	55.1	6.1	2.0	34.7	2.0
	10～20年未満	85	43.5	2.4	10.6	42.4	1.2
	20～30年未満	116	47.4	3.4	12.1	32.8	4.3
	30年以上	285	73.7	2.5	2.8	18.2	2.8
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	67.1	1.4	8.2	20.5	2.7
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	54.8	2.4	9.5	31.0	2.4
	嶺南地区	66	65.2	1.5	3.0	30.3	0.0
	城西地区	38	55.3	7.9	10.5	26.3	0.0
	田間地区	78	61.5	1.3	3.8	29.5	3.8
	公平地区	57	66.7	3.5	1.8	26.3	1.8
	豊成地区	56	66.1	3.6	3.6	23.2	3.6
	正気地区	65	63.1	6.2	6.2	18.5	6.2
	福岡地区	22	54.5	0.0	0.0	45.5	0.0
	大和地区	49	44.9	8.2	10.2	36.7	0.0
	丘山地区	30	50.0	0.0	10.0	30.0	10.0
源地区	11	27.3	0.0	9.1	63.6	0.0	
家族構成	一人暮らし	116	49.1	5.2	4.3	38.8	2.6
	夫婦二人	161	64.0	1.9	5.0	25.5	3.7
	夫婦と子ども	161	59.0	4.3	8.1	26.1	2.5
	三世代（親・子・孫）	63	79.4	0.0	6.3	12.7	1.6
	その他	83	54.2	3.6	6.0	34.9	1.2
住まいの形態	持家（一戸建）	477	64.4	2.1	6.1	24.5	2.9
	持家（マンション等集合住宅）	11	45.5	0.0	0.0	45.5	9.1
	賃貸（一戸建）	21	42.9	0.0	14.3	42.9	0.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	35.7	16.1	1.8	44.6	1.8
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	44.4	0.0	11.1	44.4	0.0
	その他	13	53.8	0.0	7.7	38.5	0.0

(5) 居住地に求める条件

問6 居住地に求める条件は、どのようなことですか。【複数回答】

- 「医療体制が整っている」が第1位。次いで「安全に暮らせる」、「買い物がしやすい」の順。

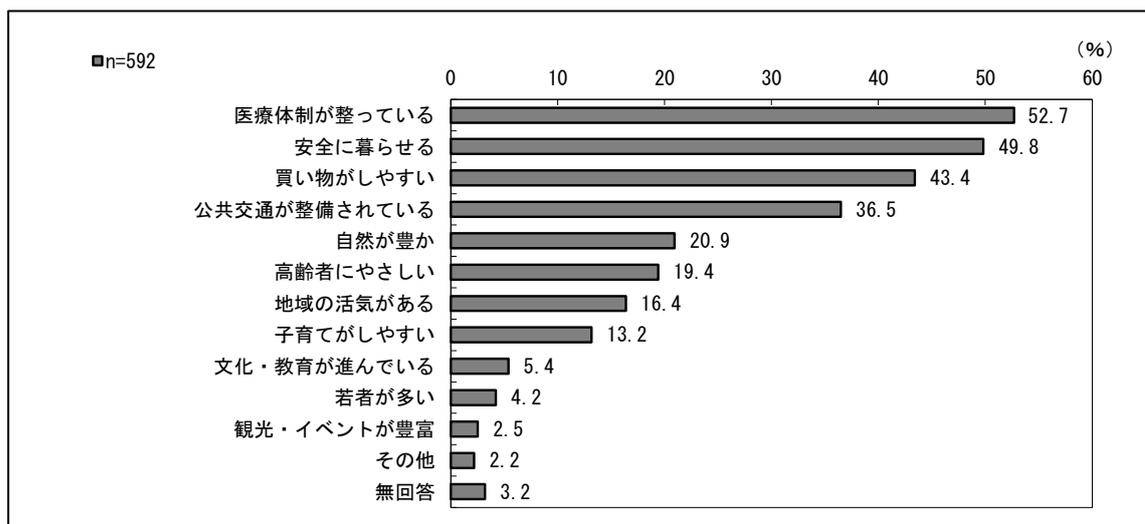
居住地に求める条件については、「医療体制が整っている」(52.7%)が第1位、次いで「安全に暮らせる」(49.8%)が続き、以下、「買い物がしやすい」(43.4%)、「公共交通が整備されている」(36.5%)、「自然が豊か」(20.9%)、「高齢者にやさしい」(19.4%)、「地域の活気がある」(16.4%)、「子育てがしやすい」(13.2%)などの順となっています。

これを属性別で見ると、性別では、上位3項目は全体と同様の傾向がみられます。

年齢では、30歳代で「子育てがしやすい」(51.7%)、50歳代で「公共交通が整備されている」(50.0%)が第1位にあげられているほか、上位3項目をみると、20歳代で「子育てがしやすい」(42.1%)、40歳代・60歳代で「公共交通が整備されている」(41.3%・42.6%)が第3位にあげられています。

また、居住地区では、東金地区(日吉台・八坂台)・公平地区・丘山地区・源地区で「公共交通が整備されている」(50.0%・45.6%・46.7%・27.3%)が上位3項目にあげられているほか、源地区では「自然が豊か」(36.4%)が第2位、「子育てがしやすい」(27.3%)が第3位となっています。[図表9・10参照]

図表9 居住地に求める条件(全体/複数回答)



図表 10 居住地に求める条件（全体、属性別—上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		医療体制が整っている 52.7	安全に暮らせる 49.8	買い物がしやすい 43.4
性別	男性	医療体制が整っている 54.2	安全に暮らせる 52.3	買い物がしやすい 36.7
	女性	医療体制が整っている/買い物がしやすい 54.5		安全に暮らせる 48.7
年齢	20歳代	安全に暮らせる 73.7	買い物がしやすい 63.2	子育てがしやすい 42.1
	30歳代	子育てがしやすい 51.7	医療体制が整っている 48.3	買い物がしやすい 44.8
	40歳代	医療体制が整っている 52.5	安全に暮らせる 45.0	公共交通が整備されている 41.3
	50歳代	医療体制が整っている/公共交通が整備されている/買い物がしやすい 50.0		
	60歳代	医療体制が整っている 60.8	安全に暮らせる 54.7	公共交通が整備されている/買い物がしやすい 42.6
	70歳代	医療体制が整っている 55.2	安全に暮らせる 49.7	買い物がしやすい 40.6
	80歳以上	安全に暮らせる/買い物がしやすい 45.3		医療体制が整っている 38.7
	職業	農林業	安全に暮らせる 61.1	自然が豊か 55.6
自営業		医療体制が整っている 57.1	安全に暮らせる 53.1	自然が豊か/買い物がしやすい 30.6
会社員・公務員		医療体制が整っている 51.7	安全に暮らせる 49.0	公共交通が整備されている 43.6
会社・団体の役員		医療体制が整っている 57.9	公共交通が整備されている 47.4	安全に暮らせる 36.8
パート・アルバイト		医療体制が整っている 56.5	安全に暮らせる 50.0	公共交通が整備されている 48.4
家事専業		医療体制が整っている 57.6	買い物がしやすい 53.0	安全に暮らせる 40.9
無職		安全に暮らせる 53.0	医療体制が整っている 51.0	買い物がしやすい 47.0
その他		安全に暮らせる/買い物がしやすい 50.0		医療体制が整っている 45.0
居住年数	5年未満	買い物がしやすい 58.8	安全に暮らせる 49.0	公共交通が整備されている 37.3
	5～10年未満	買い物がしやすい 61.2	安全に暮らせる 51.0	医療体制が整っている 49.0
	10～20年未満	医療体制が整っている 49.4	安全に暮らせる/買い物がしやすい 43.5	
	20～30年未満	医療体制が整っている 56.9	公共交通が整備されている 46.6	安全に暮らせる 42.2
	30年以上	医療体制が整っている 55.1	安全に暮らせる 54.7	買い物がしやすい 38.9

		第1位	第2位	第3位	
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	買い物がしやすい 60.3	医療体制が整っている 54.8	安全に暮らせる 41.1	
	東金地区（日吉台・八坂台）	医療体制が整っている 57.1	公共交通が整備されている 50.0	安全に暮らせる 47.6	
	嶺南地区	安全に暮らせる 62.1	医療体制が整っている 54.5	買い物がしやすい 43.9	
	城西地区	安全に暮らせる 57.9	医療体制が整っている 52.6	買い物がしやすい 34.2	
	田間地区	買い物がしやすい 53.8	安全に暮らせる 52.6	医療体制が整っている 43.6	
	公平地区	医療体制が整っている 52.6	安全に暮らせる 50.9	公共交通が整備されている 45.6	
	豊成地区	医療体制が整っている 55.4	安全に暮らせる 50.0	買い物がしやすい 33.9	
	正気地区	医療体制が整っている 50.8	買い物がしやすい 49.2	安全に暮らせる 40.0	
	福岡地区	医療体制が整っている/買い物がしやすい 54.5		安全に暮らせる 50.0	
	大和地区	安全に暮らせる 57.1	医療体制が整っている 55.1	買い物がしやすい 38.8	
	丘山地区	医療体制が整っている 56.7	公共交通が整備されている/安全に暮らせる 46.7		
	源地区	医療体制が整っている 36.4	自然が豊か 36.4	子育てがしやすい/公共交通が整備されている/高齢者にやさしい/買い物がしやすい 27.3	
	家族構成	一人暮らし	安全に暮らせる 52.6	医療体制が整っている/買い物がしやすい 50.0	
		夫婦二人	医療体制が整っている 55.3	安全に暮らせる 45.3	買い物がしやすい 41.0
夫婦と子ども		医療体制が整っている 55.9	安全に暮らせる 46.6	買い物がしやすい 42.2	
三世代（親・子・孫）		安全に暮らせる 61.9	医療体制が整っている 49.2	買い物がしやすい 38.1	
その他		安全に暮らせる 51.8	医療体制が整っている/買い物がしやすい 45.8		
住まいの形態		持家（一戸建）	医療体制が整っている 53.5	安全に暮らせる 50.3	買い物がしやすい 40.9
	持家（マンション等集合住宅）	買い物がしやすい 63.6	医療体制が整っている 54.5	安全に暮らせる 36.4	
	賃貸（一戸建）	買い物がしやすい 57.1	安全に暮らせる 47.6	医療体制が整っている/公共交通が整備されている 42.9	
	賃貸（マンション等集合住宅）	買い物がしやすい 53.6	安全に暮らせる 50.0	医療体制が整っている 48.2	
	社宅・官舎、親の住まいに同居	買い物がしやすい 55.6	医療体制が整っている/公共交通が整備されている/安全に暮らせる 44.4		
	その他	医療体制が整っている 53.8	安全に暮らせる/買い物がしやすい 46.2		

2 生活や考え方について

(1) 地域活動の参加状況

問7 区会（自治会）などが主催する地域活動（ごみ拾い、防犯・防災、子ども会など）に参加していますか。

- “参加している”が57.5%、“参加していない”が42.0%。

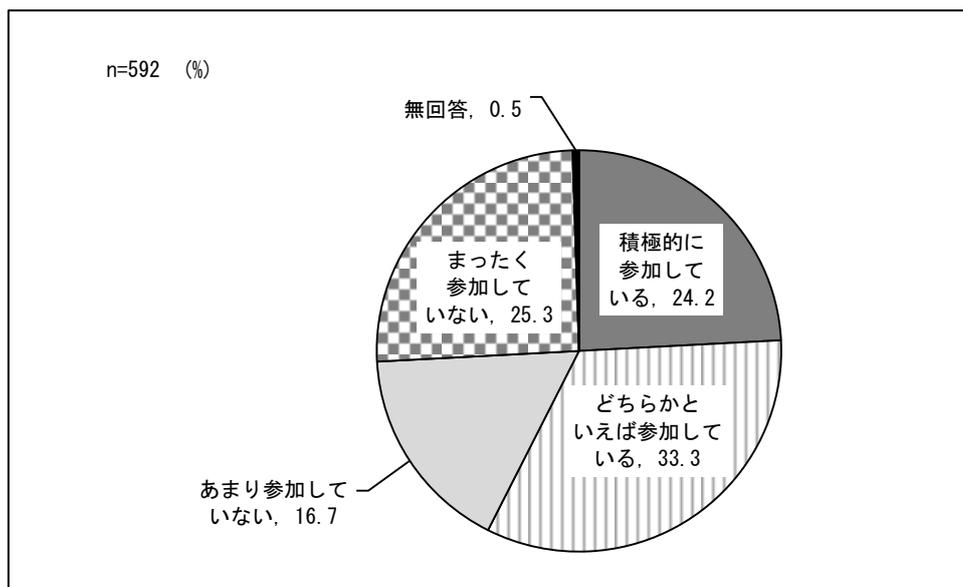
ごみ拾い、防犯・防災、子ども会などの地域活動に参加しているかたずねたところ、「どちらかといえば参加している」（33.3%）が最も多く、これに「積極的に参加している」（24.2%）をあわせた57.5%の人が“参加している”と答えています。一方、“参加していない”（「まったく参加していない」（25.3%）と「あまり参加していない」（16.7%）の合計）は42.0%となっています。

属性別で“参加している”率をみると、性別では、男性（61.0%）が女性（53.0%）を8ポイント上回っています。

年齢では、概ね加齢とともに“参加している”率が上昇する傾向にあり、50歳代以上の世代で5割を超えています。これに対し、40歳代以下の世代では4割台にとどまり、特に20歳代で26.4%と低くなっています。

また、居住地区で“参加している”率をみると、公平地区（75.4%）で最も高く7割を超える一方、田間地区（38.5%）では4割以下にとどまり、地区により大きな差がみられます。[図表11・12参照]

図表11 地域活動の参加状況（全体）



図表 12 地域活動の参加状況（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	積極的に参加している	どちらかといえば参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答
全体		592	24.2	33.3	16.7	25.3	0.5
性別	男性	264	28.4	32.6	16.7	22.0	0.4
	女性	187	20.9	32.1	15.5	30.5	1.1
年齢	20歳代	19	5.3	21.1	15.8	57.9	0.0
	30歳代	29	17.2	24.1	6.9	51.7	0.0
	40歳代	80	15.0	25.0	17.5	42.5	0.0
	50歳代	70	17.1	40.0	14.3	28.6	0.0
	60歳代	148	29.1	36.5	18.9	15.5	0.0
	70歳代	165	31.5	35.2	18.8	13.9	0.6
	80歳以上	75	20.0	32.0	13.3	32.0	2.7
職業	農林業	18	55.6	33.3	5.6	5.6	0.0
	自営業	49	24.5	40.8	20.4	14.3	0.0
	会社員・公務員	149	16.8	30.2	16.1	36.9	0.0
	会社・団体の役員	19	42.1	36.8	5.3	15.8	0.0
	パート・アルバイト	62	17.7	30.6	22.6	29.0	0.0
	家事専業	66	24.2	40.9	18.2	16.7	0.0
	無職	200	25.5	33.5	16.5	23.5	1.0
	その他	20	20.0	25.0	15.0	35.0	5.0
居住年数	5年未満	51	11.8	11.8	21.6	52.9	2.0
	5～10年未満	49	12.2	26.5	12.2	46.9	2.0
	10～20年未満	85	18.8	28.2	18.8	34.1	0.0
	20～30年未満	116	19.0	37.1	23.3	20.7	0.0
	30年以上	285	31.2	38.6	13.3	16.5	0.4
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	16.4	26.0	13.7	43.8	0.0
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	26.2	33.3	21.4	16.7	2.4
	嶺南地区	66	25.8	30.3	10.6	33.3	0.0
	城西地区	38	21.1	23.7	26.3	28.9	0.0
	田間地区	78	9.0	29.5	20.5	39.7	1.3
	公平地区	57	33.3	42.1	8.8	15.8	0.0
	豊成地区	56	33.9	35.7	12.5	17.9	0.0
	正気地区	65	24.6	44.6	12.3	18.5	0.0
	福岡地区	22	22.7	36.4	22.7	18.2	0.0
	大和地区	49	24.5	38.8	20.4	14.3	2.0
	丘山地区	30	36.7	30.0	20.0	13.3	0.0
源地区	11	27.3	18.2	45.5	9.1	0.0	
家族構成	一人暮らし	116	12.9	19.0	20.7	46.6	0.9
	夫婦二人	161	30.4	37.9	15.5	14.9	1.2
	夫婦と子ども	161	26.1	36.6	16.1	21.1	0.0
	三世代（親・子・孫）	63	28.6	41.3	14.3	15.9	0.0
	その他	83	19.3	31.3	16.9	32.5	0.0
住まいの形態	持家（一戸建）	477	27.7	39.8	17.0	14.9	0.6
	持家（マンション等集合住宅）	11	18.2	18.2	9.1	54.5	0.0
	賃貸（一戸建）	21	9.5	4.8	23.8	61.9	0.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	3.6	3.6	12.5	80.4	0.0
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	0.0	11.1	44.4	44.4	0.0
	その他	13	15.4	0.0	0.0	84.6	0.0

(2) 地域活動の参加意向

問8 機会や時間があれば、こうした地域活動に参加したいと思いますか。

- “参加したい”が56.7%、“参加したくない”が40.5%。

地域活動に参加したいかたずねたところ、「どちらかといえば参加したい」(43.2%)が最も多く、これに「積極的に参加したい」(13.5%)をあわせた56.7%の人が“参加したい”と答えています。一方、“参加したくない”（「あまり参加したくない」(26.5%)と「参加したいと思わない」(14.0%)の合計）は40.5%となっています。

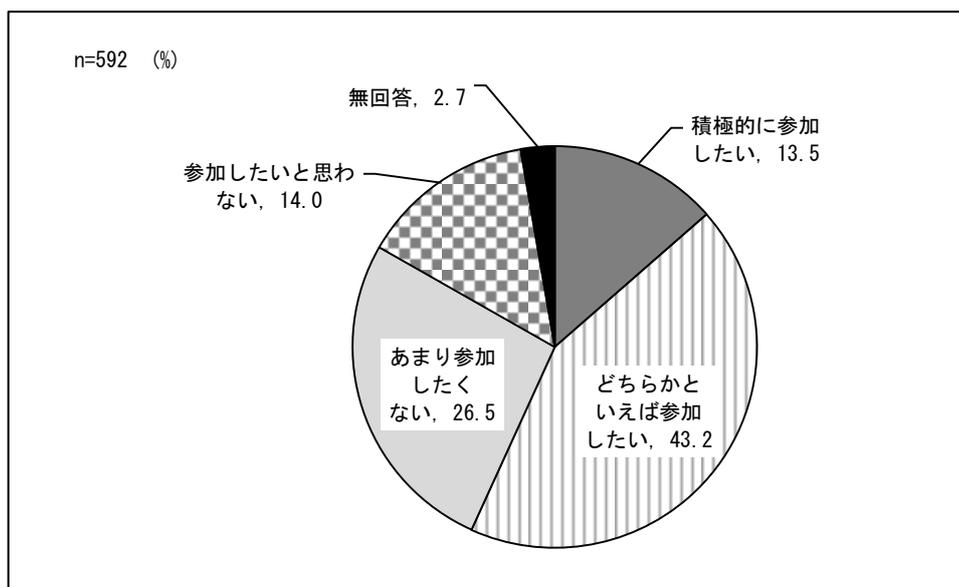
属性別で“参加したい”率をみると、性別では、男性(60.6%)が女性(57.2%)を約3ポイント上回っています。

年齢では、概ね加齢とともに“参加したい”率が上昇する傾向にあり、特に70歳代(63.7%)で6割を超えています。これに対し、40歳代(42.5%)では他の地区に比べ低く、さらに、“参加したくない”(56.3%)が“参加したい”を上回る結果となっています。

また、居住地区で“参加したい”率をみると、大和地区(71.5%)で最も高く7割を超える一方、源地区(27.3%)では3割以下にとどまり、地区により大きな差がみられます。

[図表13・14参照]

図表13 地域活動の参加意向（全体）



図表 14 地域活動の参加意向（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	積極的に参加したい	どちらかといえば参加したい	あまり参加したくない	参加したいと思わない	無回答
全体		592	13.5	43.2	26.5	14.0	2.7
性別	男性	264	17.4	43.2	26.1	11.7	1.5
	女性	187	9.6	47.6	23.5	17.1	2.1
年齢	20歳代	19	5.3	47.4	21.1	26.3	0.0
	30歳代	29	13.8	37.9	31.0	17.2	0.0
	40歳代	80	10.0	32.5	40.0	16.3	1.3
	50歳代	70	11.4	41.4	35.7	11.4	0.0
	60歳代	148	16.2	42.6	26.4	12.8	2.0
	70歳代	165	15.8	47.9	21.2	10.9	4.2
	80歳以上	75	9.3	48.0	16.0	20.0	6.7
職業	農林業	18	27.8	50.0	16.7	0.0	5.6
	自営業	49	12.2	46.9	24.5	12.2	4.1
	会社員・公務員	149	14.8	41.6	28.9	14.1	0.7
	会社・団体の役員	19	10.5	47.4	31.6	10.5	0.0
	パート・アルバイト	62	11.3	41.9	35.5	9.7	1.6
	家事専業	66	9.1	47.0	31.8	9.1	3.0
	無職	200	12.0	43.5	22.5	18.0	4.0
	その他	20	25.0	30.0	20.0	25.0	0.0
居住年数	5年未満	51	11.8	37.3	31.4	19.6	0.0
	5～10年未満	49	8.2	40.8	24.5	24.5	2.0
	10～20年未満	85	8.2	43.5	34.1	10.6	3.5
	20～30年未満	116	11.2	40.5	31.9	15.5	0.9
	30年以上	285	16.8	45.6	21.8	11.9	3.9
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	4.1	49.3	20.5	21.9	4.1
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	14.3	52.4	21.4	7.1	4.8
	嶺南地区	66	12.1	34.8	31.8	18.2	3.0
	城西地区	38	18.4	36.8	31.6	13.2	0.0
	田間地区	78	3.8	44.9	32.1	15.4	3.8
	公平地区	57	17.5	40.4	29.8	12.3	0.0
	豊成地区	56	21.4	46.4	19.6	8.9	3.6
	正気地区	65	16.9	40.0	27.7	13.8	1.5
	福岡地区	22	13.6	45.5	31.8	9.1	0.0
	大和地区	49	18.4	53.1	18.4	8.2	2.0
	丘山地区	30	13.3	40.0	26.7	13.3	6.7
源地区	11	18.2	9.1	36.4	36.4	0.0	
家族構成	一人暮らし	116	6.0	37.9	29.3	22.4	4.3
	夫婦二人	161	14.3	49.7	26.1	9.3	0.6
	夫婦と子ども	161	14.9	43.5	26.1	11.8	3.7
	三世代（親・子・孫）	63	19.0	46.0	22.2	9.5	3.2
	その他	83	14.5	34.9	28.9	19.3	2.4
住まいの形態	持家（一戸建）	477	15.3	46.5	24.9	10.5	2.7
	持家（マンション等集合住宅）	11	9.1	36.4	27.3	27.3	0.0
	賃貸（一戸建）	21	9.5	33.3	23.8	33.3	0.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	3.6	28.6	35.7	30.4	1.8
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	0.0	22.2	44.4	22.2	11.1
	その他	13	0.0	23.1	38.5	30.8	7.7

(3) ボランティア活動の参加状況

問9 高齢者・障がい者・介護などの福祉関係や自然災害などを支援するボランティア活動を行ったことがありますか。

- “参加している”が14.9%、“参加していない”が84.0%。

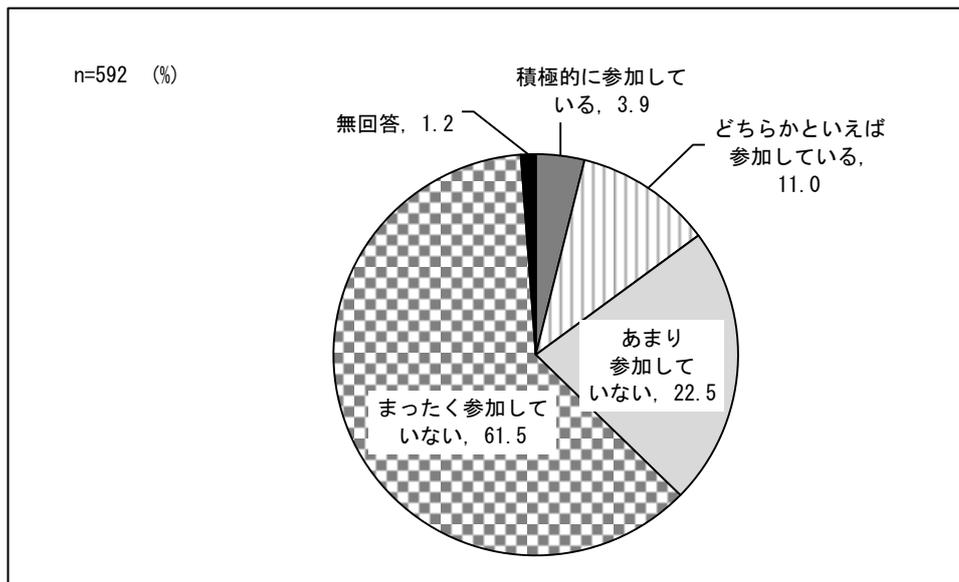
ボランティア活動への参加状況についてたずねたところ、“参加している”（「どちらかといえば参加している」（11.0%）と「積極的に参加している」（3.9%）の合計）と答えた人はわずか14.9%でした。これに対し、“参加していない”（「まったく参加していない」（61.5%）と「あまり参加していない」（22.5%）の合計）は84.0%と8割を超えています。

属性別で“参加している”率をみると、性別では、男性（15.2%）が女性（12.3%）を約3ポイント上回っています。

年齢では、70歳代で20.6%と他の世代に比べ高くなっています。これに対し、20歳代（5.3%）、40歳代（2.5%）では1割にも満たない結果となっています。

また、居住地区で“参加している”率をみると、豊成地区（25.0%）、丘山地区（23.3%）で2割を超える一方、福岡地区では4.5%と他の地区に比べ低くなっています。[図表15・16参照]

図表15 ボランティア活動の参加状況（全体）



図表 16 ボランティア活動の参加状況（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	積極的に参加している	どちらかといえば参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答
全体		592	3.9	11.0	22.5	61.5	1.2
性別	男性	264	3.8	11.4	23.5	60.6	0.8
	女性	187	4.8	7.5	19.3	66.8	1.6
年齢	20歳代	19	0.0	5.3	10.5	84.2	0.0
	30歳代	29	0.0	10.3	10.3	79.3	0.0
	40歳代	80	0.0	2.5	21.3	76.3	0.0
	50歳代	70	1.4	12.9	24.3	61.4	0.0
	60歳代	148	5.4	10.1	25.0	58.8	0.7
	70歳代	165	7.9	12.7	22.4	55.2	1.8
	80歳以上	75	1.3	14.7	24.0	56.0	4.0
職業	農林業	18	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	自営業	49	8.2	10.2	30.6	51.0	0.0
	会社員・公務員	149	0.7	6.7	24.2	68.5	0.0
	会社・団体の役員	19	0.0	10.5	42.1	47.4	0.0
	パート・アルバイト	62	3.2	6.5	14.5	75.8	0.0
	家事専業	66	1.5	12.1	27.3	59.1	0.0
	無職	200	7.0	12.0	17.5	60.0	3.5
	その他	20	5.0	15.0	15.0	65.0	0.0
居住年数	5年未満	51	0.0	13.7	17.6	68.6	0.0
	5～10年未満	49	2.0	6.1	16.3	73.5	2.0
	10～20年未満	85	1.2	8.2	21.2	68.2	1.2
	20～30年未満	116	2.6	6.0	20.7	69.8	0.9
	30年以上	285	6.3	13.7	25.3	53.3	1.4
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	2.7	5.5	21.9	69.9	0.0
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	4.8	4.8	19.0	69.0	2.4
	嶺南地区	66	3.0	15.2	16.7	65.2	0.0
	城西地区	38	2.6	15.8	31.6	50.0	0.0
	田間地区	78	2.6	7.7	16.7	71.8	1.3
	公平地区	57	7.0	12.3	24.6	56.1	0.0
	豊成地区	56	5.4	19.6	30.4	41.1	3.6
	正気地区	65	3.1	10.8	23.1	61.5	1.5
	福岡地区	22	4.5	0.0	9.1	86.4	0.0
	大和地区	49	6.1	6.1	28.6	59.2	0.0
	丘山地区	30	0.0	23.3	13.3	56.7	6.7
源地区	11	9.1	0.0	45.5	45.5	0.0	
家族構成	一人暮らし	116	4.3	11.2	17.2	65.5	1.7
	夫婦二人	161	5.6	12.4	23.6	57.8	0.6
	夫婦と子ども	161	1.9	6.8	22.4	67.1	1.9
	三世代（親・子・孫）	63	7.9	15.9	31.7	42.9	1.6
	その他	83	1.2	9.6	20.5	68.7	0.0
住まいの形態	持家（一戸建）	477	4.4	11.7	23.7	58.9	1.3
	持家（マンション等集合住宅）	11	0.0	0.0	27.3	72.7	0.0
	賃貸（一戸建）	21	0.0	9.5	14.3	76.2	0.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	1.8	7.1	10.7	80.4	0.0
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	11.1	0.0	44.4	44.4	0.0
	その他	13	0.0	7.7	15.4	69.2	7.7

(4) ボランティア活動の参加意向

問 10 機会があれば、こうしたボランティア活動をしたいと思いませんか。

● “参加したい” が 46.4%、“参加したくない” が 51.5%。

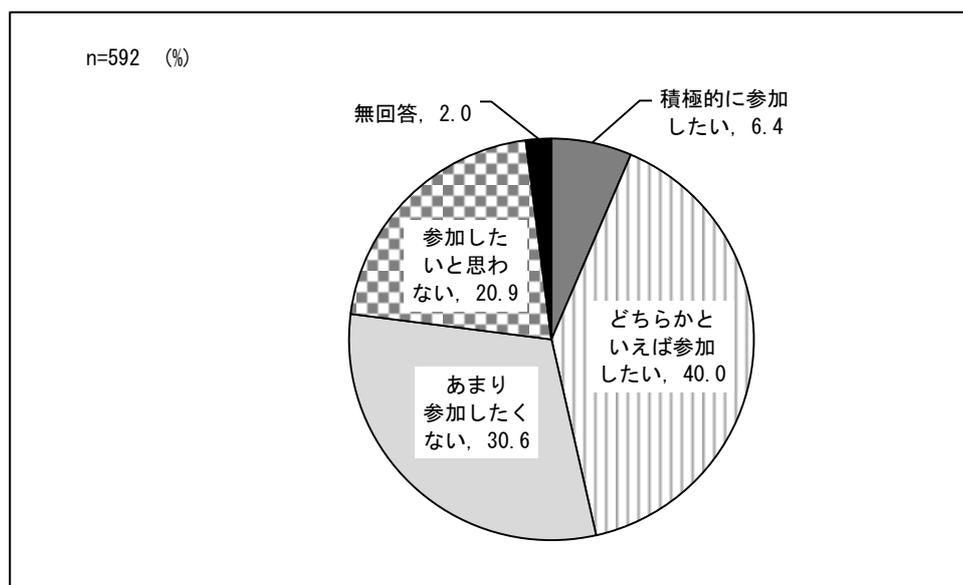
今後のボランティア活動への参加意向についてたずねたところ、「どちらかといえば参加したい」(40.0%) が最も多く、これに「積極的に参加したい」(6.4%) をあわせた“参加したい”は 46.4%となっています。一方、“参加したくない”（「あまり参加したくない」(30.6%) と「参加したいと思わない」(20.9%) の合計）は 51.5%となっています。

属性別で“参加したい”率をみると、性別では、女性(50.2%)が男性(46.3%)を約4ポイント上回っています。

年齢では、60歳代(50.6%)で最も高く、次いで50歳代(48.6%)、70歳代(48.5%)、20歳代(47.4%)、30歳代(41.4%)、40歳代(41.3%)、80歳以上(37.3%)の順となっています。

また、居住地区で“参加したい”率をみると、豊成地区(55.4%)、大和地区(55.1%)、東金地区(日吉台・八坂台)(52.4%)、東金地区(上宿・岩崎・新宿・谷)(50.7%)で5割を超える一方、源地区では36.4%と他の地区に比べ低くなっています。[図表 17・18 参照]

図表 17 ボランティア活動の参加意向（全体、属性別）



図表 18 ボランティア活動の参加意向（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	積極的に参加したい	どちらかといえば参加したい	あまり参加したくない	参加したいと思わない	無回答
全体		592	6.4	40.0	30.6	20.9	2.0
性別	男性	264	6.1	40.2	32.6	20.5	0.8
	女性	187	5.3	44.9	25.1	21.9	2.7
年齢	20歳代	19	0.0	47.4	26.3	26.3	0.0
	30歳代	29	6.9	34.5	34.5	24.1	0.0
	40歳代	80	6.3	35.0	36.3	22.5	0.0
	50歳代	70	5.7	42.9	30.0	21.4	0.0
	60歳代	148	7.4	43.2	29.1	19.6	0.7
	70歳代	165	7.3	41.2	32.1	16.4	3.0
	80歳以上	75	4.0	33.3	24.0	30.7	8.0
職業	農林業	18	5.6	38.9	27.8	27.8	0.0
	自営業	49	10.2	53.1	16.3	18.4	2.0
	会社員・公務員	149	4.7	40.9	34.9	19.5	0.0
	会社・団体の役員	19	10.5	52.6	26.3	10.5	0.0
	パート・アルバイト	62	8.1	37.1	38.7	16.1	0.0
	家事専業	66	4.5	43.9	34.8	16.7	0.0
	無職	200	6.5	32.0	28.5	28.0	5.0
	その他	20	5.0	60.0	25.0	5.0	5.0
居住年数	5年未満	51	7.8	37.3	33.3	19.6	2.0
	5～10年未満	49	6.1	36.7	32.7	22.4	2.0
	10～20年未満	85	4.7	38.8	32.9	20.0	3.5
	20～30年未満	116	2.6	42.2	32.8	22.4	0.0
	30年以上	285	8.1	40.4	28.1	21.1	2.5
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	4.1	46.6	21.9	26.0	1.4
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	9.5	42.9	28.6	16.7	2.4
	嶺南地区	66	7.6	37.9	27.3	25.8	1.5
	城西地区	38	7.9	34.2	28.9	28.9	0.0
	田間地区	78	3.8	37.2	41.0	15.4	2.6
	公平地区	57	5.3	36.8	42.1	14.0	1.8
	豊成地区	56	3.6	51.8	23.2	17.9	3.6
	正気地区	65	4.6	38.5	35.4	20.0	1.5
	福岡地区	22	13.6	27.3	27.3	31.8	0.0
	大和地区	49	8.2	46.9	26.5	16.3	2.0
	丘山地区	30	10.0	30.0	20.0	33.3	6.7
源地区	11	9.1	27.3	45.5	18.2	0.0	
家族構成	一人暮らし	116	5.2	39.7	28.4	23.3	3.4
	夫婦二人	161	6.2	43.5	34.8	14.3	1.2
	夫婦と子ども	161	6.8	41.6	25.5	23.6	2.5
	三世代（親・子・孫）	63	7.9	42.9	30.2	17.5	1.6
	その他	83	6.0	28.9	34.9	28.9	1.2
住まいの形態	持家（一戸建）	477	6.1	41.1	30.6	19.9	2.3
	持家（マンション等集合住宅）	11	18.2	27.3	27.3	27.3	0.0
	賃貸（一戸建）	21	4.8	38.1	19.0	38.1	0.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	5.4	42.9	32.1	19.6	0.0
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	22.2	22.2	33.3	22.2	0.0
	その他	13	0.0	15.4	38.5	38.5	7.7

(5) 避難場所やハザードマップの確認

問 11 災害時の避難場所やハザードマップの確認をしていますか。

- 「している」が56.3%、「していない」が43.1%。

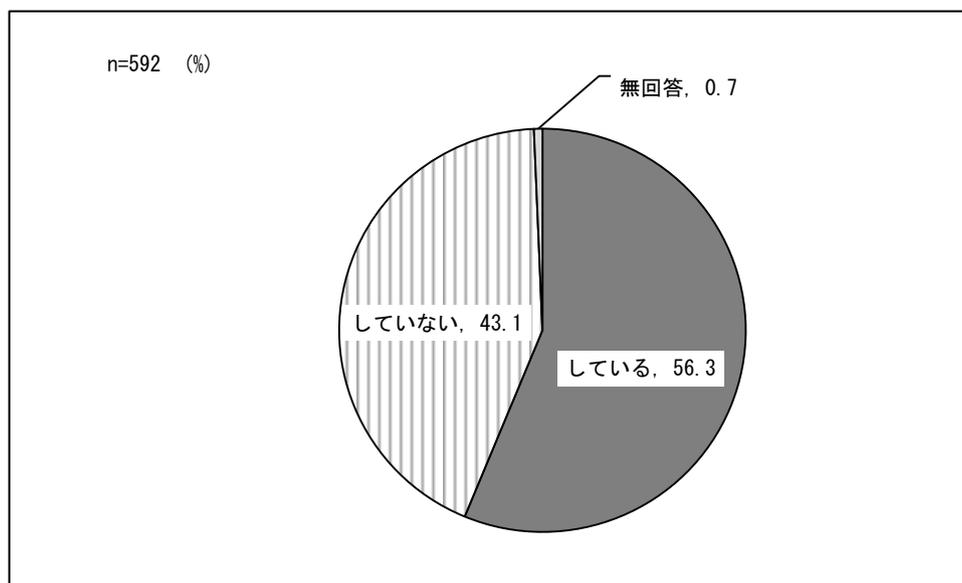
災害時の避難場所やハザードマップの確認をしているかたずねたところ、「している」と答えた人が56.3%、「していない」と答えた人が43.1%となっています。

属性別で「している」率をみると、性別では、男性（60.6%）が女性（54.5%）を約6ポイント上回っています。

年齢では、60歳代（63.5%）、70歳代（60.0%）、80歳以上（56.0%）、40歳代（51.3%）で「している」率が5割を超え、60歳以上の高齢層での防災意識の高さがうかがえます。これに対し、20歳代（47.4%）、50歳代（47.1%）、30歳代（37.9%）では5割に満たない結果となっています。

また、居住地区で「している」率をみると、丘山地区（70.0%）が最も高く7割に達しているほか、他のほとんどの地区も5割を超えています。これに対し、東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）（47.9%）、源地区（36.4%）では、他の地区に比べ低い結果となっています。[図表19・20参照]

図表 19 避難場所やハザードマップの確認（全体）



図表 20 避難場所やハザードマップの確認（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	している	していない	無回答
全体		592	56.3	43.1	0.7
性別	男性	264	60.6	38.6	0.8
	女性	187	54.5	44.4	1.1
年齢	20歳代	19	47.4	52.6	0.0
	30歳代	29	37.9	62.1	0.0
	40歳代	80	51.3	48.8	0.0
	50歳代	70	47.1	52.9	0.0
	60歳代	148	63.5	36.5	0.0
	70歳代	165	60.0	38.8	1.2
	80歳以上	75	56.0	41.3	2.7
職業	農林業	18	50.0	50.0	0.0
	自営業	49	55.1	44.9	0.0
	会社員・公務員	149	52.3	47.7	0.0
	会社・団体の役員	19	47.4	52.6	0.0
	パート・アルバイト	62	48.4	51.6	0.0
	家事専業	66	71.2	28.8	0.0
	無職	200	58.0	40.5	1.5
	その他	20	55.0	40.0	5.0
居住年数	5年未満	51	35.3	62.7	2.0
	5～10年未満	49	42.9	55.1	2.0
	10～20年未満	85	61.2	38.8	0.0
	20～30年未満	116	65.5	33.6	0.9
	30年以上	285	56.8	42.8	0.4
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	47.9	52.1	0.0
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	61.9	33.3	4.8
	嶺南地区	66	56.1	43.9	0.0
	城西地区	38	57.9	42.1	0.0
	田間地区	78	52.6	46.2	1.3
	公平地区	57	54.4	45.6	0.0
	豊成地区	56	60.7	39.3	0.0
	正気地区	65	60.0	40.0	0.0
	福岡地区	22	54.5	45.5	0.0
	大和地区	49	57.1	40.8	2.0
	丘山地区	30	70.0	30.0	0.0
源地区	11	36.4	63.6	0.0	
家族構成	一人暮らし	116	47.4	50.9	1.7
	夫婦二人	161	68.3	30.4	1.2
	夫婦と子ども	161	56.5	43.5	0.0
	三世代（親・子・孫）	63	57.1	42.9	0.0
	その他	83	44.6	55.4	0.0
住まいの形態	持家（一戸建）	477	60.6	38.8	0.6
	持家（マンション等集合住宅）	11	54.5	45.5	0.0
	賃貸（一戸建）	21	23.8	76.2	0.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	39.3	60.7	0.0
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	33.3	66.7	0.0
	その他	13	38.5	53.8	7.7

(6) この1年間に防災訓練に参加したか

問 12 この1年間に、防災訓練に参加しましたか。

- 「した」が11.3%、「しなかった」が87.8%。

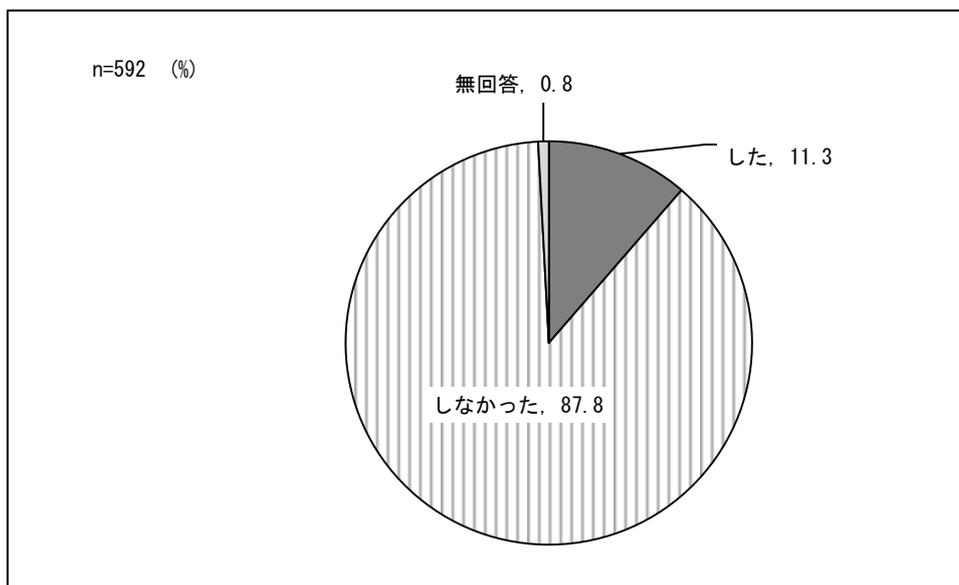
この1年間に防災訓練に参加したかたずねたところ、「した」と答えた人はわずか11.3%でした。これに対し、「しなかった」と答えた人は87.8%と9割弱を占めていることから、市民の防災訓練への参加状況の低さがうかがえる結果となっています。

属性別で「した」率をみると、性別では、男性(12.1%)が女性(10.2%)を約2ポイント上回っています。

年齢では、すべての世代で「した」率が2割以下にとどまり、特に70歳代(6.7%)、80歳以上(5.3%)の高齢層での低さが目立つ結果となっています。

また、居住地区で「した」率をみると、東金地区(日吉台・八坂台)が23.8%と唯一2割を超える一方、城西地区、丘山地区、源地区の3地区では0.0%となっています。[図表 21・22 参照]

図表 21 この1年間に防災訓練に参加したか(全体)



図表 22 この1年間に防災訓練に参加したか（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	した	しなかった	無回答
全体		592	11.3	87.8	0.8
性別	男性	264	12.1	87.1	0.8
	女性	187	10.2	88.2	1.6
年齢	20歳代	19	15.8	84.2	0.0
	30歳代	29	13.8	86.2	0.0
	40歳代	80	12.5	87.5	0.0
	50歳代	70	17.1	81.4	1.4
	60歳代	148	14.2	85.1	0.7
	70歳代	165	6.7	92.7	0.6
	80歳以上	75	5.3	92.0	2.7
職業	農林業	18	0.0	100.0	0.0
	自営業	49	6.1	93.9	0.0
	会社員・公務員	149	17.4	81.9	0.7
	会社・団体の役員	19	10.5	89.5	0.0
	パート・アルバイト	62	8.1	91.9	0.0
	家事専業	66	7.6	92.4	0.0
	無職	200	11.5	87.0	1.5
	その他	20	5.0	90.0	5.0
居住年数	5年未満	51	11.8	86.3	2.0
	5～10年未満	49	10.2	85.7	4.1
	10～20年未満	85	14.1	85.9	0.0
	20～30年未満	116	12.1	87.9	0.0
	30年以上	285	9.8	89.5	0.7
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	12.3	87.7	0.0
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	23.8	73.8	2.4
	嶺南地区	66	9.1	90.9	0.0
	城西地区	38	0.0	100.0	0.0
	田間地区	78	6.4	91.0	2.6
	公平地区	57	15.8	84.2	0.0
	豊成地区	56	10.7	89.3	0.0
	正気地区	65	10.8	89.2	0.0
	福岡地区	22	18.2	81.8	0.0
	大和地区	49	18.4	77.6	4.1
	丘山地区	30	0.0	100.0	0.0
源地区	11	0.0	100.0	0.0	
家族構成	一人暮らし	116	7.8	90.5	1.7
	夫婦二人	161	13.7	85.1	1.2
	夫婦と子ども	161	12.4	87.6	0.0
	三世代（親・子・孫）	63	11.1	88.9	0.0
	その他	83	8.4	90.4	1.2
住まいの形態	持家（一戸建）	477	11.3	87.8	0.8
	持家（マンション等集合住宅）	11	9.1	90.9	0.0
	賃貸（一戸建）	21	0.0	95.2	4.8
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	10.7	89.3	0.0
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	22.2	77.8	0.0
	その他	13	15.4	84.6	0.0

(7) 頼りになる友人や知人が近所にいるか

問 13 家族や親戚以外で、災害などいざというときに頼りになる友人や知人が近所にいますか。

- 「はい」が52.9%、「いいえ」が45.9%。

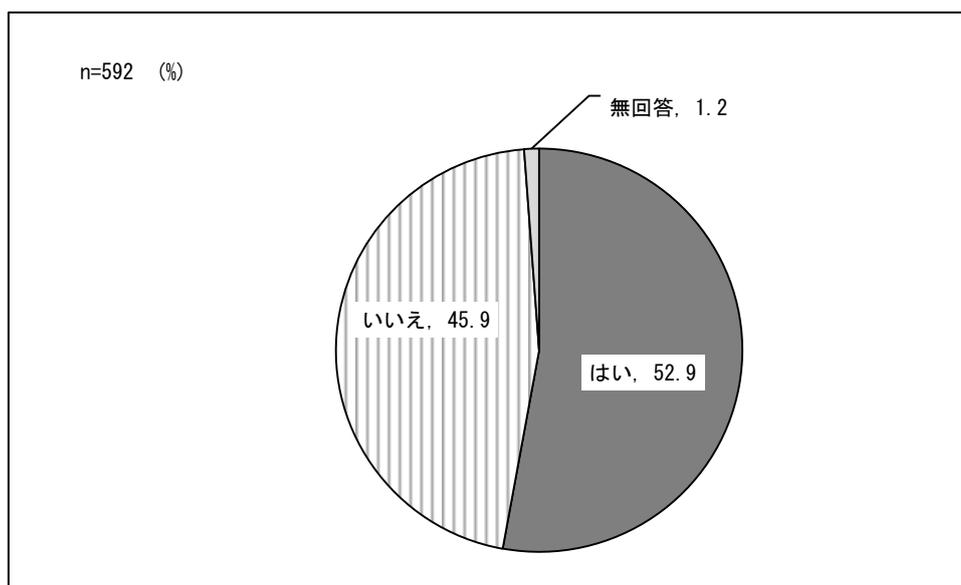
頼りになる友人や知人がいるかたずねたところ、「はい」と答えた人が52.9%、「いいえ」と答えた人が45.9%となっています。

属性別で「はい」率をみると、性別では、女性(55.6%)が男性(52.3%)を約3ポイント上回っています。

年齢では、80歳以上(61.3%)が最も高く6割を超えるほか、70歳代(55.2%)、40歳代(55.0%)、20歳代(52.6%)が5割を超える一方、60歳代(49.3%)、50歳代(48.6%)、30歳代(34.5%)で5割に満たない結果となっています。

また、居住地区で「はい」率をみると、豊成地区(64.3%)、丘山地区(60.0%)が最も高く6割を超えるほか、公平地区(59.6%)、東金地区(上宿・岩崎・新宿・谷)(57.5%)、福岡地区(54.5%)、大和地区(51.0%)、東金地区(日吉台・八坂台)(50.0%)で5割を超える結果となっています。これに対し、田間地区(48.7%)、城西地区(47.4%)、正気地区(46.2%)、嶺南地区・源地区(同率45.5%)で5割に満たない結果となっています。[図表23・24参照]

図表 23 頼りになる友人や知人が近所にいるか (全体)



図表 24 頼りになる友人や知人が近所にいるか（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	はい	いいえ	無回答
全体		592	52.9	45.9	1.2
性別	男性	264	52.3	47.3	0.4
	女性	187	55.6	42.2	2.1
年齢	20歳代	19	52.6	47.4	0.0
	30歳代	29	34.5	65.5	0.0
	40歳代	80	55.0	45.0	0.0
	50歳代	70	48.6	51.4	0.0
	60歳代	148	49.3	50.7	0.0
	70歳代	165	55.2	43.6	1.2
	80歳以上	75	61.3	32.0	6.7
職業	農林業	18	61.1	38.9	0.0
	自営業	49	51.0	49.0	0.0
	会社員・公務員	149	49.0	51.0	0.0
	会社・団体の役員	19	73.7	26.3	0.0
	パート・アルバイト	62	45.2	54.8	0.0
	家事専業	66	57.6	39.4	3.0
	無職	200	54.5	44.0	1.5
	その他	20	50.0	45.0	5.0
居住年数	5年未満	51	39.2	58.8	2.0
	5～10年未満	49	42.9	55.1	2.0
	10～20年未満	85	41.2	58.8	0.0
	20～30年未満	116	50.9	48.3	0.9
	30年以上	285	61.1	37.9	1.1
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	57.5	41.1	1.4
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	50.0	47.6	2.4
	嶺南地区	66	45.5	53.0	1.5
	城西地区	38	47.4	52.6	0.0
	田間地区	78	48.7	50.0	1.3
	公平地区	57	59.6	40.4	0.0
	豊成地区	56	64.3	33.9	1.8
	正気地区	65	46.2	53.8	0.0
	福岡地区	22	54.5	45.5	0.0
	大和地区	49	51.0	44.9	4.1
	丘山地区	30	60.0	40.0	0.0
源地区	11	45.5	54.5	0.0	
家族構成	一人暮らし	116	48.3	50.0	1.7
	夫婦二人	161	55.3	43.5	1.2
	夫婦と子ども	161	48.4	50.9	0.6
	三世代（親・子・孫）	63	58.7	39.7	1.6
	その他	83	56.6	42.2	1.2
住まいの形態	持家（一戸建）	477	54.5	44.0	1.5
	持家（マンション等集合住宅）	11	36.4	63.6	0.0
	賃貸（一戸建）	21	47.6	52.4	0.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	42.9	57.1	0.0
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	55.6	44.4	0.0
	その他	13	46.2	53.8	0.0

(8) 日頃の健康増進のための取り組み

問 14 日頃、健康増進のための取り組み（食生活改善や運動など）をしていますか。

- 「している」が 63.9%、「していない」が 35.3%。

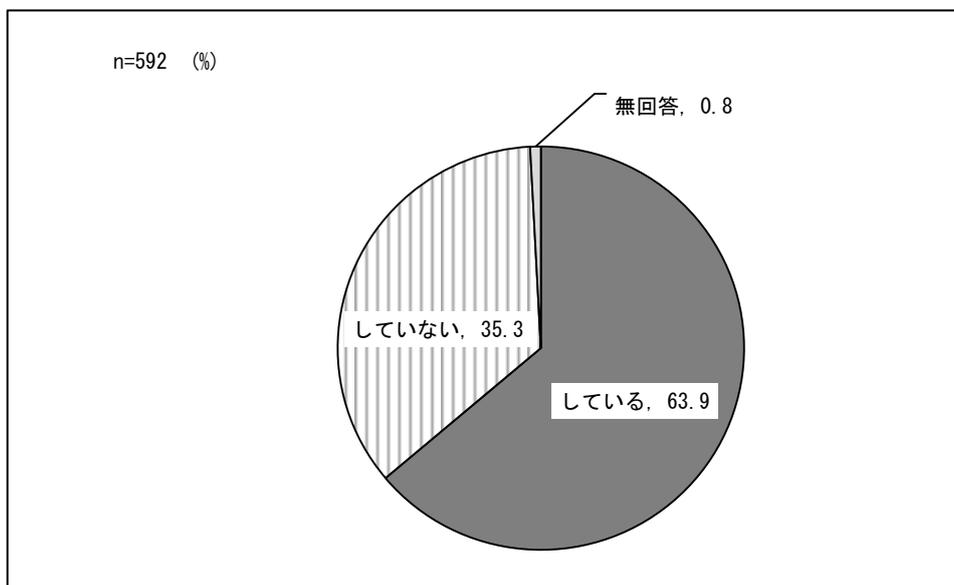
日頃、健康増進のための取り組みをしているかたずねたところ、「している」と答えた人が 63.9%、「していない」と答えた人が 35.3%となっています。

属性別で「している」率をみると、性別では、女性（63.1%）が男性（62.1%）を1ポイント上回っています。

年齢では、70歳代（73.3%）、60歳代（70.3%）、80歳以上（66.7%）で6割を超え、他の世代に比べ高齢層での健康志向の高まりがうかがえる結果となっています。

また、居住地区で「している」率をみると、ほとんどの地区で6割を超えています。これに対し、東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）（58.9%）、田間地区（48.7%）、豊成地区（44.6%）では、他の地区に比べ低い結果となっています。[図表 25・26 参照]

図表 25 日頃の健康増進のための取り組み（全体）



図表 26 日頃の健康増進のための取り組み（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	している	していない	無回答
全体		592	63.9	35.3	0.8
性別	男性	264	62.1	37.5	0.4
	女性	187	63.1	35.3	1.6
年齢	20歳代	19	47.4	52.6	0.0
	30歳代	29	31.0	69.0	0.0
	40歳代	80	53.8	46.3	0.0
	50歳代	70	52.9	47.1	0.0
	60歳代	148	70.3	29.7	0.0
	70歳代	165	73.3	25.5	1.2
	80歳以上	75	66.7	29.3	4.0
職業	農林業	18	55.6	44.4	0.0
	自営業	49	63.3	36.7	0.0
	会社員・公務員	149	50.3	49.7	0.0
	会社・団体の役員	19	78.9	21.1	0.0
	パート・アルバイト	62	66.1	33.9	0.0
	家事専業	66	72.7	27.3	0.0
	無職	200	70.5	27.5	2.0
	その他	20	55.0	40.0	5.0
居住年数	5年未満	51	56.9	39.2	3.9
	5～10年未満	49	55.1	42.9	2.0
	10～20年未満	85	72.9	27.1	0.0
	20～30年未満	116	62.9	37.1	0.0
	30年以上	285	63.9	35.4	0.7
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	58.9	39.7	1.4
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	73.8	23.8	2.4
	嶺南地区	66	71.2	28.8	0.0
	城西地区	38	73.7	26.3	0.0
	田間地区	78	48.7	50.0	1.3
	公平地区	57	70.2	29.8	0.0
	豊成地区	56	44.6	53.6	1.8
	正気地区	65	70.8	29.2	0.0
	福岡地区	22	72.7	27.3	0.0
	大和地区	49	67.3	30.6	2.0
	丘山地区	30	66.7	33.3	0.0
源地区	11	63.6	36.4	0.0	
家族構成	一人暮らし	116	65.5	32.8	1.7
	夫婦二人	161	74.5	24.2	1.2
	夫婦と子ども	161	57.1	42.2	0.6
	三世代（親・子・孫）	63	50.8	49.2	0.0
	その他	83	62.7	37.3	0.0
住まいの形態	持家（一戸建）	477	66.5	32.5	1.0
	持家（マンション等集合住宅）	11	72.7	27.3	0.0
	賃貸（一戸建）	21	38.1	61.9	0.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	57.1	42.9	0.0
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	55.6	44.4	0.0
	その他	13	30.8	69.2	0.0

(9) 日頃市内で買い物をしているか

問 15 日頃、市内で買い物をしていますか。

- 「している」が94.6%、「していない」が4.6%。

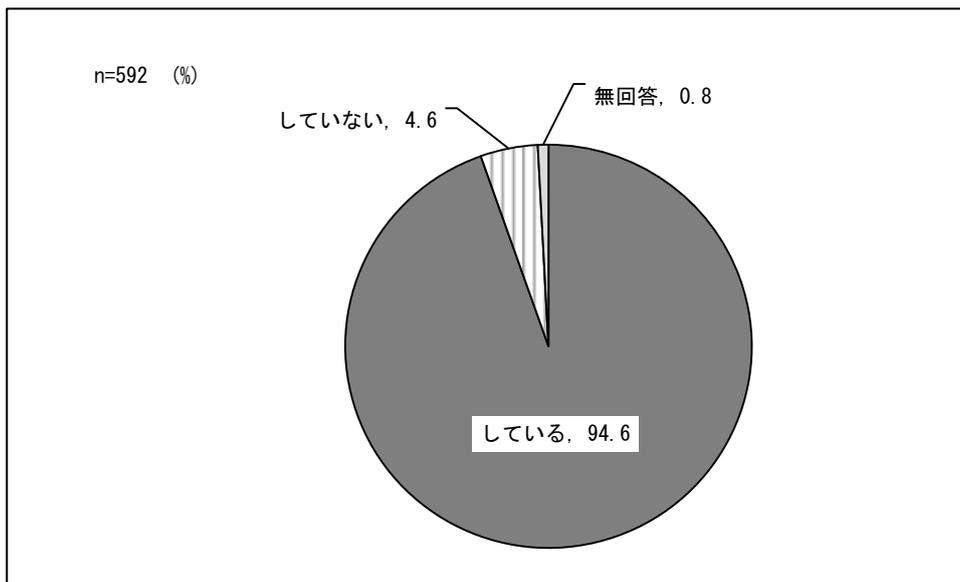
日頃、市内で買い物をしているかたずねたところ、「している」と答えた人が94.6%、「していない」と答えた人が4.6%となっています。

属性別で「している」率をみると、性別では、男性(94.3%)が女性(93.6%)を約1ポイント上回っています。

年齢では、すべての世代で8割を超え、世代の違いによる大きな差はみられません。

また、居住地区で「している」率をみると、ほとんどの地区で8割を超える一方、源地区(36.4%)では4割以下にとどまり、他の地区に比べ低くなっています。[図表27・28参照]

図表 27 日頃市内で買い物をしているか (全体)



図表 28 日頃市内で買い物をしているか（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	している	していない	無回答
全体		592	94.6	4.6	0.8
性別	男性	264	94.3	4.2	1.5
	女性	187	93.6	5.9	0.5
年齢	20歳代	19	100.0	0.0	0.0
	30歳代	29	100.0	0.0	0.0
	40歳代	80	97.5	2.5	0.0
	50歳代	70	97.1	2.9	0.0
	60歳代	148	94.6	5.4	0.0
	70歳代	165	93.9	3.6	2.4
	80歳以上	75	86.7	12.0	1.3
職業	農林業	18	94.4	5.6	0.0
	自営業	49	98.0	2.0	0.0
	会社員・公務員	149	97.3	2.7	0.0
	会社・団体の役員	19	89.5	10.5	0.0
	パート・アルバイト	62	91.9	8.1	0.0
	家事専業	66	97.0	3.0	0.0
	無職	200	92.0	5.5	2.5
	その他	20	95.0	5.0	0.0
居住年数	5年未満	51	100.0	0.0	0.0
	5～10年未満	49	95.9	2.0	2.0
	10～20年未満	85	90.6	8.2	1.2
	20～30年未満	116	96.6	3.4	0.0
	30年以上	285	93.7	5.3	1.1
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	97.3	2.7	0.0
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	92.9	4.8	2.4
	嶺南地区	66	97.0	3.0	0.0
	城西地区	38	97.4	2.6	0.0
	田間地区	78	97.4	1.3	1.3
	公平地区	57	96.5	3.5	0.0
	豊成地区	56	94.6	3.6	1.8
	正気地区	65	98.5	1.5	0.0
	福岡地区	22	86.4	13.6	0.0
	大和地区	49	95.9	2.0	2.0
	丘山地区	30	86.7	10.0	3.3
源地区	11	36.4	63.6	0.0	
家族構成	一人暮らし	116	94.8	4.3	0.9
	夫婦二人	161	94.4	3.7	1.9
	夫婦と子ども	161	94.4	5.0	0.6
	三世代（親・子・孫）	63	93.7	6.3	0.0
	その他	83	95.2	4.8	0.0
住まいの形態	持家（一戸建）	477	94.3	4.6	1.0
	持家（マンション等集合住宅）	11	100.0	0.0	0.0
	賃貸（一戸建）	21	90.5	9.5	0.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	98.2	1.8	0.0
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	100.0	0.0	0.0
	その他	13	84.6	15.4	0.0

(10) この1年間に生涯学習活動をしたか

問 16 この1年間に、市の講座や教室等を利用した生涯学習活動をしましたか。

- 「した」が8.6%、「しなかった」が90.7%。

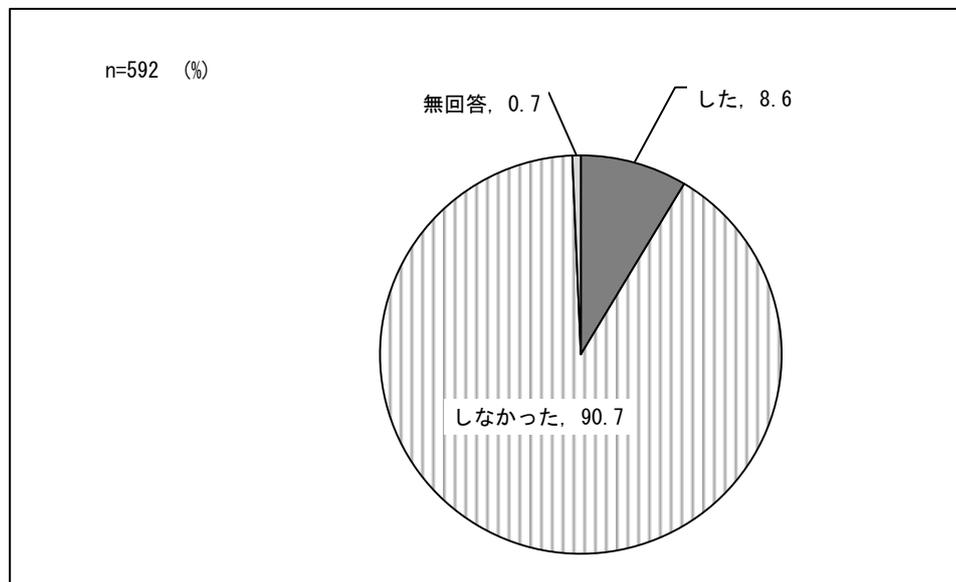
この1年間に市の講座や教室等を利用した生涯学習活動をしたかたずねたところ、「した」と答えた人はわずか8.6%でした。これに対し、「しなかった」と答えた人は90.7%となっています。

属性別で「した」率をみると、性別では、女性（10.7%）が男性（6.1%）を約5ポイント上回っています。

年齢では、概ね加齢とともに上昇する傾向にあり、70歳代（12.7%）、80歳以上（10.7%）で1割を超え、他の世代に比べ高齢層での学習意欲の高さがうかがえます。

また、居住地区で「した」率をみると、東金地区（日吉台・八坂台）（16.7%）、大和地区（14.3%）、田間地区（11.5%）、城西地区（10.5%）、丘山地区（10.0%）で1割を超える結果となっています。[図表 29・30 参照]

図表 29 この1年間に生涯学習活動をしたか（全体）



図表 30 この1年間に生涯学習活動をしたか（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	した	しなかった	無回答
全体		592	8.6	90.7	0.7
性別	男性	264	6.1	93.6	0.4
	女性	187	10.7	88.2	1.1
年齢	20歳代	19	0.0	100.0	0.0
	30歳代	29	3.4	96.6	0.0
	40歳代	80	3.8	96.3	0.0
	50歳代	70	7.1	92.9	0.0
	60歳代	148	8.1	91.9	0.0
	70歳代	165	12.7	86.7	0.6
	80歳以上	75	10.7	85.3	4.0
職業	農林業	18	0.0	100.0	0.0
	自営業	49	8.2	91.8	0.0
	会社員・公務員	149	3.4	96.6	0.0
	会社・団体の役員	19	10.5	89.5	0.0
	パート・アルバイト	62	4.8	95.2	0.0
	家事専業	66	13.6	86.4	0.0
	無職	200	13.5	85.0	1.5
	その他	20	0.0	95.0	5.0
居住年数	5年未満	51	7.8	88.2	3.9
	5～10年未満	49	6.1	91.8	2.0
	10～20年未満	85	3.5	96.5	0.0
	20～30年未満	116	8.6	91.4	0.0
	30年以上	285	10.5	89.1	0.4
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	4.1	94.5	1.4
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	16.7	81.0	2.4
	嶺南地区	66	4.5	95.5	0.0
	城西地区	38	10.5	89.5	0.0
	田間地区	78	11.5	87.2	1.3
	公平地区	57	8.8	91.2	0.0
	豊成地区	56	5.4	94.6	0.0
	正気地区	65	7.7	92.3	0.0
	福岡地区	22	4.5	95.5	0.0
	大和地区	49	14.3	83.7	2.0
	丘山地区	30	10.0	90.0	0.0
源地区	11	0.0	100.0	0.0	
家族構成	一人暮らし	116	6.0	92.2	1.7
	夫婦二人	161	12.4	86.3	1.2
	夫婦と子ども	161	4.3	95.7	0.0
	三世代（親・子・孫）	63	11.1	88.9	0.0
	その他	83	9.6	90.4	0.0
住まいの形態	持家（一戸建）	477	9.2	89.9	0.8
	持家（マンション等集合住宅）	11	18.2	81.8	0.0
	賃貸（一戸建）	21	4.8	95.2	0.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	3.6	96.4	0.0
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	11.1	88.9	0.0
	その他	13	0.0	100.0	0.0

(11) 週1回以上スポーツ活動をしているか

問 17 週1回以上、スポーツ活動をしていますか。

- 「している」が28.7%、「していない」が70.3%。

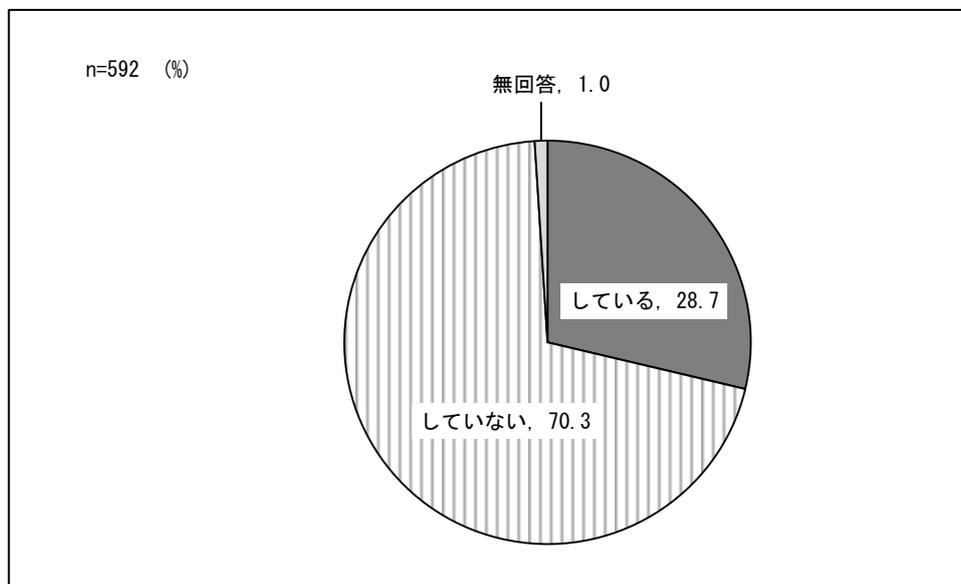
週1回以上のスポーツ活動をしているかたずねたところ、「している」と答えた人は28.7%でした。これに対し、「していない」と答えた人は70.3%となっています。

属性別で「している」率をみると、性別では、女性（28.9%）が男性（27.7%）を約1ポイント上回っています。

年齢では、70歳代（35.2%）、60歳代（34.5%）の高齢層で高く、これに対し、20歳代（15.8%）、30歳代（13.8%）の若い世代で低い傾向がみられます。

また、居住地区で「している」率をみると、東金地区（日吉台・八坂台）（45.2%）で最も高く4割を超える一方、正気地区（18.5%）では最も低く2割に満たない結果となっています。[図表31・32参照]

図表 31 週1回以上スポーツ活動をしているか（全体）



図表 32 週1回以上スポーツ活動をしているか（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	している	していない	無回答
全体		592	28.7	70.3	1.0
性別	男性	264	27.7	72.0	0.4
	女性	187	28.9	69.5	1.6
年齢	20歳代	19	15.8	84.2	0.0
	30歳代	29	13.8	86.2	0.0
	40歳代	80	27.5	72.5	0.0
	50歳代	70	20.0	80.0	0.0
	60歳代	148	34.5	64.9	0.7
	70歳代	165	35.2	63.6	1.2
	80歳以上	75	20.0	76.0	4.0
職業	農林業	18	11.1	88.9	0.0
	自営業	49	26.5	73.5	0.0
	会社員・公務員	149	20.1	79.9	0.0
	会社・団体の役員	19	47.4	52.6	0.0
	パート・アルバイト	62	30.6	67.7	1.6
	家事専業	66	36.4	63.6	0.0
	無職	200	31.5	66.5	2.0
	その他	20	40.0	55.0	5.0
居住年数	5年未満	51	33.3	62.7	3.9
	5～10年未満	49	28.6	69.4	2.0
	10～20年未満	85	35.3	64.7	0.0
	20～30年未満	116	26.7	73.3	0.0
	30年以上	285	26.7	72.3	1.1
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	27.4	71.2	1.4
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	45.2	52.4	2.4
	嶺南地区	66	30.3	69.7	0.0
	城西地区	38	39.5	60.5	0.0
	田間地区	78	23.1	75.6	1.3
	公平地区	57	28.1	71.9	0.0
	豊成地区	56	25.0	75.0	0.0
	正気地区	65	18.5	80.0	1.5
	福岡地区	22	31.8	68.2	0.0
	大和地区	49	28.6	67.3	4.1
	丘山地区	30	33.3	66.7	0.0
源地区	11	27.3	72.7	0.0	
家族構成	一人暮らし	116	35.3	63.8	0.9
	夫婦二人	161	35.4	63.4	1.2
	夫婦と子ども	161	22.4	77.6	0.0
	三世代（親・子・孫）	63	15.9	81.0	3.2
	その他	83	26.5	72.3	1.2
住まいの形態	持家（一戸建）	477	29.4	69.6	1.0
	持家（マンション等集合住宅）	11	54.5	45.5	0.0
	賃貸（一戸建）	21	9.5	85.7	4.8
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	28.6	71.4	0.0
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	22.2	77.8	0.0
	その他	13	15.4	84.6	0.0

(12) 資源回収を活用しているか

問 18 ごみの減量や地球温暖化防止のため、リサイクル倉庫などの資源回収を活用していますか。

- “活用している” が 69.0%、“活用していない” が 30.2%。

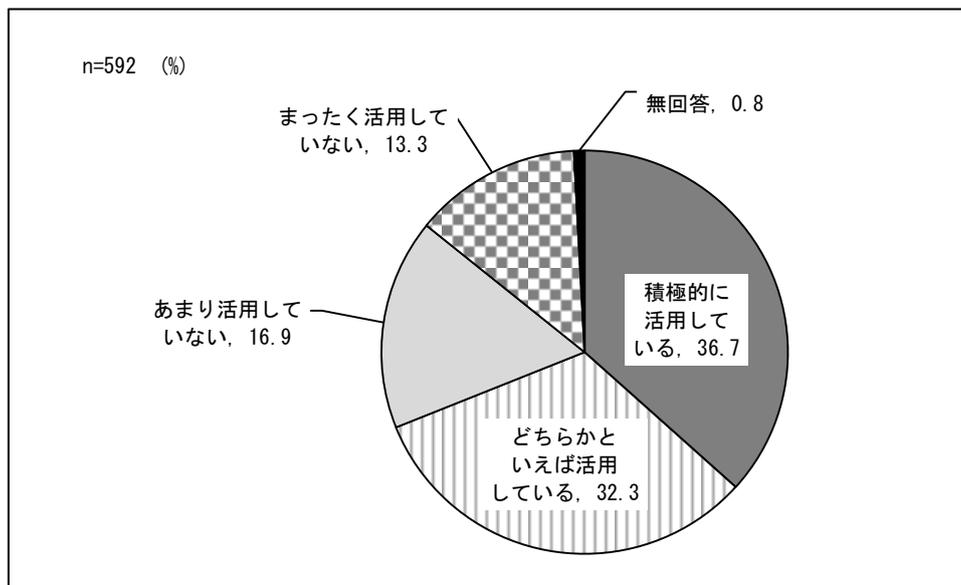
リサイクル倉庫などの資源回収の活用状況をたずねたところ、「積極的に活用している」(36.7%) が最も多く、次いで「どちらかといえば活用している」(32.3%) が続き、これらをあわせた“活用している”は 69.0%となっています。一方、“活用していない”（「あまり活用していない」(16.9%) と「まったく活用していない」(13.3%) の合計）は 30.2% となっています。

属性別で“活用している”率をみると、性別では、女性（69.0%）が男性（68.6%）をわずかに上回っています。

年齢では、30 歳代（75.8%）、60 歳代（74.3%）、70 歳代（72.1%）で 7 割を超え、特にこれらの世代での活用頻度の高さがうかがえる結果となっています。

また、居住地区で“活用している”率をみると、すべての地区で 6 割を超える高い比率となっていますが、特に源地区（81.8%）、東金地区（日吉台・八坂台）（80.9%）では 8 割を超える結果となっています。[図表 33・34 参照]

図表 33 資源回収を活用しているか（全体）



図表 34 資源回収を活用しているか（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	積極的に活用している	どちらかといえば活用している	あまり活用していない	まったく活用していない	無回答
全体		592	36.7	32.3	16.9	13.3	0.8
性別	男性	264	34.1	34.5	17.8	13.3	0.4
	女性	187	45.5	23.5	15.0	15.0	1.1
年齢	20歳代	19	36.8	21.1	15.8	26.3	0.0
	30歳代	29	44.8	31.0	10.3	13.8	0.0
	40歳代	80	26.3	32.5	25.0	16.3	0.0
	50歳代	70	31.4	32.9	24.3	11.4	0.0
	60歳代	148	41.9	32.4	13.5	12.2	0.0
	70歳代	165	42.4	29.7	13.9	12.7	1.2
	80歳以上	75	25.3	38.7	18.7	13.3	4.0
職業	農林業	18	38.9	27.8	16.7	16.7	0.0
	自営業	49	24.5	36.7	24.5	12.2	2.0
	会社員・公務員	149	30.9	31.5	20.1	17.4	0.0
	会社・団体の役員	19	36.8	21.1	26.3	15.8	0.0
	パート・アルバイト	62	46.8	30.6	16.1	6.5	0.0
	家事専業	66	37.9	40.9	12.1	9.1	0.0
	無職	200	40.5	31.0	14.0	13.0	1.5
	その他	20	25.0	30.0	20.0	20.0	5.0
居住年数	5年未満	51	39.2	25.5	11.8	21.6	2.0
	5～10年未満	49	28.6	28.6	26.5	14.3	2.0
	10～20年未満	85	37.6	30.6	14.1	17.6	0.0
	20～30年未満	116	41.4	31.9	15.5	11.2	0.0
	30年以上	285	34.7	34.7	17.9	11.6	1.1
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	34.2	28.8	20.5	16.4	0.0
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	45.2	35.7	9.5	7.1	2.4
	嶺南地区	66	37.9	28.8	13.6	19.7	0.0
	城西地区	38	39.5	31.6	15.8	13.2	0.0
	田間地区	78	28.2	34.6	24.4	11.5	1.3
	公平地区	57	33.3	29.8	19.3	17.5	0.0
	豊成地区	56	39.3	30.4	19.6	10.7	0.0
	正気地区	65	29.2	36.9	24.6	9.2	0.0
	福岡地区	22	22.7	45.5	13.6	18.2	0.0
	大和地区	49	49.0	30.6	6.1	12.2	2.0
	丘山地区	30	43.3	30.0	6.7	13.3	6.7
源地区	11	54.5	27.3	9.1	9.1	0.0	
家族構成	一人暮らし	116	26.7	33.6	15.5	23.3	0.9
	夫婦二人	161	42.9	31.1	13.0	11.8	1.2
	夫婦と子ども	161	35.4	32.9	18.6	12.4	0.6
	三世代（親・子・孫）	63	42.9	28.6	19.0	7.9	1.6
	その他	83	36.1	33.7	21.7	8.4	0.0
住まいの形態	持家（一戸建）	477	39.0	32.7	16.6	10.7	1.0
	持家（マンション等集合住宅）	11	36.4	9.1	27.3	27.3	0.0
	賃貸（一戸建）	21	19.0	19.0	23.8	38.1	0.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	30.4	37.5	17.9	14.3	0.0
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	0.0	44.4	11.1	44.4	0.0
	その他	13	23.1	23.1	15.4	38.5	0.0

(13) 地域住民が市と協力してできること

問 19 地域振興のため、市が施設や資機材の提供、あるいは財政的支援をすることによって地域住民が市と協力してできること（協働）はありますか。【複数回答】

- 「子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り」が第1位。次いで「公園の草刈りやごみ拾いなどの管理」、「高齢・障がい者の訪問・安否確認」の順。

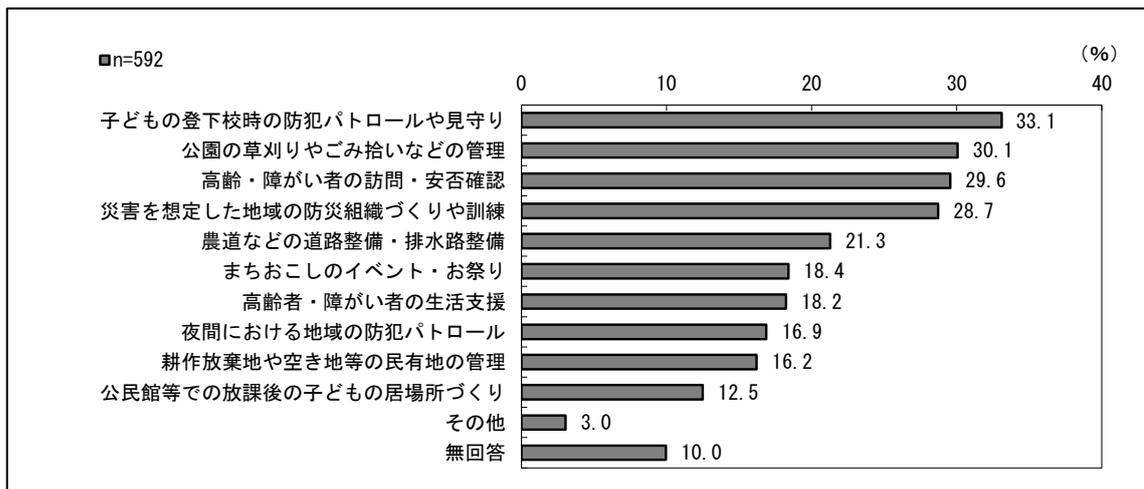
地域住民が市と協力してできることについては、「子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り」(33.1%)が最も多く、次いで「公園の草刈りやごみ拾いなどの管理」(30.1%)が続き、以下、「高齢・障がい者の訪問・安否確認」(29.6%)、「災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練」(28.7%)、「農道などの道路整備・排水路整備」(21.3%)、「まちおこしのイベント・お祭り」(18.4%)、「高齢者・障がい者の生活支援」(18.2%)などの順となっています。

これを属性別でみると、性別では、上位3項目は全体と概ね同様の傾向がみられますが、女性では「災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練」(29.4%)が第3位にあげられています。

年齢では、20歳代・30歳代・40歳代の若年層で「子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り」(52.6%・72.4%・38.8%)、50歳代・60歳代で「災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練」(34.3%・36.5%)、70歳代・80歳以上の高齢層で「高齢・障がい者の訪問・安否確認」(30.9%・33.3%、70歳代では「公園の草刈りやごみ拾いなどの管理」と同率第1位)が第1位にあげられ、世代間による違いがみられます。

また、居住地区では、ほとんどの地区で全体の上位3項目のいずれかが第1位にあげられています。源地区では「災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練」(45.5%)、「高齢者・障がい者の生活支援」(45.5%)、「耕作放棄地や空き地等の民有地の管理」(45.5%)が同率でそれぞれ第1位にあげられているのが特徴的です。[図表 35・36 参照]

図表 35 地域住民が市と協力してできること（全体／複数回答）



図表 36 地域住民が市と協力してできること（全体、属性別—上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 33.1	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 30.1	高齢・障がい者の訪問・安否確認 29.6
性別	男性	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 33.7	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 29.9	高齢・障がい者の訪問・安否確認 28.4
	女性	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 36.4	高齢・障がい者の訪問・安否確認 34.2	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 29.4
年齢	20歳代	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 52.6	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理/まちおこしのイベント・お祭り 36.8	
	30歳代	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 72.4	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理/まちおこしのイベント・お祭り 44.8	
	40歳代	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 38.8	夜間における地域の防犯パトロール 32.5	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 26.3
	50歳代	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 34.3	高齢・障がい者の訪問・安否確認 32.9	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 25.7
	60歳代	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 36.5	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り/高齢・障がい者の訪問・安否確認 33.8	
	70歳代	高齢・障がい者の訪問・安否確認/公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 30.9	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 29.7	
	80歳以上	高齢・障がい者の訪問・安否確認 33.3	農道などの道路整備・排水路整備 26.7	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 25.3
	職業	農林業	農道などの道路整備・排水路整備 72.2	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 50.0
	自営業	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 32.7	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 26.5	夜間における地域の防犯パトロール/高齢・障がい者の訪問・安否確認 24.5
	会社員・公務員	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 39.6	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 32.9	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 27.5
	会社・団体の役員	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 63.2	まちおこしのイベント・お祭り 31.6	高齢・障がい者の訪問・安否確認 26.3
	パート・アルバイト	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 38.7	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 35.5	高齢・障がい者の訪問・安否確認 32.3
	家事専業	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 39.4	高齢・障がい者の訪問・安否確認 36.4	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 27.3
	無職	高齢・障がい者の訪問・安否確認 34.0	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 31.0	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 29.5
	その他	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 45.0	高齢・障がい者の訪問・安否確認/高齢者・障がい者の生活支援 35.0	

		第1位	第2位	第3位
居住年数	5年未満	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 45.1	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 37.3	耕作放棄地や空き地等の民有地の管理 21.6
	5～10年未満	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 34.7	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 32.7	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 30.6
	10～20年未満	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練/子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 31.8	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 28.2	
	20～30年未満	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 33.6	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 31.9	高齢・障がい者の訪問・安否確認 31.0
	30年以上	高齢・障がい者の訪問・安否確認 34.0	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 31.2	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 30.9
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 35.6	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 28.8	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 27.4
	東金地区（日吉台・八坂台）	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 33.3	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 31.0	高齢者・障がい者の生活支援 28.6
	嶺南地区	高齢・障がい者の訪問・安否確認 31.8	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 30.3	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 28.8
	城西地区	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 42.1	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 34.2	高齢・障がい者の訪問・安否確認 31.6
	田間地区	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 37.2	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 33.3	まちおこしのイベント・お祭り 26.9
	公平地区	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 35.1	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理/農道などの道路整備・排水路整備 31.6	
	豊成地区	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 39.3	高齢・障がい者の訪問・安否確認 37.5	農道などの道路整備・排水路整備 35.7
	正気地区	高齢・障がい者の訪問・安否確認 32.3	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練/農道などの道路整備・排水路整備 27.7	
	福岡地区	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り/高齢・障がい者の訪問・安否確認 50.0	高齢者・障がい者の生活支援 36.4	
	大和地区	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 34.7	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 32.7	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 30.6
	丘山地区	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 40.0	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練/高齢・障がい者の訪問・安否確認 36.7	
	源地区	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練/高齢者・障がい者の生活支援/耕作放棄地や空き地等の民有地の管理 45.5		

		第1位	第2位	第3位
家族構成	一人暮らし	高齢・障がい者の訪問・安否確認 31.0	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 27.6	高齢者・障がい者の生活支援 23.3
	夫婦二人	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 32.3	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練/子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 30.4	
	夫婦と子ども	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 38.5	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 34.2	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 28.0
	三世代（親・子・孫）	高齢・障がい者の訪問・安否確認 38.1	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 36.5	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 33.3
	その他	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 39.8	高齢・障がい者の訪問・安否確認 30.1	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練 28.9
住まいの形態	持家（一戸建）	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 34.0	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練/高齢・障がい者の訪問・安否確認 31.2	
	持家（マンション等集合住宅）	高齢・障がい者の訪問・安否確認/公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 36.4	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練/子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り/まちおこしのイベント・お祭り 27.3	
	賃貸（一戸建）	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 42.9	災害を想定した地域の防災組織づくりや訓練/子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 28.6	
	賃貸（マンション等集合住宅）	公園の草刈りやごみ拾いなどの管理 39.3	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り 28.6	まちおこしのイベント・お祭り 26.8
	社宅・官舎、親の住まいに同居	高齢・障がい者の訪問・安否確認/高齢者・障がい者の生活支援 44.4	子どもの登下校時の防犯パトロールや見守り/耕作放棄地や空き地等の民有地の管理/まちおこしのイベント・お祭り 33.3	
	その他	高齢・障がい者の訪問・安否確認/高齢者・障がい者の生活支援/まちおこしのイベント・お祭り 30.8		

3 子育てについて

(1) 行政に実施してほしい子育て支援事業

問 20 行政に実施してほしい子育て支援事業は何ですか。【複数回答】

- 「子育てと仕事が両立できる職場づくり」が第1位。次いで「子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり」、「子ども医療費の負担軽減」の順。

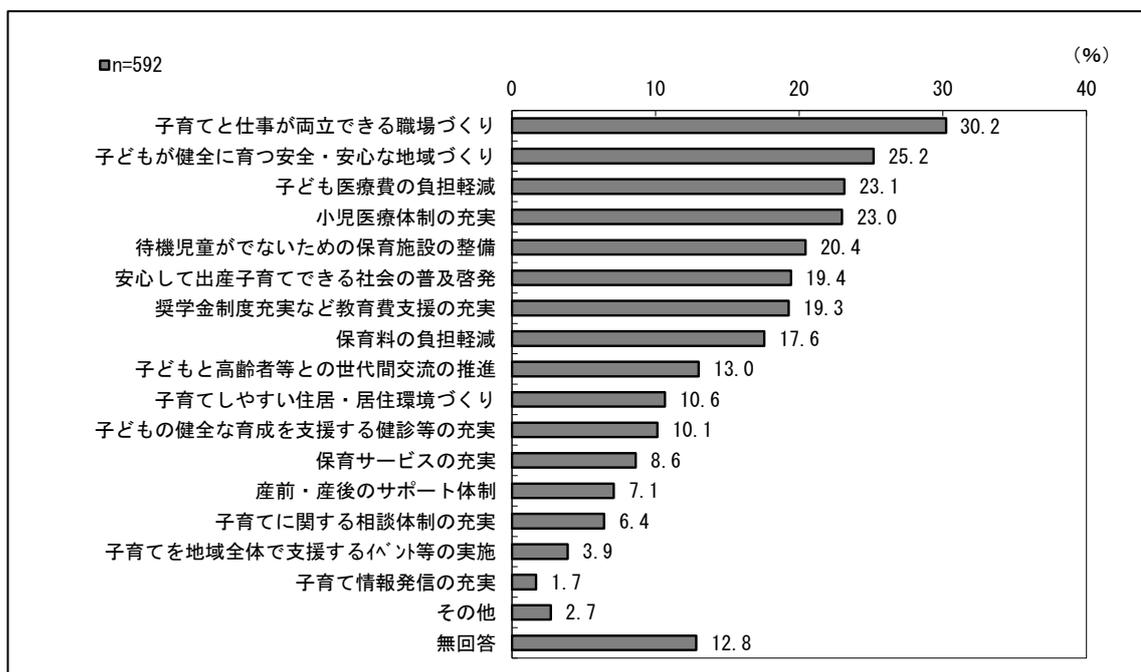
行政に実施してほしい子育て支援事業については、「子育てと仕事が両立できる職場づくり」(30.2%)が最も多く、次いで「子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり」(25.2%)が続き、以下、「子ども医療費の負担軽減」(23.1%)、「小児医療体制の充実」(23.0%)、「待機児童がでないための保育施設の整備」(20.4%)、「安心して出産子育てできる社会の普及啓発」(19.4%)、「奨学金制度充実など教育費支援の充実」(19.3%)、「保育料の負担軽減」(17.6%)、「子どもと高齢者等との世代間交流の推進」(13.0%)、「子育てしやすい住居・居住環境づくり」(10.6%)、「子どもの健全な育成を支援する健診等の充実」(10.1%)、「保育サービスの充実」(8.6%)などの順となっています。

これを属性別でみると、性別では、上位3項目は全体と同様の傾向がみられます。

年齢では、ほとんどの世代で全体の上位3項目のいずれかが第1位にあげられています。40歳代では「奨学金制度充実など教育費支援の充実」(43.8%)が第1位にあげられ、他の世代との違いがみられます。

また、居住地区でも、ほとんどの地区で全体の上位3項目のいずれかが第1位にあげられています。嶺南地区では「小児医療体制の充実」(31.8%)が第1位にあげられています。[図表 37・38 参照]

図表 37 行政に実施してほしい子育て支援事業（全体／複数回答）



図表 38 (全体、属性別—上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		子育てと仕事が両立できる職場づくり 30.2	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 25.2	子ども医療費の負担軽減 23.1
性別	男性	子育てと仕事が両立できる職場づくり 28.0	子ども医療費の負担軽減 26.1	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 24.6
	女性	子育てと仕事が両立できる職場づくり 34.8	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 26.2	子ども医療費の負担軽減 24.6
年齢	20歳代	子ども医療費の負担軽減 68.4	保育料の負担軽減 42.1	子育てと仕事が両立できる職場づくり 36.8
	30歳代	子育てと仕事が両立できる職場づくり 58.6	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 37.9	子ども医療費の負担軽減/待機児童がでないための保育施設の整備 31.0
	40歳代	奨学金制度充実など教育費支援の充実 43.8	子ども医療費の負担軽減 31.3	小児医療体制の充実/子育てと仕事が両立できる職場づくり 28.8
	50歳代	子育てと仕事が両立できる職場づくり 34.3	小児医療体制の充実/子ども医療費の負担軽減 25.7	
	60歳代	子育てと仕事が両立できる職場づくり 34.5	小児医療体制の充実 29.1	待機児童がでないための保育施設の整備 25.7
	70歳代	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 29.7	安心して出産子育てできる社会の普及啓発 27.3	子育てと仕事が両立できる職場づくり 21.8
	80歳以上	子育てと仕事が両立できる職場づくり 28.0	子どもと高齢者等との世代間交流の推進 25.3	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 20.0
	職業	農林業	保育料の負担軽減 38.9	子育てと仕事が両立できる職場づくり/子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 27.8
自営業		小児医療体制の充実 32.7	奨学金制度充実など教育費支援の充実/子育てと仕事が両立できる職場づくり/子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 28.6	
会社員・公務員		子育てと仕事が両立できる職場づくり 38.3	子ども医療費の負担軽減 34.2	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 25.5
会社・団体の役員		子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり/安心して出産子育てできる社会の普及啓発 31.6	小児医療体制の充実 26.3	
パート・アルバイト		子育てと仕事が両立できる職場づくり 33.9	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 29.0	子ども医療費の負担軽減/奨学金制度充実など教育費支援の充実/安心して出産子育てできる社会の普及啓発 25.8
家事専業		小児医療体制の充実 31.8	待機児童がでないための保育施設の整備 27.3	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 25.8
無職		子育てと仕事が両立できる職場づくり 28.0	安心して出産子育てできる社会の普及啓発 25.5	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 23.0
その他		奨学金制度充実など教育費支援の充実/子育てと仕事が両立できる職場づくり 35.0	子ども医療費の負担軽減 30.0	

		第1位	第2位	第3位
居住年数	5年未満	子育てと仕事が両立できる職場づくり 43.1	待機児童がでないための保育施設の整備 31.4	子ども医療費の負担軽減 27.5
	5～10年未満	小児医療体制の充実/子育てと仕事が両立できる職場づくり 28.6		子ども医療費の負担軽減 24.5
	10～20年未満	子ども医療費の負担軽減 29.4	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 28.2	子育てと仕事が両立できる職場づくり 24.7
	20～30年未満	子ども医療費の負担軽減 31.0	子育てと仕事が両立できる職場づくり 28.4	小児医療体制の充実 25.9
	30年以上	子育てと仕事が両立できる職場づくり 31.2	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 25.6	小児医療体制の充実 23.2
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	子育てと仕事が両立できる職場づくり/子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 21.9		子ども医療費の負担軽減 17.8
	東金地区（日吉台・八坂台）	子育てと仕事が両立できる職場づくり 33.3	小児医療体制の充実 26.2	子ども医療費の負担軽減/奨学金制度充実など教育費支援の充実/子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 23.8
	嶺南地区	小児医療体制の充実 31.8	子育てと仕事が両立できる職場づくり 30.3	安心して出産子育てできる社会の普及啓発 27.3
	城西地区	子育てと仕事が両立できる職場づくり 44.7	子ども医療費の負担軽減 28.9	小児医療体制の充実/奨学金制度充実など教育費支援の充実 26.3
	田間地区	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 29.5	子育てと仕事が両立できる職場づくり 28.2	子ども医療費の負担軽減 24.4
	公平地区	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 33.3	小児医療体制の充実/子育てと仕事が両立できる職場づくり 26.3	
	豊成地区	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 33.9	子育てと仕事が両立できる職場づくり 32.1	保育料の負担軽減 26.8
	正気地区	子育てと仕事が両立できる職場づくり 38.5	待機児童がでないための保育施設の整備 24.6	小児医療体制の充実 23.1
	福岡地区	子ども医療費の負担軽減 45.5	小児医療体制の充実 40.9	子育てと仕事が両立できる職場づくり 31.8
	大和地区	子育てと仕事が両立できる職場づくり 28.6	小児医療体制の充実/子ども医療費の負担軽減 24.5	
	丘山地区	子育てと仕事が両立できる職場づくり 30.0	待機児童がでないための保育施設の整備 26.7	子育てしやすい住居・居住環境づくり/子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 23.3
	源地区	子ども医療費の負担軽減 45.5	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり/安心して出産子育てできる社会の普及啓発 36.4	

		第1位	第2位	第3位
家族構成	一人暮らし	子育てと仕事が両立できる職場づくり 28.4	子ども医療費の負担軽減 24.1	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 19.8
	夫婦二人	子育てと仕事が両立できる職場づくり 31.1	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 24.2	待機児童がでないための保育施設の整備 23.6
	夫婦と子ども	小児医療体制の充実 30.4	子育てと仕事が両立できる職場づくり 29.8	子ども医療費の負担軽減 26.7
	三世代（親・子・孫）	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 30.2	子育てと仕事が両立できる職場づくり 27.0	小児医療体制の充実/保育料の負担軽減 25.4
	その他	子育てと仕事が両立できる職場づくり 36.1	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 31.3	安心して出産子育てできる社会の普及啓発 26.5
	住まいの形態	持家（一戸建）	子育てと仕事が両立できる職場づくり 29.1	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 25.6
持家（マンション等集合住宅）		子育てと仕事が両立できる職場づくり 63.6	子ども医療費の負担軽減 36.4	小児医療体制の充実/子育てしやすい住居・居住環境づくり 27.3
賃貸（一戸建）		子ども医療費の負担軽減 42.9	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 28.6	小児医療体制の充実/奨学金制度充実など教育費支援の充実/子育てと仕事が両立できる職場づくり 23.8
賃貸（マンション等集合住宅）		子育てと仕事が両立できる職場づくり 39.3	子どもが健全に育つ安全・安心な地域づくり 25.0	子ども医療費の負担軽減/待機児童がでないための保育施設の整備/産前・産後のサポート体制 19.6
社宅・官舎、親の住まいに同居		小児医療体制の充実/保育料の負担軽減/奨学金制度充実など教育費支援の充実 44.4		
その他		子ども医療費の負担軽減 38.5	子育てと仕事が両立できる職場づくり 30.8	子どもと高齢者等との世代間交流の推進/安心して出産子育てできる社会の普及啓発 23.1

4 東金市のにぎわいについて

(1) 若者を中心とした市の活気について

問 21 東金市は数多くの教育機関が存在するまちですが、学生などの若者を中心とした市の活気について、どのように感じていますか。

- “活気がある” が 26.2%、“活気がない” が 67.4%。

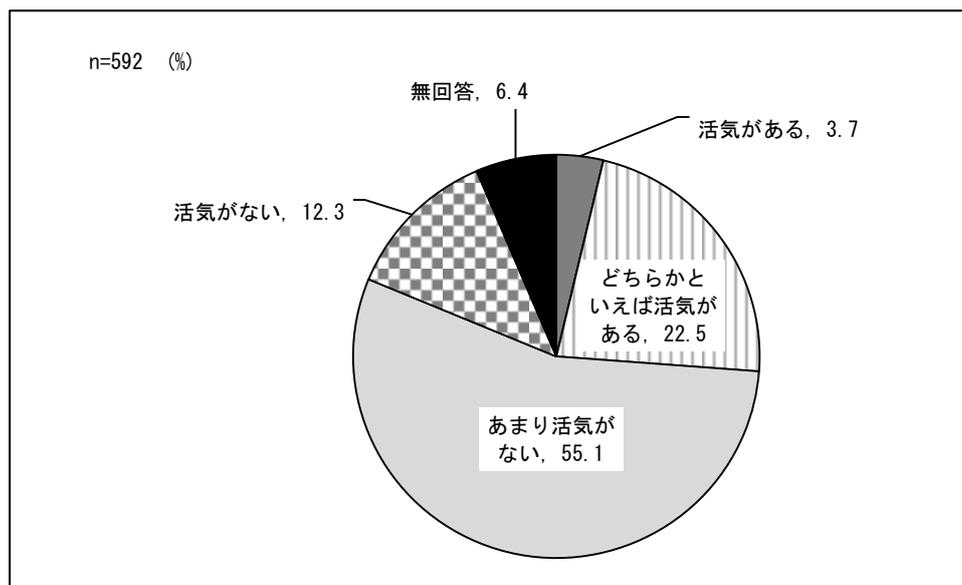
学生などの若者を中心とした市の活気についてたずねたところ、“活気がある”（「どちらかといえば活気がある」(22.5%)と「活気がある」(3.7%)の合計)と答えた人は26.2%でした。これに対し、“活気がない”（「あまり活気がない」(55.1%)と「活気がない」(12.3%)の合計)は67.4%と7割近くに達しています。

属性別で“活気がある”率をみると、性別では、男性(30.0%)が女性(26.2%)を約4ポイント上回っています。

年齢では、当事者である20歳代(47.4%)、それらの年代に近い30歳代(41.3%)で4割を超える一方、50歳代以上の高齢層では低く、特に60歳代(19.6%)、50歳代(17.2%)では2割にも満たない結果となっています。

また、居住地区で“活気がある”率をみると、福岡地区(40.9%)、豊成地区(35.7%)、正気地区(35.4%)で3割を超える一方、嶺南地区(19.7%)、東金地区(日吉台・八坂台)(19.0%)では2割に届かず、源地区(9.1%)では1割にも満たない結果となっています。[図表 39・40 参照]

図表 39 若者を中心とした市の活気について（全体）



図表 40 若者を中心とした市の活気について（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	活気がある	どちらかといえば活気がある	あまり活気がない	活気がない	無回答
全体		592	3.7	22.5	55.1	12.3	6.4
性別	男性	264	4.2	25.8	53.8	12.9	3.4
	女性	187	3.7	22.5	56.1	10.2	7.5
年齢	20歳代	19	15.8	31.6	42.1	10.5	0.0
	30歳代	29	3.4	37.9	51.7	6.9	0.0
	40歳代	80	5.0	31.3	45.0	13.8	5.0
	50歳代	70	2.9	14.3	64.3	17.1	1.4
	60歳代	148	1.4	18.2	63.5	12.8	4.1
	70歳代	165	4.2	22.4	53.9	12.1	7.3
	80歳以上	75	4.0	22.7	48.0	8.0	17.3
職業	農林業	18	11.1	16.7	61.1	5.6	5.6
	自営業	49	6.1	22.4	51.0	14.3	6.1
	会社員・公務員	149	3.4	25.5	57.0	11.4	2.7
	会社・団体の役員	19	5.3	15.8	63.2	15.8	0.0
	パート・アルバイト	62	1.6	25.8	53.2	14.5	4.8
	家事専業	66	3.0	19.7	63.6	7.6	6.1
	無職	200	3.5	22.5	51.0	14.0	9.0
	その他	20	5.0	15.0	60.0	10.0	10.0
居住年数	5年未満	51	3.9	21.6	51.0	15.7	7.8
	5～10年未満	49	6.1	30.6	42.9	16.3	4.1
	10～20年未満	85	4.7	25.9	51.8	10.6	7.1
	20～30年未満	116	1.7	19.0	63.8	10.3	5.2
	30年以上	285	3.9	22.1	55.8	12.3	6.0
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	5.5	15.1	50.7	20.5	8.2
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	0.0	19.0	54.8	21.4	4.8
	嶺南地区	66	1.5	18.2	54.5	22.7	3.0
	城西地区	38	5.3	23.7	63.2	7.9	0.0
	田間地区	78	1.3	26.9	64.1	5.1	2.6
	公平地区	57	1.8	28.1	52.6	5.3	12.3
	豊成地区	56	10.7	25.0	51.8	7.1	5.4
	正気地区	65	4.6	30.8	47.7	10.8	6.2
	福岡地区	22	18.2	22.7	40.9	13.6	4.5
	大和地区	49	0.0	20.4	55.1	12.2	12.2
	丘山地区	30	0.0	20.0	63.3	10.0	6.7
源地区	11	0.0	9.1	81.8	0.0	9.1	
家族構成	一人暮らし	116	0.9	19.8	53.4	13.8	12.1
	夫婦二人	161	4.3	21.1	57.8	9.9	6.8
	夫婦と子ども	161	2.5	24.8	57.1	13.0	2.5
	三世代（親・子・孫）	63	9.5	28.6	49.2	9.5	3.2
	その他	83	4.8	20.5	54.2	14.5	6.0
住まいの形態	持家（一戸建）	477	4.4	21.8	55.6	11.5	6.7
	持家（マンション等集合住宅）	11	0.0	18.2	72.7	9.1	0.0
	賃貸（一戸建）	21	0.0	19.0	52.4	28.6	0.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	1.8	32.1	53.6	7.1	5.4
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	0.0	33.3	22.2	44.4	0.0
	その他	13	0.0	15.4	61.5	15.4	7.7

(2) 観光やイベントのPRについて

問 22 東金市の観光やイベントのPRについて、どのように感じていますか。

- “盛んである”が16.9%、“盛んではない”が77.9%。

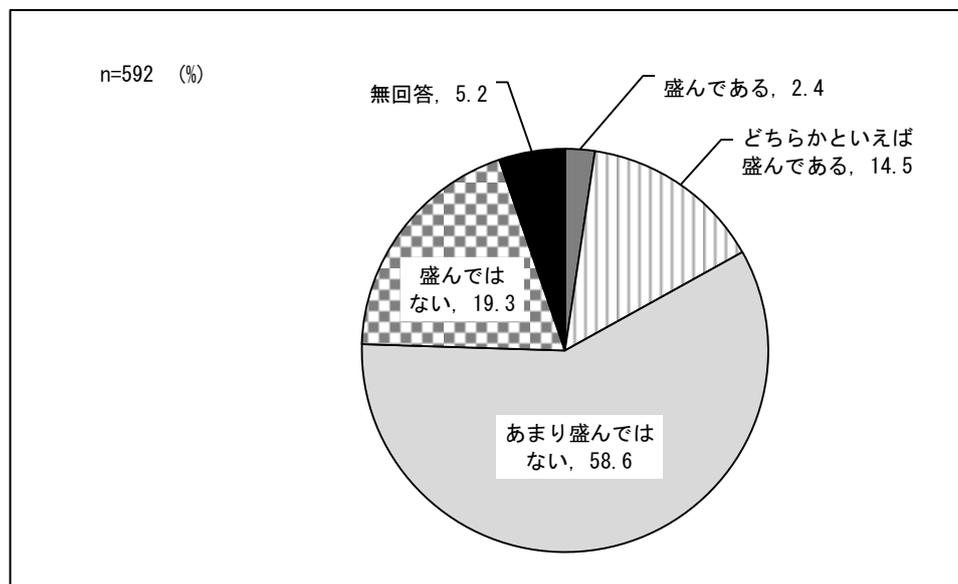
市の観光やイベントのPRについてたずねたところ、“盛んである”（「どちらかといえば盛んである」(14.5%)と「盛んである」(2.4%)の合計）と答えた人は16.9%でした。これに対し、“盛んではない”（「あまり盛んではない」(58.6%)と「盛んではない」(19.3%)の合計）は77.9%と8割弱を占めています。

属性別で“盛んである”率をみると、性別では、女性（18.7%）が男性（16.3%）を約2ポイント上回っています。

年齢では、20歳代（31.6%）、80歳以上（21.3%）で2割を超えています。

また、居住地区で“盛んである”率をみると、豊成地区（26.8%）、丘山地区（20.0%）で2割を超えています。[図表41・42参照]

図表41 観光やイベントのPRについて（全体）



図表 42 観光やイベントのPRについて（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	盛んである	どちらかといえ ば盛んである	あまり盛んではない	盛んではない	無回答
全体		592	2.4	14.5	58.6	19.3	5.2
性別	男性	264	2.7	13.6	59.5	20.5	3.8
	女性	187	2.1	16.6	58.8	17.1	5.3
年齢	20歳代	19	5.3	26.3	42.1	26.3	0.0
	30歳代	29	0.0	13.8	51.7	34.5	0.0
	40歳代	80	3.8	15.0	53.8	21.3	6.3
	50歳代	70	2.9	7.1	61.4	27.1	1.4
	60歳代	148	2.0	12.8	62.2	20.9	2.0
	70歳代	165	1.2	17.0	59.4	16.4	6.1
	80歳以上	75	4.0	17.3	58.7	6.7	13.3
職業	農林業	18	11.1	22.2	50.0	16.7	0.0
	自営業	49	4.1	20.4	53.1	20.4	2.0
	会社員・公務員	149	2.7	12.1	55.7	27.5	2.0
	会社・団体の役員	19	0.0	21.1	73.7	5.3	0.0
	パート・アルバイト	62	1.6	11.3	56.5	25.8	4.8
	家事専業	66	0.0	19.7	69.7	7.6	3.0
	無職	200	2.5	14.5	57.5	17.5	8.0
	その他	20	0.0	5.0	70.0	10.0	15.0
居住年数	5年未満	51	3.9	13.7	43.1	33.3	5.9
	5～10年未満	49	4.1	16.3	57.1	16.3	6.1
	10～20年未満	85	0.0	15.3	61.2	18.8	4.7
	20～30年未満	116	2.6	9.5	63.8	17.2	6.9
	30年以上	285	2.5	16.5	58.9	18.6	3.5
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	0.0	16.4	56.2	21.9	5.5
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	2.4	11.9	57.1	23.8	4.8
	嶺南地区	66	0.0	15.2	47.0	36.4	1.5
	城西地区	38	2.6	13.2	68.4	10.5	5.3
	田間地区	78	3.8	15.4	60.3	19.2	1.3
	公平地区	57	0.0	15.8	59.6	14.0	10.5
	豊成地区	56	5.4	21.4	55.4	12.5	5.4
	正気地区	65	3.1	12.3	64.6	13.8	6.2
	福岡地区	22	9.1	9.1	72.7	9.1	0.0
	大和地区	49	2.0	8.2	55.1	24.5	10.2
	丘山地区 源地区	30 11	3.3 0.0	16.7 18.2	60.0 63.6	20.0 9.1	0.0 9.1
家族構成	一人暮らし	116	1.7	14.7	58.6	17.2	7.8
	夫婦二人	161	2.5	12.4	59.0	19.3	6.8
	夫婦と子ども	161	1.2	14.9	57.8	24.2	1.9
	三世代（親・子・孫）	63	6.3	17.5	63.5	9.5	3.2
	その他	83	2.4	15.7	56.6	20.5	4.8
住まいの形態	持家（一戸建）	477	2.5	13.6	60.4	18.4	5.0
	持家（マンション等集合住宅）	11	0.0	18.2	63.6	18.2	0.0
	賃貸（一戸建）	21	0.0	19.0	42.9	33.3	4.8
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	3.6	23.2	50.0	17.9	5.4
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	0.0	0.0	55.6	44.4	0.0
	その他	13	0.0	15.4	53.8	23.1	7.7

(3) 開催イベントで知っているもの

問 23 東金市で開催されているイベントについて、知っているものはありますか。

- 「ある」が66.2%、「ない」が28.4%。

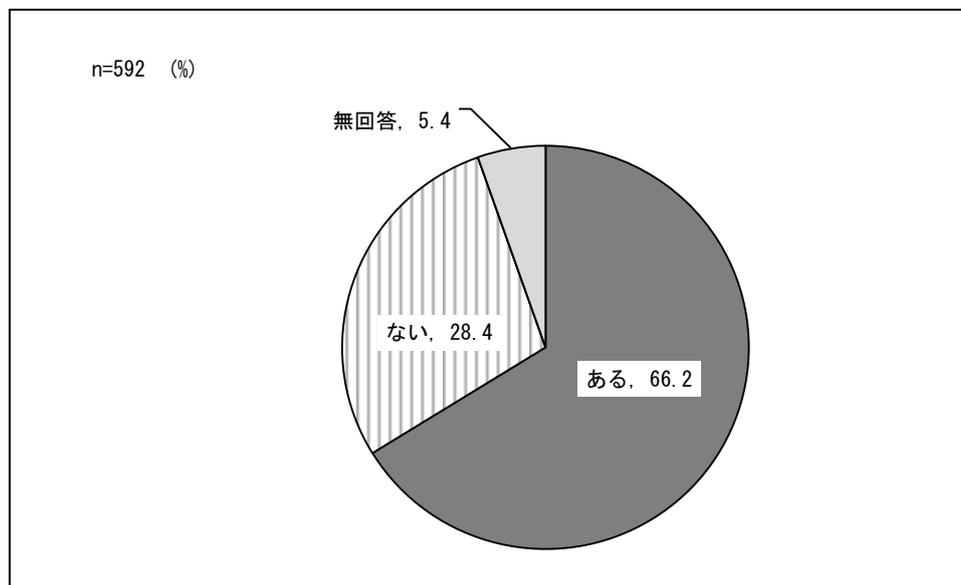
市で開催されるイベントで知っているものがあるかたずねたところ、「ある」と答えた人が66.2%、「ない」と答えた人が28.4%となっています。

属性別で「ある」率をみると、性別では、男性（68.9%）が女性（64.7%）を約4ポイント上回っています。

年齢では、60歳代（70.9%）、40歳代（70.0%）で7割を超えるほか、50歳代（68.6%）、70歳代（67.9%）で6割を超えており、40歳代～60歳代での認知度が高いことがうかがえます。

また、居住地区で「ある」率をみると、城西地区（86.8%）で8割、豊成地区（73.2%）で7割を超えるほか、ほとんどの地区で6割を超える高い比率となっています。これに対し、嶺南地区（57.6%）、源地区（36.4%）では他の地区に比べ、低い結果となっています。[図表 43・44 参照]

図表 43 開催イベントで知っているもの（全体）



図表 44 開催イベントで知っているもの（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	ある	ない	無回答
全体		592	66.2	28.4	5.4
性別	男性	264	68.9	27.3	3.8
	女性	187	64.7	29.4	5.9
年齢	20歳代	19	52.6	42.1	5.3
	30歳代	29	58.6	41.4	0.0
	40歳代	80	70.0	26.3	3.8
	50歳代	70	68.6	30.0	1.4
	60歳代	148	70.9	27.0	2.0
	70歳代	165	67.9	24.8	7.3
	80歳以上	75	54.7	32.0	13.3
職業	農林業	18	66.7	27.8	5.6
	自営業	49	75.5	22.4	2.0
	会社員・公務員	149	63.8	32.2	4.0
	会社・団体の役員	19	78.9	21.1	0.0
	パート・アルバイト	62	64.5	32.3	3.2
	家事専業	66	71.2	24.2	4.5
	無職	200	64.5	29.0	6.5
	その他	20	60.0	25.0	15.0
居住年数	5年未満	51	43.1	51.0	5.9
	5～10年未満	49	63.3	34.7	2.0
	10～20年未満	85	67.1	25.9	7.1
	20～30年未満	116	69.8	24.1	6.0
	30年以上	285	69.5	26.3	4.2
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	63.0	31.5	5.5
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	66.7	26.2	7.1
	嶺南地区	66	57.6	39.4	3.0
	城西地区	38	86.3	13.2	0.0
	田間地区	78	67.9	29.5	2.6
	公平地区	57	66.7	28.1	5.3
	豊成地区	56	73.2	21.4	5.4
	正気地区	65	63.1	27.7	9.2
	福岡地区	22	68.2	22.7	9.1
	大和地区	49	65.3	28.6	6.1
	丘山地区	30	66.7	30.0	3.3
源地区	11	36.4	54.5	9.1	
家族構成	一人暮らし	116	57.8	32.8	9.5
	夫婦二人	161	67.1	28.0	5.0
	夫婦と子ども	161	72.7	23.0	4.3
	三世代（親・子・孫）	63	66.7	30.2	3.2
	その他	83	65.1	32.5	2.4
住まいの形態	持家（一戸建）	477	69.4	25.8	4.8
	持家（マンション等集合住宅）	11	54.5	36.4	9.1
	賃貸（一戸建）	21	42.9	47.6	9.5
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	55.4	39.3	5.4
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	66.7	33.3	0.0
	その他	13	46.2	46.2	7.7

(4) イベントを知ったきっかけ

問 24 問 23 で「1. ある」とお答えの方におたずねします。そのイベントは、どのように知りましたか。

- 「広報とうがね」が 78.3%。

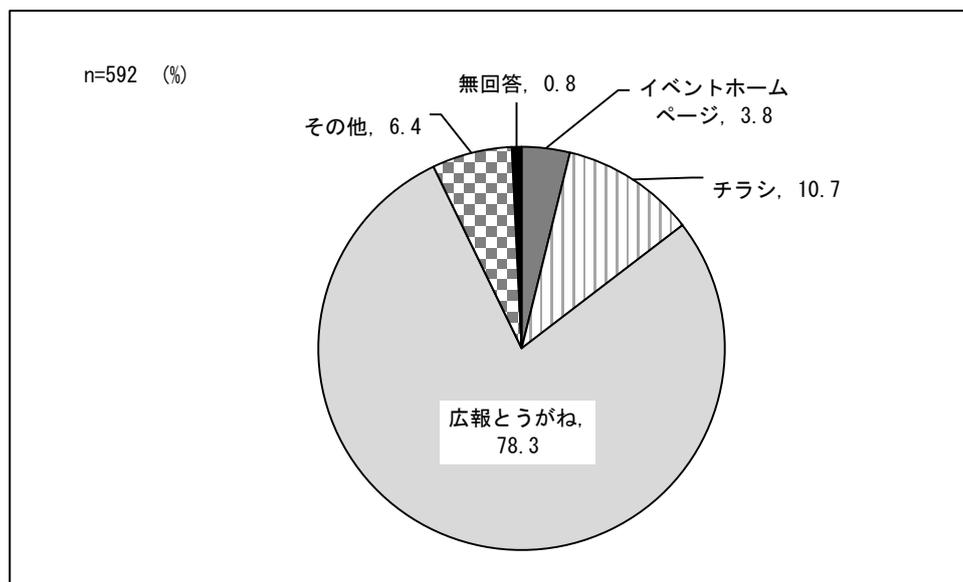
問 23 で「ある」と答えた 392 人（全体の 66.2%）に、イベントを知ったきっかけについてたずねたところ、「広報とうがね」（78.3%）が最も多く 8 割弱に達しています。次いで「チラシ」（10.7%）、「イベントホームページ」（3.8%）などの順となっています。

これを属性別でも、全体と同様、すべての層で「広報とうがね」が最も多く、性別では、男性（80.2%）が女性（74.4%）を約 6 ポイント上回っています。

年齢では、特に 80 歳以上（95.1%）、70 歳代（89.3%）で 9 割前後と高い比率を示しています。これに対し、20 歳代（40.0%）では他の世代に比べ、やや低くなっています。

また、居住地区では、豊成地区（87.8%）、東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）（87.0%）、福岡地区（86.7%）、嶺南地区・公平地区（同率 84.2%）、大和地区（81.3%）で 8 割を超えるほか、東金地区（日吉台・八坂台）・源地区（同率 75.0%）、城西地区（72.7%）で 7 割台、正気地区（68.3%）、田間地区（67.9%）、丘山地区（65.0%）で 6 割台となっています。[図表 45・46 参照]

図表 45 イベントを知ったきっかけ（全体）



図表 46 イベントを知ったきっかけ（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	イベント ホームペ ージ	チラシ	広報とう がね	その他	無回答
全体		392	3.8	10.7	78.3	6.4	0.8
性別	男性	182	2.7	10.4	80.2	6.0	0.5
	女性	121	3.3	13.2	74.4	8.3	0.8
年齢	20歳代	10	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0
	30歳代	17	0.0	17.6	70.6	11.8	0.0
	40歳代	56	5.4	19.6	60.7	12.5	1.8
	50歳代	48	12.5	12.5	66.7	8.3	0.0
	60歳代	105	3.8	11.4	79.0	4.8	1.0
	70歳代	112	0.0	5.4	89.3	4.5	0.9
	80歳以上	41	0.0	4.9	95.1	0.0	0.0
職業	農林業	12	0.0	8.3	91.7	0.0	0.0
	自営業	37	5.4	10.8	73.0	10.8	0.0
	会社員・公務員	95	8.4	14.7	67.4	9.5	0.0
	会社・団体の役員	15	0.0	13.3	73.3	6.7	6.7
	パート・アルバイト	40	5.0	10.0	80.0	5.0	0.0
	家事専業	47	0.0	10.6	85.1	2.1	2.1
	無職	129	2.3	7.8	83.7	5.4	0.8
	その他	12	0.0	16.7	75.0	8.3	0.0
居住年数	5年未満	22	18.2	27.3	36.4	18.2	0.0
	5～10年未満	31	12.9	22.6	51.6	12.9	0.0
	10～20年未満	57	5.3	14.0	71.9	8.8	0.0
	20～30年未満	81	0.0	4.9	87.7	6.2	1.2
	30年以上	198	2.0	8.6	84.8	3.5	1.0
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	46	2.2	4.3	87.0	6.5	0.0
	東金地区（日吉台・八坂台）	28	3.6	10.7	75.0	10.7	0.0
	嶺南地区	38	5.3	7.9	84.2	0.0	2.6
	城西地区	33	6.1	9.1	72.7	6.1	6.1
	田間地区	53	5.7	18.9	67.9	7.5	0.0
	公平地区	38	0.0	5.3	84.2	10.5	0.0
	豊成地区	41	0.0	7.3	87.8	4.9	0.0
	正気地区	41	9.8	12.2	68.3	9.8	0.0
	福岡地区	15	0.0	6.7	86.7	6.7	0.0
	大和地区	32	0.0	18.8	81.3	0.0	0.0
	丘山地区	20	10.0	15.0	65.0	10.0	0.0
源地区	4	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	
家族構成	一人暮らし	67	10.4	14.9	70.1	4.5	0.0
	夫婦二人	108	2.8	10.2	82.4	4.6	0.0
	夫婦と子ども	117	2.6	9.4	78.6	9.4	0.0
	三世代（親・子・孫）	42	2.4	7.1	81.0	4.8	4.8
	その他	54	1.9	13.0	75.9	7.4	1.9
住まいの形態	持家（一戸建）	331	2.4	8.2	83.1	5.4	0.9
	持家（マンション等集合住宅）	6	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0
	賃貸（一戸建）	9	22.2	11.1	44.4	22.2	0.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	31	16.1	35.5	35.5	12.9	0.0
	社宅・官舎、親の住まいに同居	6	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	その他	6	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

(5) 東金市の誇れるものや魅力について

問 26 東金市が誇れるものや市外に発信できる魅力は何だと思いますか。【複数回答】

- 「自然災害の少なさ」が第1位。次いで「豊かな自然」、「道の駅「みのりの郷東金」」の順。

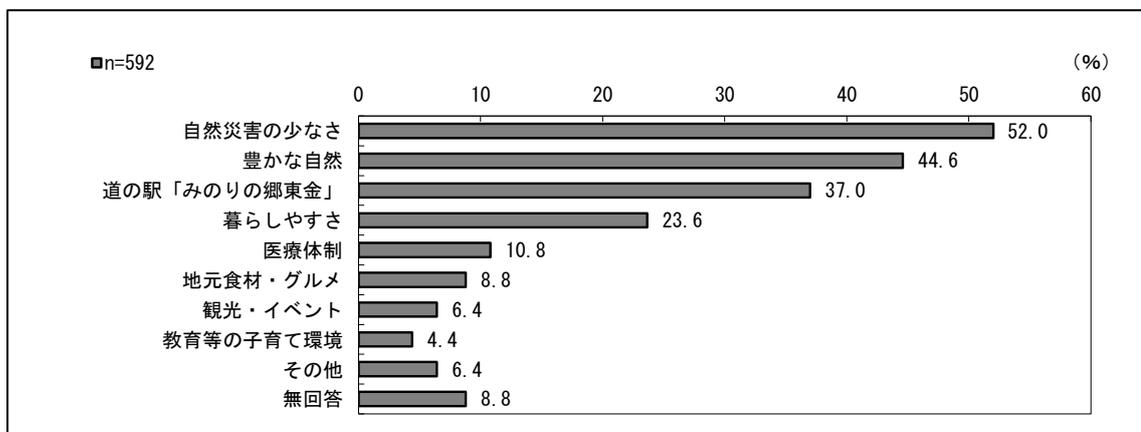
東金市の誇れるものや魅力については、「自然災害の少なさ」(52.0%)が最も多く、次いで「豊かな自然」(44.6%)が続き、以下、「道の駅「みのりの郷東金」」(37.0%)、「暮らしやすさ」(23.6%)、「医療体制」(10.8%)、「地元食材・グルメ」(8.8%)、「観光・イベント」(6.4%)、「教育等の子育て環境」(4.4%)などの順となっています。

これを属性別で見ると、性別では、上位3項目は全体と同様の傾向がみられます。

年齢、居住地区でも、ほとんどの層で上位3項目は全体と同様の傾向がみられますが、20歳代・東金地区(上宿・岩崎・新宿・谷)で「暮らしやすさ」(36.8%・28.8%)、源地区で「地元食材・グルメ」(18.2%)が上位3項目にあげられているのが特徴的です。

[図表 47・48 参照]

図表 47 東金市の誇れるものや魅力について (全体/複数回答)



図表 48 東金市の誇れるものや魅力について（全体、属性別—上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		自然災害の少なさ 52.0	豊かな自然 44.6	道の駅「みのりの郷東金」 37.0
性別	男性	自然災害の少なさ 53.4	豊かな自然 45.1	道の駅「みのりの郷東金」 35.2
	女性	自然災害の少なさ 52.9	豊かな自然 46.0	道の駅「みのりの郷東金」 39.6
年齢	20歳代	豊かな自然 42.1	暮らしやすさ 36.8	自然災害の少なさ/道の駅「みのりの郷東金」 26.3
	30歳代	豊かな自然/道の駅「みのりの郷東金」 41.4		自然災害の少なさ 31.0
	40歳代	自然災害の少なさ 38.8	豊かな自然 32.5	道の駅「みのりの郷東金」 31.3
	50歳代	自然災害の少なさ 45.7	道の駅「みのりの郷東金」 34.3	豊かな自然 32.9
	60歳代	豊かな自然/自然災害の少なさ 48.6		道の駅「みのりの郷東金」 36.5
	70歳代	自然災害の少なさ 69.1	豊かな自然 49.1	道の駅「みのりの郷東金」 44.2
	80歳以上	自然災害の少なさ 57.3	豊かな自然 52.0	道の駅「みのりの郷東金」 32.0
職業	農林業	自然災害の少なさ 72.2	豊かな自然 55.6	道の駅「みのりの郷東金」 38.9
	自営業	自然災害の少なさ 55.1	道の駅「みのりの郷東金」 42.9	豊かな自然 40.8
	会社員・公務員	自然災害の少なさ 40.9	豊かな自然 32.2	道の駅「みのりの郷東金」 31.5
	会社・団体の役員	自然災害の少なさ 47.4	豊かな自然 42.1	道の駅「みのりの郷東金」/暮らしやすさ 36.8
	パート・アルバイト	自然災害の少なさ 51.6	豊かな自然 50.0	道の駅「みのりの郷東金」 33.9
	家事専業	自然災害の少なさ 63.6	豊かな自然 45.5	道の駅「みのりの郷東金」 36.4
	無職	自然災害の少なさ 54.5	豊かな自然 53.5	道の駅「みのりの郷東金」 41.5
	その他	自然災害の少なさ 60.0	豊かな自然/道の駅「みのりの郷東金」 35.0	
居住年数	5年未満	豊かな自然 33.3	自然災害の少なさ/道の駅「みのりの郷東金」 29.4	
	5～10年未満	自然災害の少なさ 55.1	豊かな自然/暮らしやすさ 34.7	
	10～20年未満	自然災害の少なさ 50.6	豊かな自然 45.9	道の駅「みのりの郷東金」 36.5
	20～30年未満	自然災害の少なさ 49.1	豊かな自然 45.7	道の駅「みのりの郷東金」 33.6
	30年以上	自然災害の少なさ 57.5	豊かな自然 47.7	道の駅「みのりの郷東金」 40.7

		第1位	第2位	第3位
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	自然災害の少なさ 49.3	豊かな自然 37.0	暮らしやすさ 28.8
	東金地区（日吉台・八坂台）	豊かな自然 61.9	自然災害の少なさ 54.8	道の駅「みのりの郷東金」 33.3
	嶺南地区	自然災害の少なさ 56.1	道の駅「みのりの郷東金」 40.9	豊かな自然 37.9
	城西地区	豊かな自然/道の駅「みのりの郷東金」 44.7	自然災害の少なさ 39.5	豊かな自然 39.5
	田間地区	道の駅「みのりの郷東金」 44.9	自然災害の少なさ 43.6	豊かな自然 39.7
	公平地区	自然災害の少なさ 63.2	豊かな自然 54.4	道の駅「みのりの郷東金」 40.4
	豊成地区	自然災害の少なさ/道の駅「みのりの郷東金」 50.0	豊かな自然 46.4	豊かな自然 46.4
	正気地区	豊かな自然/自然災害の少なさ 52.3	道の駅「みのりの郷東金」 32.3	道の駅「みのりの郷東金」 32.3
	福岡地区	自然災害の少なさ 59.1	豊かな自然 40.9	道の駅「みのりの郷東金」 27.3
	大和地区	自然災害の少なさ 53.1	道の駅「みのりの郷東金」 32.7	豊かな自然/暮らしやすさ 28.6
	丘山地区	自然災害の少なさ 53.3	豊かな自然 46.7	道の駅「みのりの郷東金」 30.0
	源地区	豊かな自然/自然災害の少なさ 72.7	地元食材・グルメ 18.2	地元食材・グルメ 18.2
	家族構成	一人暮らし	自然災害の少なさ 48.3	豊かな自然 40.5
夫婦二人		自然災害の少なさ 55.9	豊かな自然 48.4	道の駅「みのりの郷東金」 41.6
夫婦と子ども		自然災害の少なさ 51.6	豊かな自然 39.8	道の駅「みのりの郷東金」 32.3
三世代（親・子・孫）		自然災害の少なさ 52.4	豊かな自然 39.7	道の駅「みのりの郷東金」 38.1
その他		豊かな自然 55.4	自然災害の少なさ 53.0	道の駅「みのりの郷東金」 34.9
住まいの形態		持家（一戸建）	自然災害の少なさ 54.5	豊かな自然 45.7
	持家（マンション等集合住宅）	自然災害の少なさ 54.5	豊かな自然 36.4	医療体制/道の駅「みのりの郷東金」 27.3
	賃貸（一戸建）	豊かな自然 52.4	自然災害の少なさ 38.1	暮らしやすさ 33.3
	賃貸（マンション等集合住宅）	自然災害の少なさ 39.3	豊かな自然 37.5	道の駅「みのりの郷東金」 32.1
	社宅・官舎、親の住まいに同居	自然災害の少なさ/道の駅「みのりの郷東金」 44.4	豊かな自然 33.3	豊かな自然 33.3
	その他	自然災害の少なさ/道の駅「みのりの郷東金」 46.2	豊かな自然 38.5	豊かな自然 38.5

5 近隣市町との連携について

(1) 近隣市町との連携について

問 27 東金市は、生活圏をともにする近隣市町と連携を進めることで、市民の皆さまの生活利便性を高めることを目指しています。この市の取り組みについて、どのように感じていますか。

- “進んでいる” が 15.6%、“進んでいない” が 74.0%。

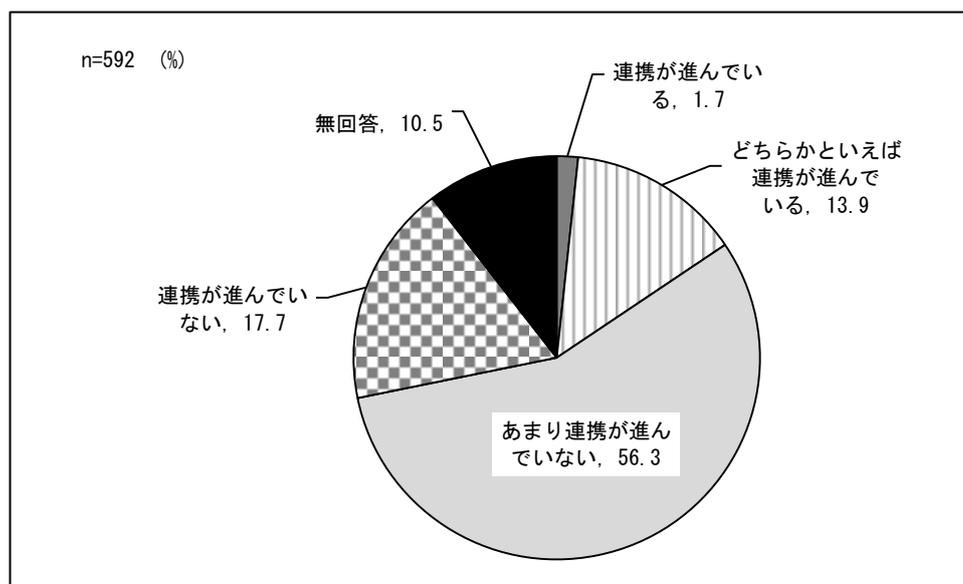
近隣市町との連携についてたずねたところ、“進んでいる”（「どちらかといえば連携が進んでいる」（13.9%）と「連携が進んでいる」（1.7%）の合計）と答えた人は 15.6%でした。これに対し、“進んでいない”（「あまり連携が進んでいない」（56.3%）と「連携が進んでいない」（17.7%）の合計）は 74.0%と 7 割を超えています。

属性別で“進んでいる”率をみると、性別では、女性（16.1%）と男性（15.9%）ではほぼ同率となっています。

年齢では、80 歳以上（21.3%）、20 歳代（21.1%）で 2 割を超える一方、50 歳代（8.6%）では 1 割に満たない結果となっています。

また、居住地区で“進んでいる”率をみると、福岡地区（31.8%）では最も高く 3 割を超え、これに対し、東金地区（日吉台・八坂台）（9.5%）で 1 割以下にとどまります。【図表 49・50 参照】

図表 49 近隣市町との連携について（全体）



図表 50 近隣市町との連携について（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	連携が進んでいる	どちらかといえば連携が進んでいる	あまり連携が進んでいない	連携が進んでいない	無回答
全体		592	1.7	13.9	56.3	17.7	10.5
性別	男性	264	1.5	14.4	56.4	18.2	9.5
	女性	187	2.7	13.4	55.6	17.6	10.7
年齢	20歳代	19	5.3	15.8	42.1	26.3	10.5
	30歳代	29	0.0	10.3	62.1	27.6	0.0
	40歳代	80	1.3	18.8	57.5	17.5	5.0
	50歳代	70	0.0	8.6	60.0	24.3	7.1
	60歳代	148	2.0	9.5	62.8	20.9	4.7
	70歳代	165	1.2	17.0	52.7	13.3	15.8
	80歳以上	75	4.0	17.3	45.3	9.3	24.0
職業	農林業	18	5.6	11.1	55.6	16.7	11.1
	自営業	49	2.0	16.3	55.1	20.4	6.1
	会社員・公務員	149	0.7	11.4	59.1	24.2	4.7
	会社・団体の役員	19	0.0	21.1	63.2	15.8	0.0
	パート・アルバイト	62	0.0	6.5	59.7	24.2	9.7
	家事専業	66	4.5	15.2	47.0	21.2	12.1
	無職	200	1.5	16.5	56.0	10.5	15.5
	その他	20	5.0	20.0	50.0	5.0	20.0
居住年数	5年未満	51	2.0	15.7	51.0	23.5	7.8
	5～10年未満	49	2.0	16.3	51.0	12.2	18.4
	10～20年未満	85	2.4	20.0	54.1	12.9	10.6
	20～30年未満	116	3.4	12.1	54.3	25.0	5.2
	30年以上	285	0.7	12.3	59.3	16.1	11.6
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	1.4	13.7	56.2	17.8	11.0
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	0.0	9.5	45.2	33.3	11.9
	嶺南地区	66	0.0	10.6	60.6	19.7	9.1
	城西地区	38	2.6	13.2	60.5	18.4	5.3
	田間地区	78	1.3	20.5	59.0	12.8	6.4
	公平地区	57	0.0	14.0	54.4	17.5	14.0
	豊成地区	56	3.6	16.1	53.6	17.9	8.9
	正気地区	65	3.1	7.7	61.5	12.3	15.4
	福岡地区	22	9.1	22.7	31.8	27.3	9.1
	大和地区	49	2.0	10.2	61.2	16.3	10.2
	丘山地区	30	0.0	20.0	53.3	10.0	16.7
源地区	11	0.0	18.2	54.5	18.2	9.1	
家族構成	一人暮らし	116	2.6	14.7	52.6	17.2	12.9
	夫婦二人	161	1.9	13.7	56.5	16.8	11.2
	夫婦と子ども	161	0.6	10.6	57.1	23.0	8.7
	三世代（親・子・孫）	63	3.2	19.0	58.7	14.3	4.8
	その他	83	1.2	15.7	56.6	12.0	14.5
住まいの形態	持家（一戸建）	477	1.5	12.6	56.8	18.2	10.9
	持家（マンション等集合住宅）	11	0.0	36.4	27.3	27.3	9.1
	賃貸（一戸建）	21	0.0	19.0	52.4	14.3	14.3
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	5.4	19.6	55.4	12.5	7.1
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	その他	13	0.0	23.1	53.8	7.7	15.4

6 市の公共施設について

(1) 公共施設の設置状況や使いやすさ

問 28 東金市の公共施設（東金アリーナ・文化会館等）の設置状況や使いやすさについて、どのように感じていますか。

- “満足” が 58.5%、“不満” が 34.0%。

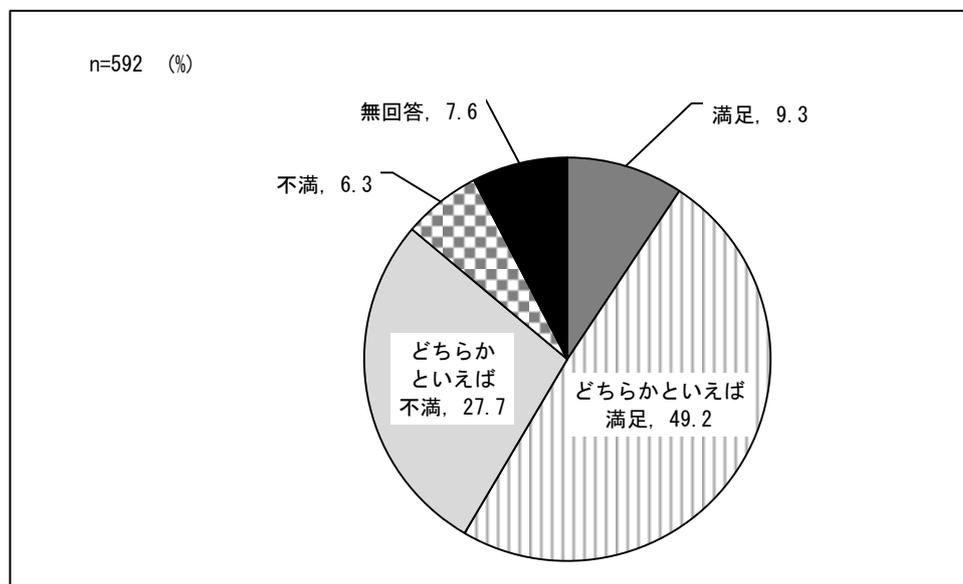
市の公共施設の設置状況や使いやすさについてたずねたところ、「どちらかといえば満足」(49.2%) が最も多く、これに「満足」(9.3%) をあわせた 58.5%の人が“満足”と答えています。一方、“不満”（「どちらかといえば不満」(27.7%) と「不満」(6.3%) の合計）は 34.0%となっています。

属性別で“満足”率をみると、性別では、男性(61.7%)が女性(57.8%)を約4ポイント上回っています。

年齢では、ほとんどの世代で6割前後となっていますが、30歳代(51.7%)、80歳以上(49.4%)では他の世代に比べ、やや低い結果となっています。

また、居住地区で“満足”率をみると、他の地区に比べ、大和地区(49.0%)、源地区(36.4%)で低く、特に源地区では4割以下にとどまります。[図表 51・52 参照]

図表 51 公共施設の設置状況や使いやすさ（全体）



図表 52 公共施設の設置状況や使いやすさ（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	無回答
全体		592	9.3	49.2	27.7	6.3	7.6
性別	男性	264	9.8	51.9	24.6	8.0	5.7
	女性	187	10.2	47.6	31.6	3.2	7.5
年齢	20歳代	19	15.8	42.1	21.1	15.8	5.3
	30歳代	29	6.9	44.8	37.9	6.9	3.4
	40歳代	80	11.3	53.8	25.0	5.0	5.0
	50歳代	70	8.6	51.4	32.9	2.9	4.3
	60歳代	148	7.4	51.4	29.7	6.8	4.7
	70歳代	165	9.7	49.1	24.8	7.3	9.1
	80歳以上	75	10.7	38.7	26.7	5.3	18.7
職業	農林業	18	22.2	50.0	11.1	11.1	5.6
	自営業	49	10.2	53.1	22.4	10.2	4.1
	会社員・公務員	149	12.1	51.7	28.2	5.4	2.7
	会社・団体の役員	19	0.0	52.6	31.6	15.8	0.0
	パート・アルバイト	62	12.9	43.5	33.9	1.6	8.1
	家事専業	66	9.1	48.5	28.8	1.5	12.1
	無職	200	6.5	47.5	27.5	8.5	10.0
	その他	20	5.0	45.0	30.0	0.0	20.0
居住年数	5年未満	51	9.8	49.0	21.6	9.8	9.8
	5～10年未満	49	8.2	61.2	26.5	0.0	4.1
	10～20年未満	85	7.1	49.4	30.6	4.7	8.2
	20～30年未満	116	6.9	39.7	37.9	8.6	6.9
	30年以上	285	11.2	50.5	24.2	6.3	7.7
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	5.5	47.9	34.2	5.5	6.8
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	19.0	50.0	21.4	4.8	4.8
	嶺南地区	66	4.5	50.0	33.3	9.1	3.0
	城西地区	38	7.9	47.4	26.3	10.5	7.9
	田間地区	78	5.1	53.8	35.9	2.6	2.6
	公平地区	57	5.3	56.1	29.8	1.8	7.0
	豊成地区	56	16.1	46.4	21.4	7.1	8.9
	正気地区	65	10.8	53.8	16.9	3.1	15.4
	福岡地区	22	27.3	40.9	9.1	13.6	9.1
	大和地区	49	6.1	42.9	30.6	8.2	12.2
	丘山地区	30	10.0	43.3	23.3	13.3	10.0
源地区	11	18.2	18.2	45.5	9.1	9.1	
家族構成	一人暮らし	116	6.0	46.6	31.0	5.2	11.2
	夫婦二人	161	11.2	50.9	25.5	6.2	6.2
	夫婦と子ども	161	7.5	50.9	27.3	7.5	6.8
	三世代（親・子・孫）	63	19.0	49.2	19.0	7.9	4.8
	その他	83	7.2	45.8	32.5	4.8	9.6
住まいの形態	持家（一戸建）	477	10.3	48.0	27.3	6.5	8.0
	持家（マンション等集合住宅）	11	0.0	63.6	27.3	9.1	0.0
	賃貸（一戸建）	21	4.8	61.9	23.8	4.8	4.8
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	7.1	55.4	23.2	5.4	8.9
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	0.0	33.3	44.4	11.1	11.1
	その他	13	7.7	30.8	61.5	0.0	0.0

7 市の公共交通について

(1) 行政に実施してほしい公共交通施策

問 29 行政に実施してほしい公共交通施策は何ですか。【複数回答】

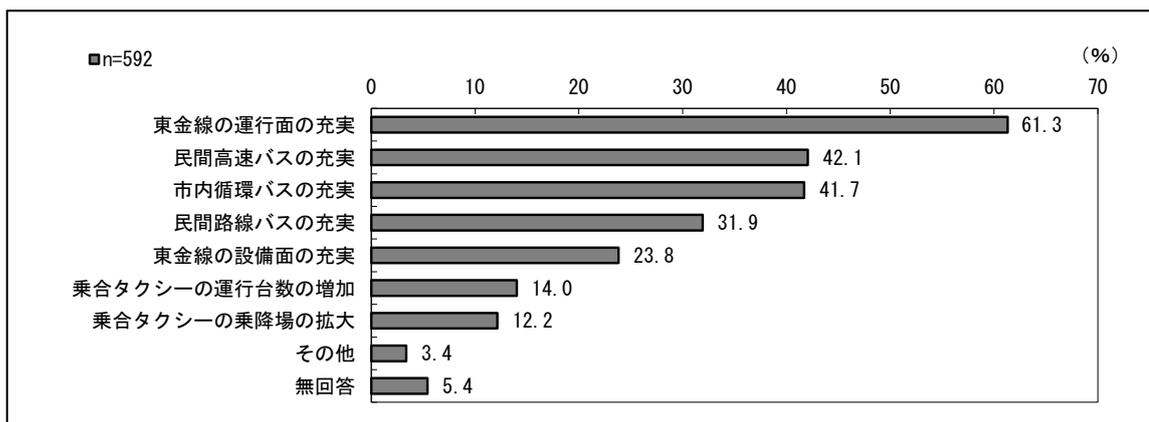
- 「東金線の運行面の充実」が他を引き離し第1位。次いで「民間高速バスの充実」、「市内循環バスの充実」の順。

行政に実施してほしい公共交通施策については、「東金線の運行面の充実」(61.3%)が最も多く、次いで「民間高速バスの充実」(42.1%)、「市内循環バスの充実」(41.7%)が続き、以下、「民間路線バスの充実」(31.9%)、「東金線の設備面の充実」(23.8%)、「乗合タクシーの運行台数の増加」(14.0%)、「乗合タクシーの乗降場の拡大」(12.2%)などの順となっています。

これを属性別で見ると、性別では、上位3項目は全体と同様の傾向がみられます。

年齢、居住地区でも、ほとんどの層で上位3項目は全体と同様の傾向がみられますが、40歳代・80歳以上・東金地区(上宿・岩崎・新宿・谷)・東金地区(日吉台・八坂台)・豊成地区・正気地区・源地区で「民間路線バスの充実」(30.0%・36.0%・31.5%・61.9%・32.1%・35.4%・63.6%)、福岡地区で「乗合タクシーの運行台数の増加」(31.8%)、「民間高速バスの充実」と同率第2位)が上位3項目にあげられているのが特徴的です。[図表 53・54 参照]

図表 53 行政に実施してほしい公共交通施策 (全体/複数回答)



図表 54 行政に実施してほしい公共交通施策（全体、属性別—上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		東金線の運行面の充実 61.3	民間高速バスの充実 42.1	市内循環バスの充実 41.7
性別	男性	東金線の運行面の充実 60.2	民間高速バスの充実 42.4	市内循環バスの充実 39.8
	女性	東金線の運行面の充実 68.4	市内循環バスの充実 45.5	民間高速バスの充実 39.0
年齢	20歳代	東金線の運行面の充実 94.7	民間高速バスの充実 57.9	市内循環バスの充実 42.1
	30歳代	東金線の運行面の充実 82.8	民間高速バスの充実 58.6	市内循環バスの充実 37.9
	40歳代	東金線の運行面の充実 85.0	民間高速バスの充実 50.0	民間路線バスの充実/市内循環バスの充実 30.0
	50歳代	東金線の運行面の充実 72.9	民間高速バスの充実 42.9	市内循環バスの充実 34.3
	60歳代	東金線の運行面の充実 61.5	民間高速バスの充実/市内循環バスの充実 43.2	
	70歳代	東金線の運行面の充実 49.7	市内循環バスの充実 48.5	民間高速バスの充実 37.0
	80歳以上	市内循環バスの充実 45.3	民間路線バスの充実 36.0	東金線の運行面の充実 33.3
	職業	農林業	東金線の運行面の充実 55.6	市内循環バスの充実 50.0
自営業		東金線の運行面の充実 61.2	市内循環バスの充実 46.9	民間高速バスの充実 42.9
会社員・公務員		東金線の運行面の充実 82.6	民間高速バスの充実 50.3	市内循環バスの充実 37.6
会社・団体の役員		民間高速バスの充実 84.2	東金線の運行面の充実 63.2	東金線の設備面の充実 26.3
パート・アルバイト		東金線の運行面の充実 74.2	民間高速バスの充実 45.2	市内循環バスの充実 33.9
家事専業		東金線の運行面の充実 50.0	市内循環バスの充実 45.5	民間路線バスの充実 40.9
無職		東金線の運行面の充実 48.0	市内循環バスの充実 47.5	民間高速バスの充実 34.0
その他		民間路線バスの充実 50.0	東金線の運行面の充実 40.0	市内循環バスの充実 35.0
居住年数		5年未満	東金線の運行面の充実 76.5	民間高速バスの充実 41.2
	5～10年未満	東金線の運行面の充実 65.3	民間高速バスの充実 53.1	東金線の設備面の充実 40.8
	10～20年未満	東金線の運行面の充実 61.2	民間路線バスの充実 41.2	市内循環バスの充実 40.0
	20～30年未満	東金線の運行面の充実 68.1	市内循環バスの充実 49.1	民間高速バスの充実 40.5
	30年以上	東金線の運行面の充実 55.4	民間高速バスの充実 42.5	市内循環バスの充実 41.8

		第1位	第2位	第3位
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	東金線の運行面の充実 76.7	民間高速バスの充実 52.1	民間路線バスの充実 31.5
	東金地区（日吉台・八坂台）	民間路線バスの充実 61.9	東金線の運行面の充実 59.5	市内循環バスの充実 52.4
	嶺南地区	東金線の運行面の充実 69.7	民間高速バスの充実 53.0	市内循環バスの充実 39.4
	城西地区	東金線の運行面の充実 65.8	民間高速バスの充実 47.4	市内循環バスの充実 44.7
	田間地区	東金線の運行面の充実 70.5	民間高速バスの充実 50.0	市内循環バスの充実 35.9
	公平地区	東金線の運行面の充実 63.2	民間高速バスの充実/市内循環バスの充実 40.4	
	豊成地区	東金線の運行面の充実 58.9	市内循環バスの充実 51.8	民間高速バスの充実/民間路線バスの充実 32.1
	正気地区	東金線の運行面の充実 50.8	市内循環バスの充実 38.5	民間路線バスの充実 35.4
	福岡地区	市内循環バスの充実 59.1	民間高速バスの充実/乗合タクシーの運行台数の増加 31.8	
	大和地区	東金線の運行面の充実 61.2	市内循環バスの充実 55.1	民間高速バスの充実 32.7
	丘山地区	市内循環バスの充実 53.3	東金線の運行面の充実/民間高速バスの充実 40.0	
	源地区	民間路線バスの充実 63.6	市内循環バスの充実 36.4	東金線の運行面の充実 27.3
	家族構成	一人暮らし	東金線の運行面の充実 50.9	市内循環バスの充実 37.9
夫婦二人		東金線の運行面の充実 53.4	民間高速バスの充実 46.0	市内循環バスの充実 45.3
夫婦と子ども		東金線の運行面の充実 71.4	民間高速バスの充実 42.2	市内循環バスの充実 41.0
三世代（親・子・孫）		東金線の運行面の充実 66.7	市内循環バスの充実 41.3	民間高速バスの充実 39.7
その他		東金線の運行面の充実 68.7	民間高速バスの充実 43.4	市内循環バスの充実 42.2
住まいの形態		持家（一戸建）	東金線の運行面の充実 58.9	市内循環バスの充実 43.2
	持家（マンション等集合住宅）	東金線の運行面の充実/民間高速バスの充実 63.6		東金線の設備面の充実 36.4
	賃貸（一戸建）	東金線の運行面の充実 71.4	民間路線バスの充実 47.6	市内循環バスの充実 38.1
	賃貸（マンション等集合住宅）	東金線の運行面の充実 80.4	民間高速バスの充実 48.2	東金線の設備面の充実 32.1
	社宅・官舎、親の住まいに同居	東金線の運行面の充実/民間高速バスの充実/民間路線バスの充実/市内循環バスの充実 55.6		
	その他	東金線の運行面の充実/民間路線バスの充実/市内循環バスの充実 53.8		

8 広報・情報発信について

(1) 市政情報の入手方法

問 30 市政情報をどのように手に入れていますか。【複数回答】

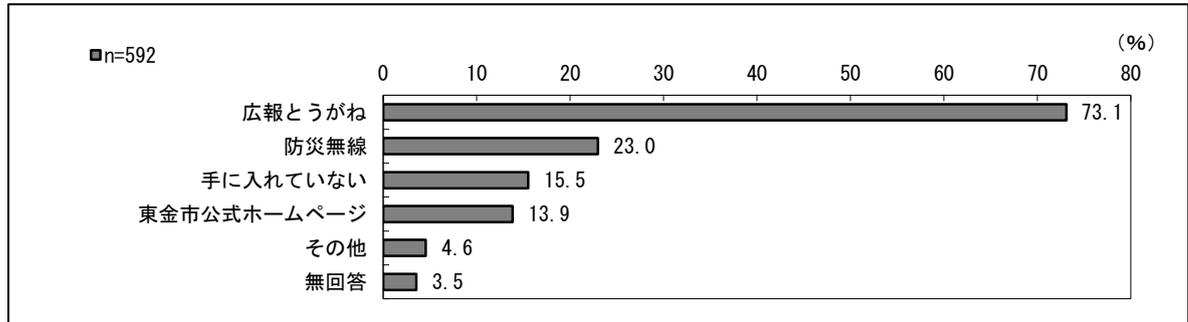
- 「広報とうがね」が他を大きく引き離し第1位。

市政情報の入手方法については、「広報とうがね」(73.1%)が最も多く、次いで「防災無線」(23.0%)、「手に入れていない」(15.5%)、「東金市公式ホームページ」(13.9%)などの順となっています。

これを属性別で見ると、上位3項目は概ね全体と同様の傾向がみられ、ほとんどの層で「広報とうがね」が第1位にあげられています。

なお、年齢では、20歳代・30歳代で「手に入れていない」(47.4%・44.8%、30歳代では「広報とうがね」と同率第1位)が第1位にあげられているのが特徴的です。【図表55・56参照】

図表 55 市政情報の入手方法（全体／複数回答）



図表 56 市政情報の入手方法（全体、属性別—上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		広報とうがね 73.1	防災無線 23.0	手に入れていない 15.5
性別	男性	広報とうがね 73.9	防災無線 27.3	東金市公式ホームページ 16.7
	女性	広報とうがね 69.5	手に入れていない 21.4	防災無線 17.6
年齢	20歳代	手に入れていない 47.4	広報とうがね 42.1	東金市公式ホームページ 10.5
	30歳代	広報とうがね/手に入れていない 44.8		東金市公式ホームページ 20.7
	40歳代	広報とうがね 61.3	東金市公式ホームページ 23.8	手に入れていない 22.5
	50歳代	広報とうがね 65.7	東金市公式ホームページ 20.0	手に入れていない 17.1
	60歳代	広報とうがね 79.1	防災無線 27.0	東金市公式ホームページ 17.6
	70歳代	広報とうがね 83.0	防災無線 25.5	手に入れていない 10.9
	80歳以上	広報とうがね 78.7	防災無線 30.7	手に入れていない 8.0
	職業	農林業	広報とうがね 100.0	防災無線 50.0
自営業		広報とうがね 81.6	防災無線 32.7	手に入れていない 14.3
会社員・公務員		広報とうがね 63.1	東金市公式ホームページ 24.2	手に入れていない 20.8
会社・団体の役員		広報とうがね 89.5	防災無線 26.3	手に入れていない 15.8
パート・アルバイト		広報とうがね 72.6	防災無線 24.2	手に入れていない 19.4
家事専業		広報とうがね 84.8	防災無線 22.7	手に入れていない 12.1
無職		広報とうがね 72.5	防災無線 23.0	手に入れていない 14.0
その他		広報とうがね 55.0	東金市公式ホームページ 20.0	防災無線 15.0
居住年数		5年未満	広報とうがね 39.2	手に入れていない 37.3
	5～10年未満	広報とうがね 61.2	手に入れていない 20.4	防災無線 18.4
	10～20年未満	広報とうがね 62.4	手に入れていない 21.2	東金市公式ホームページ 20.0
	20～30年未満	広報とうがね 77.6	防災無線 25.0	手に入れていない 13.8
	30年以上	広報とうがね 82.8	防災無線 28.8	東金市公式ホームページ 10.9

		第1位	第2位	第3位
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	広報とうがね 64.4	防災無線 26.0	手に入れていない 21.9
	東金地区（日吉台・八坂台）	広報とうがね 78.6	東金市公式ホームページ/防災無線 26.2	
	嶺南地区	広報とうがね 75.8	防災無線 24.2	手に入れていない 18.2
	城西地区	広報とうがね 73.7	防災無線 23.7	手に入れていない 18.4
	田間地区	広報とうがね 66.7	手に入れていない 23.1	東金市公式ホームページ/防災無線 15.4
	公平地区	広報とうがね 80.7	防災無線 28.1	東金市公式ホームページ 15.8
	豊成地区	広報とうがね 83.9	防災無線 26.8	東金市公式ホームページ 14.3
	正気地区	広報とうがね 70.8	防災無線 18.5	手に入れていない 13.8
	福岡地区	広報とうがね 68.2	防災無線/手に入れていない 18.2	
	大和地区	広報とうがね 71.4	防災無線 26.5	東金市公式ホームページ 14.3
	丘山地区	広報とうがね 73.3	防災無線 20.0	東金市公式ホームページ 16.7
	源地区	広報とうがね 72.7	手に入れていない 18.2	東金市公式ホームページ/防災無線 9.1
	家族構成	一人暮らし	広報とうがね 56.0	手に入れていない 29.3
夫婦二人		広報とうがね 82.6	防災無線 23.0	東金市公式ホームページ 11.2
夫婦と子ども		広報とうがね 74.5	防災無線 20.5	東金市公式ホームページ 17.4
三世代（親・子・孫）		広報とうがね 81.0	防災無線 33.3	東金市公式ホームページ 17.5
その他		広報とうがね 68.7	手に入れていない 20.5	防災無線 14.5
住まいの形態		持家（一戸建）	広報とうがね 79.5	防災無線 24.1
	持家（マンション等集合住宅）	広報とうがね 63.6	手に入れていない 27.3	防災無線 18.2
	賃貸（一戸建）	広報とうがね 57.1	手に入れていない 23.8	東金市公式ホームページ 19.0
	賃貸（マンション等集合住宅）	手に入れていない 46.4	広報とうがね 35.7	東金市公式ホームページ/防災無線 16.1
	社宅・官舎、親の住まいに同居	広報とうがね 66.7	東金市公式ホームページ/防災無線 44.4	
	その他	手に入れていない 46.2	広報とうがね 38.5	防災無線 23.1

(2) 市の実施事業の情報発信について

問 31 東金市が実施している事業についての情報発信は、十分に行われていると思いますか。

- “情報発信されている” が 36.3%、“情報発信されていない” が 55.0%。

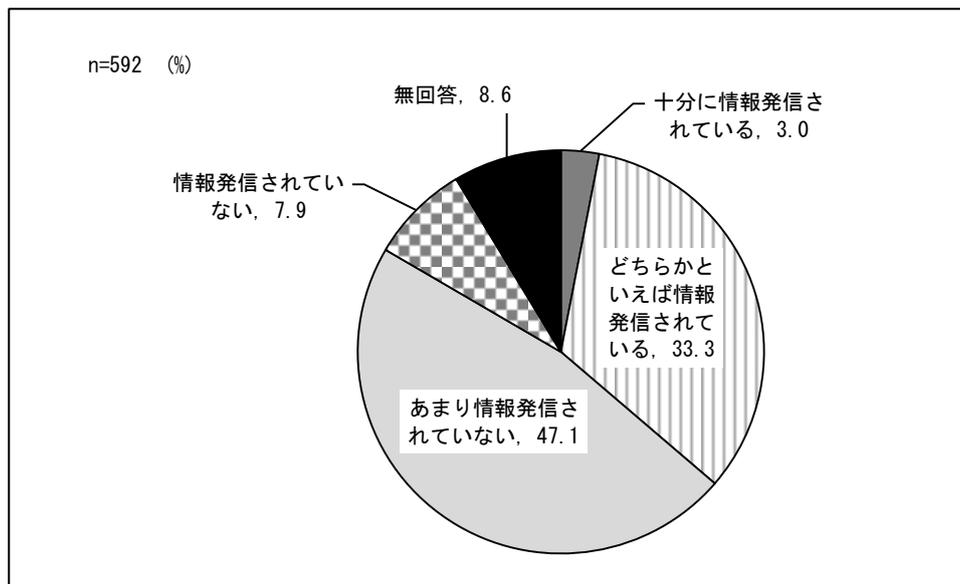
市の実施事業の情報発信の状況についてたずねたところ、“情報発信されている”（「どちらかといえば情報発信されている」(33.3%)と「十分に情報発信されている」(3.0%)の合計）と答えた人は36.3%でした。これに対し、“情報発信されていない”（「あまり情報発信されていない」(47.1%)と「情報発信されていない」(7.9%)の合計）は55.0%となっています。

属性別で“情報発信されている”率をみると、性別では、男性(39.0%)が女性(34.8%)を約4ポイント上回っています。

年齢では、すべての層で3割台となっており、世代間による大きな傾向の違いはみられません。

また、居住地区で“情報発信されている”率をみると、東金地区(日吉台・八坂台)(47.7%)で5割弱を占める一方、城西地区(26.3%)、大和地区(24.4%)で2割台、源地区(18.2%)で1割台となっています。[図表 57・58 参照]

図表 57 市の実施事業の情報発信について（全体）



図表 58 市の実施事業の情報発信について（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	十分に情報 発信されて いる	どちらかと いえば情報 発信されて いる	あまり情報 発信されて いない	情報発信さ れていない	無回答
全体		592	3.0	33.3	47.1	7.9	8.6
性別	男性	264	4.2	34.8	47.0	8.0	6.1
	女性	187	2.7	32.1	49.7	6.4	9.1
年齢	20歳代	19	5.3	31.6	42.1	15.8	5.3
	30歳代	29	0.0	31.0	44.8	17.2	6.9
	40歳代	80	3.8	32.5	51.3	8.8	3.8
	50歳代	70	2.9	28.6	58.6	7.1	2.9
	60歳代	148	2.7	34.5	52.0	6.8	4.1
	70歳代	165	3.0	34.5	41.2	7.3	13.9
	80歳以上	75	4.0	33.3	37.3	6.7	18.7
職業	農林業	18	5.6	55.6	33.3	0.0	5.6
	自営業	49	0.0	40.8	44.9	6.1	8.2
	会社員・公務員	149	5.4	28.9	53.7	10.1	2.0
	会社・団体の役員	19	0.0	21.1	47.4	21.1	10.5
	パート・アルバイト	62	3.2	41.9	41.9	6.5	6.5
	家事専業	66	3.0	34.8	50.0	4.5	7.6
	無職	200	2.5	32.5	44.0	8.0	13.0
	その他	20	0.0	10.0	60.0	5.0	25.0
居住年数	5年未満	51	2.0	21.6	49.0	15.7	11.8
	5～10年未満	49	10.2	34.7	40.8	6.1	8.2
	10～20年未満	85	2.4	29.4	55.3	5.9	7.1
	20～30年未満	116	4.3	31.9	50.0	7.8	6.0
	30年以上	285	1.8	36.5	44.6	7.7	9.5
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	1.4	42.5	35.6	9.6	11.0
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	4.8	42.9	42.9	7.1	2.4
	嶺南地区	66	1.5	28.8	53.0	10.6	6.1
	城西地区	38	7.9	18.4	60.5	5.3	7.9
	田間地区	78	2.6	37.2	52.6	6.4	1.3
	公平地区	57	1.8	38.6	49.1	3.5	7.0
	豊成地区	56	0.0	42.9	37.5	8.9	10.7
	正気地区	65	6.2	27.7	46.2	4.6	15.4
	福岡地区	22	4.5	27.3	54.5	4.5	9.1
	大和地区	49	2.0	22.4	53.1	10.2	12.2
	丘山地区	30	6.7	23.3	36.7	16.7	16.7
	源地区	11	0.0	18.2	54.5	18.2	9.1
家族構成	一人暮らし	116	0.9	30.2	51.7	6.9	10.3
	夫婦二人	161	2.5	36.6	42.2	9.9	8.7
	夫婦と子ども	161	4.3	28.0	52.2	8.1	7.5
	三世代（親・子・孫）	63	1.6	41.3	42.9	6.3	7.9
	その他	83	6.0	34.9	42.2	7.2	9.6
住まいの形態	持家（一戸建）	477	3.8	34.0	46.1	7.8	8.4
	持家（マンション等集合住宅）	11	0.0	27.3	54.5	0.0	18.2
	賃貸（一戸建）	21	0.0	28.6	47.6	14.3	9.5
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	0.0	32.1	50.0	8.9	8.9
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	0.0	33.3	44.4	22.2	0.0
	その他	13	0.0	15.4	69.2	0.0	15.4

(3) 今後情報発信してほしい媒体

問 32 今後どのような媒体で情報発信をしてほしいですか。【複数回答】

- 「ライン」が他を引き離し第1位。

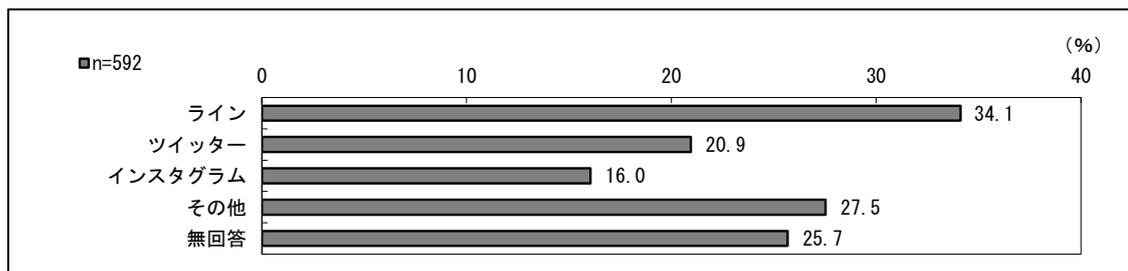
今後情報発信してほしい媒体については、「ライン」(34.1%)が最も多く、次いで「ツイッター」(20.9%)、「インスタグラム」(16.0%)などの順となっています。

これを属性別で見ると、上位3項目は概ね全体と同様の傾向がみられ、ほとんどの層で「ライン」が第1位にあげられています。

なお、年齢、居住地区では、80歳以上・公平地区・正気地区で「ツイッター」(22.7%・26.3%・33.8%、公平地区では「ライン」と同率第1位)が第1位にあげられています。

[図表 59・60 参照]

図表 59 今後情報発信してほしい媒体 (全体/複数回答)



図表 60 今後情報発信してほしい媒体（全体、属性別—上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		ライン 34.1	ツイッター 20.9	インスタグラム 16.0
性別	男性	ライン 37.5	ツイッター 22.7	インスタグラム 19.7
	女性	ライン 32.6	ツイッター 21.9	インスタグラム 12.8
年齢	20歳代	ライン 73.7	ツイッター 52.6	インスタグラム 36.8
	30歳代	ライン 69.0	ツイッター/インスタグラム 24.1	
	40歳代	ライン 48.8	インスタグラム 31.3	ツイッター 27.5
	50歳代	ライン 47.1	ツイッター/インスタグラム 20.0	
	60歳代	ライン 35.1	ツイッター 17.6	インスタグラム 12.8
	70歳代	ライン 19.4	ツイッター 15.2	インスタグラム 10.9
	80歳以上	ツイッター 22.7	ライン 13.3	インスタグラム 4.0
	職業	農林業	ツイッター/ライン 22.2	
自営業		ライン 36.7	ツイッター 18.4	インスタグラム 14.3
会社員・公務員		ライン 55.0	ツイッター 25.5	インスタグラム 22.8
会社・団体の役員		ツイッター/ライン 21.1		インスタグラム 10.5
パート・アルバイト		ライン 30.6	ツイッター/インスタグラム 24.2	
家事専業		ライン 30.3	ツイッター 22.7	インスタグラム 10.6
無職		ライン 23.5	ツイッター 17.5	インスタグラム 10.0
その他		インスタグラム/ライン 30.0		ツイッター 10.0
居住年数		5年未満	ライン 54.9	ツイッター 27.5
	5～10年未満	ライン 40.8	ツイッター 22.4	インスタグラム 16.3
	10～20年未満	ライン 44.7	ツイッター 27.1	インスタグラム 21.2
	20～30年未満	ライン 32.8	ツイッター 21.6	インスタグラム 14.7
	30年以上	ライン 26.7	ツイッター 17.2	インスタグラム 13.0

		第1位	第2位	第3位
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	ライン 39.7	ツイッター 19.2	インスタグラム 9.6
	東金地区（日吉台・八坂台）	ライン 45.2	インスタグラム 23.8	ツイッター 21.4
	嶺南地区	ライン 34.8	インスタグラム 19.7	ツイッター 16.7
	城西地区	ライン 44.7	インスタグラム 21.1	ツイッター 13.2
	田間地区	ライン 35.9	インスタグラム 21.8	ツイッター 16.7
	公平地区	ツイッター/ライン 26.3		インスタグラム 14.0
	豊成地区	ライン 39.3	ツイッター 21.4	インスタグラム 17.9
	正気地区	ツイッター 33.8	ライン 16.9	インスタグラム 9.2
	福岡地区	ライン 31.8	ツイッター 27.3	インスタグラム 9.1
	大和地区	ライン 32.7	ツイッター 16.3	インスタグラム 10.2
	丘山地区	ライン 36.7	ツイッター 20.0	インスタグラム 16.7
	源地区	インスタグラム/ライン 18.2		ツイッター 9.1
	家族構成	一人暮らし	ライン 31.0	ツイッター 21.6
夫婦二人		ライン 28.6	ツイッター 18.6	インスタグラム 8.7
夫婦と子ども		ライン 40.4	インスタグラム 26.7	ツイッター 23.6
三世代（親・子・孫）		ライン 41.3	ツイッター 17.5	インスタグラム 15.9
その他		ライン 32.5	ツイッター 19.3	インスタグラム 7.2
住まいの形態		持家（一戸建）	ライン 32.7	ツイッター 19.3
	持家（マンション等集合住宅）	ライン 36.4	インスタグラム 27.3	ツイッター 9.1
	賃貸（一戸建）	ツイッター/ライン 33.3		インスタグラム 23.8
	賃貸（マンション等集合住宅）	ライン 50.0	ツイッター 25.0	インスタグラム 19.6
	社宅・官舎、親の住まいに同居	ツイッター 33.3	ライン 22.2	インスタグラム 11.1
	その他	ツイッター 38.5	ライン 23.1	インスタグラム 15.4

9 満足度と重要度について

(1) まちの各環境に関する満足度

問 33 市の各分野の「現状の満足度」と「今後の重要度」をお聞きます。

(1) 現在の満足度

- 満足度評価が高い項目は「生涯学習・生涯スポーツの推進」。次いで「家庭ごみの処理・リサイクル」、「広域行政」の順。
- 満足度評価が低い項目は「公共交通の充実」。次いで「商業・サービス業の振興」、「良好な市街地の形成」の順。

まちの各環境について、どの程度満足しているかを把握するため、31項目を設定し、項目ごとに「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらかといえば不満」、「不満」の4段階で評価してもらい、その結果を加重平均値による数量化〔後述参照〕で評価点（満足度：最高点10点、最低点-10点）を算出しました。

その結果、満足度評価が最も高い項目は、「生涯学習・生涯スポーツの推進」（2.12点）となっており、次いで第2位が「家庭ごみの処理・リサイクル」（1.40点）、第3位が「広域行政」（0.87点）と続き、以下「学校教育の充実」（0.66点）、「保健・医療の充実」（0.04点）などの順となっています。一方、満足度評価が低い項目をみると、「公共交通の充実」（-3.19点）が最も低く、次いで「商業・サービス業の振興」（-3.06点）、「良好な市街地の形成」（-3.00点）、「地方創生の実現に向けて」（-2.56点）、「効果的・効率的な行政運営」（-2.18点）と続いています。

31項目のうち、満足度がプラス評価の項目が5項目、マイナス評価の項目が26項目となっています。〔図表 61 参照〕

また、これを居住地区でみると、以下のとおりとなっています。

東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）

満足度の上位3項目は、第1位が「生涯学習・生涯スポーツの推進」（2.15点）、第2位が「家庭ごみの処理・リサイクル」（2.08点）、第3位が「広域行政」（1.48点）の順となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「公共交通の充実」（-4.00点）、第2位が「良好な市街地の形成」（-3.20点）、第3位が「商業・サービス業の振興」（-3.19点）の順となっています。

設定した31項目のうち、プラス評価の項目が7項目、マイナス評価の項目が24項目となっています。〔図表 62 参照〕

東金地区（日吉台・八坂台）

満足度の上位3項目は、第1位が「家庭ごみの処理・リサイクル」（3.05点）、第2位

が「生涯学習・生涯スポーツの推進」(2.88点)、第3位が「広域行政」(1.76点)の順となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「商業・サービス業の振興」(-4.86点)、第2位が「公共交通の充実」(-4.63点)、第3位が「良好な市街地の形成」(-4.17点)の順となっています。

設定した31項目のうち、プラス評価の項目が8項目、マイナス評価の項目が22項目、中間点が1項目となっています。[図表 62 参照]

嶺南地区

満足度の上位3項目は、第1位が「生涯学習・生涯スポーツの推進」(1.95点)、第2位が「家庭ごみの処理・リサイクル」(1.61点)、第3位が「学校教育の充実」(0.54点)の順となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「公共交通の充実」(-3.39点)、第2位が「効果的・効率的な行政運営」(-3.08点)、第3位が「新たな産業と地域活性化」(-2.96点)の順となっています。

設定した31項目のうち、プラス評価の項目が5項目、マイナス評価の項目が26項目となっています。[図表 62 参照]

城西地区

満足度の上位3項目は、第1位が「生涯学習・生涯スポーツの推進」(2.00点)、第2位が「広域行政」(0.65点)、第3位が「家庭ごみの処理・リサイクル」(0.57点)の順となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「良好な市街地の形成」(-4.24点)、第2位が「公共交通の充実」(-4.00点)、第3位が「水質汚染・公害の防止」(-3.14点)の順となっています。

設定した31項目のうち、プラス評価の項目が5項目、マイナス評価の項目が26項目となっています。[図表 62 参照]

田間地区

満足度の上位3項目は、第1位が「生涯学習・生涯スポーツの推進」(2.12点)、第2位が「学校教育の充実」(0.36点)、第3位が「家庭ごみの処理・リサイクル」(0.13点)の順となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「公共交通の充実」(-3.31点)、第2位が「商業・サービス業の振興」(-2.96点)、第3位が「地方創生の実現に向けて」(-2.33点)の順となっています。

設定した31項目のうち、プラス評価の項目が4項目、マイナス評価の項目が25項目、中間点が2項目となっています。[図表 62 参照]

公平地区

満足度の上位3項目は、第1位が「生涯学習・生涯スポーツの推進」(2.65点)、第2位が「学校教育の充実」(2.28点)、第3位が「家庭ごみの処理・リサイクル」(2.17点)の順となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「公共交通の充実」(-2.35点)、第2位が「商業・サービス業の振興」(-2.33点)、第3位が「社会保障の充実」(-2.25点)の順となっています。

設定した31項目のうち、プラス評価の項目が14項目、マイナス評価の項目が17項目となっています。[図表 62 参照]

豊成地区

満足度の上位3項目は、第1位が「家庭ごみの処理・リサイクル」(2.36点)、第2位が「生涯学習・生涯スポーツの推進」(2.26点)、第3位が「広域行政」(1.18点)の順となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「良好な市街地の形成」(-3.67点)、第2位が「道路網の整備」(-3.17点)、第3位が「地方創生の実現に向けて」(-3.06点)の順となっています。

設定した31項目のうち、プラス評価の項目が6項目、マイナス評価の項目が25項目となっています。[図表 62 参照]

正気地区

満足度の上位3項目は、第1位が「生涯学習・生涯スポーツの推進」(1.60点)、第2位が「広域行政」(0.21点)、第3位が「家庭ごみの処理・リサイクル」(0.09点)の順となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「商業・サービス業の振興」(-3.67点)、第2位が「水質汚染・公害の防止」(-3.63点)、第3位が「良好な市街地の形成」(-3.26点)の順となっています。

設定した31項目のうち、プラス評価の項目が3項目、マイナス評価の項目が28項目となっています。[図表 62 参照]

福岡地区

満足度の上位3項目は、第1位が「生涯学習・生涯スポーツの推進」(4.50点)、第2位が「広域行政」(3.95点)、第3位が「青少年の健全育成」(3.24点)の順となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「商業・サービス業の振興」及び「効果的・効率的な行政運営」(同点-1.84点)、第3位が「良好な市街地の形成」及び「治水対策の推進」(同点-1.58点)となっています。

設定した 31 項目のうち、プラス評価の項目が 17 項目、マイナス評価の項目が 12 項目、中間点が 2 項目となっています。[図表 62 参照]

大和地区

満足度の上位 3 項目は、第 1 位が「生涯学習・生涯スポーツの推進」(0.97 点)、第 2 位が「学校教育の充実」(0.16 点)、第 3 位が「家庭ごみの処理・リサイクル」(0.00 点)の順となっています。

一方、下位 3 項目は、第 1 位が「地方創生の実現に向けて」(-4.32 点)、第 2 位が「商業・サービス業の振興」(-3.91 点)、第 3 位が「観光レクリエーションの振興」(-3.68 点)の順となっています。

設定した 31 項目のうち、プラス評価の項目が 2 項目、マイナス評価の項目が 28 項目、中間点が 1 項目となっています。[図表 62 参照]

丘山地区

満足度の上位 3 項目は、第 1 位が「生涯学習・生涯スポーツの推進」(1.60 点)、第 2 位が「広域行政」(1.04 点)、第 3 位が「家庭ごみの処理・リサイクル」(0.58 点)の順となっています。

一方、下位 3 項目は、第 1 位が「公共交通の充実」(-3.80 点)、第 2 位が「商業・サービス業の振興」及び「効果的・効率的な行政運営」(同点-3.04 点)の順となっています。

設定した 31 項目のうち、プラス評価の項目が 6 項目、マイナス評価の項目が 23 項目、中間点が 2 項目となっています。[図表 62 参照]

源地区

満足度の上位 3 項目は、第 1 位が「社会福祉の推進」(6.25 点)、第 2 位が「防災・防犯・交通安全」(5.56 点)、第 3 位が「公園・緑地の整備」、「家庭ごみの処理・リサイクル」及び「農林業の振興」(同点 4.38 点)の順となっています。

一方、下位 3 項目は、第 1 位が「良好な市街地の形成」(-4.44 点)、第 2 位が「効果的・効率的な行政運営」(-3.89 点)、第 3 位が「社会保障の充実」(-3.57 点)の順となっています。

設定した 31 項目のうち、プラス評価の項目が 14 項目、マイナス評価の項目が 15 項目、中間点が 2 項目となっています。[図表 62 参照]

※加重平均値による評価点（満足度）の算出方法

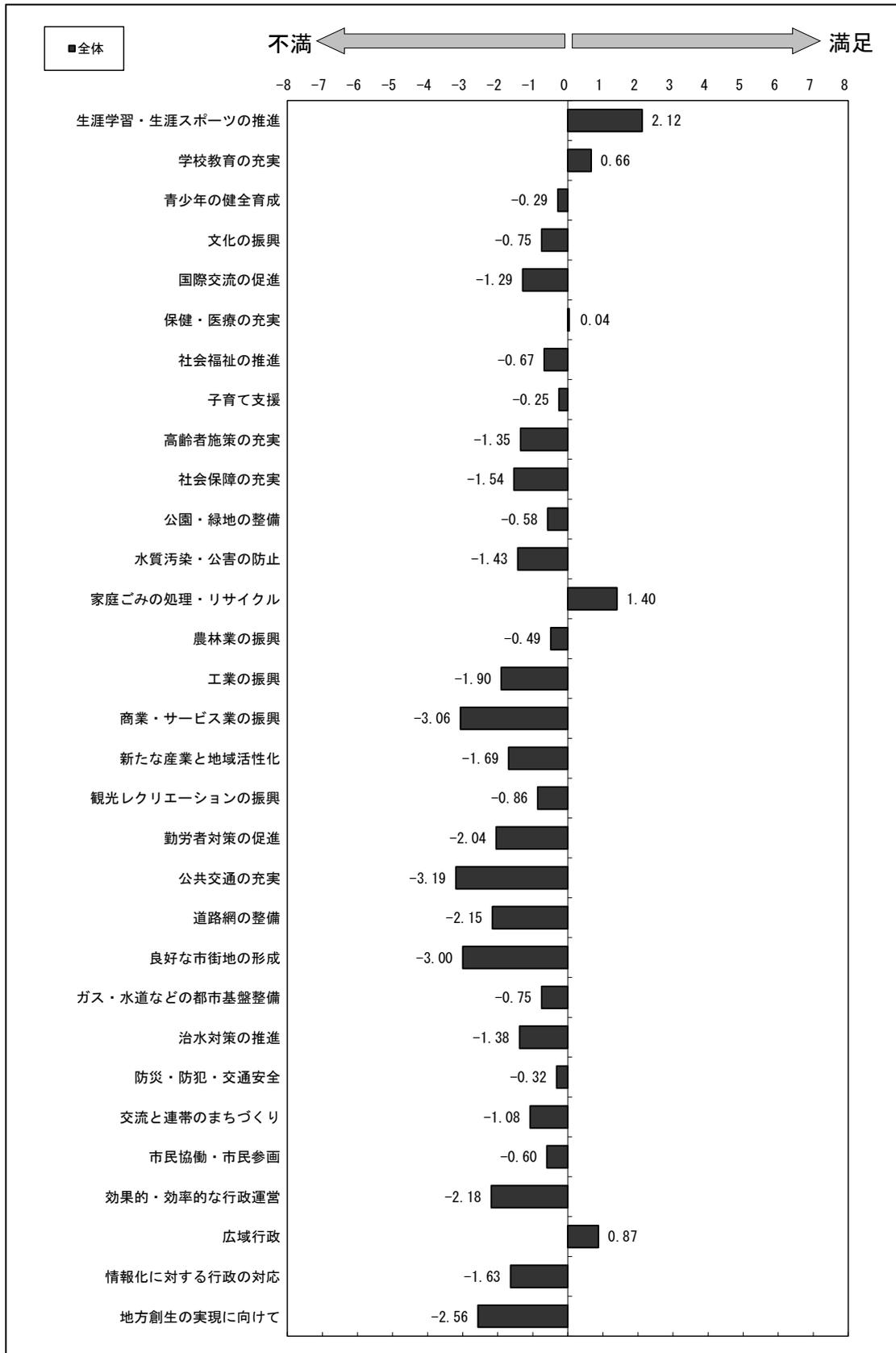
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足」、「どちらかとい} \\ \text{えば満足」、「どちらかとい} \\ \text{えば不満」、「不満」の} \\ \text{回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点（満足度）は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

図表 61 まちの各環境に関する満足度（全体）

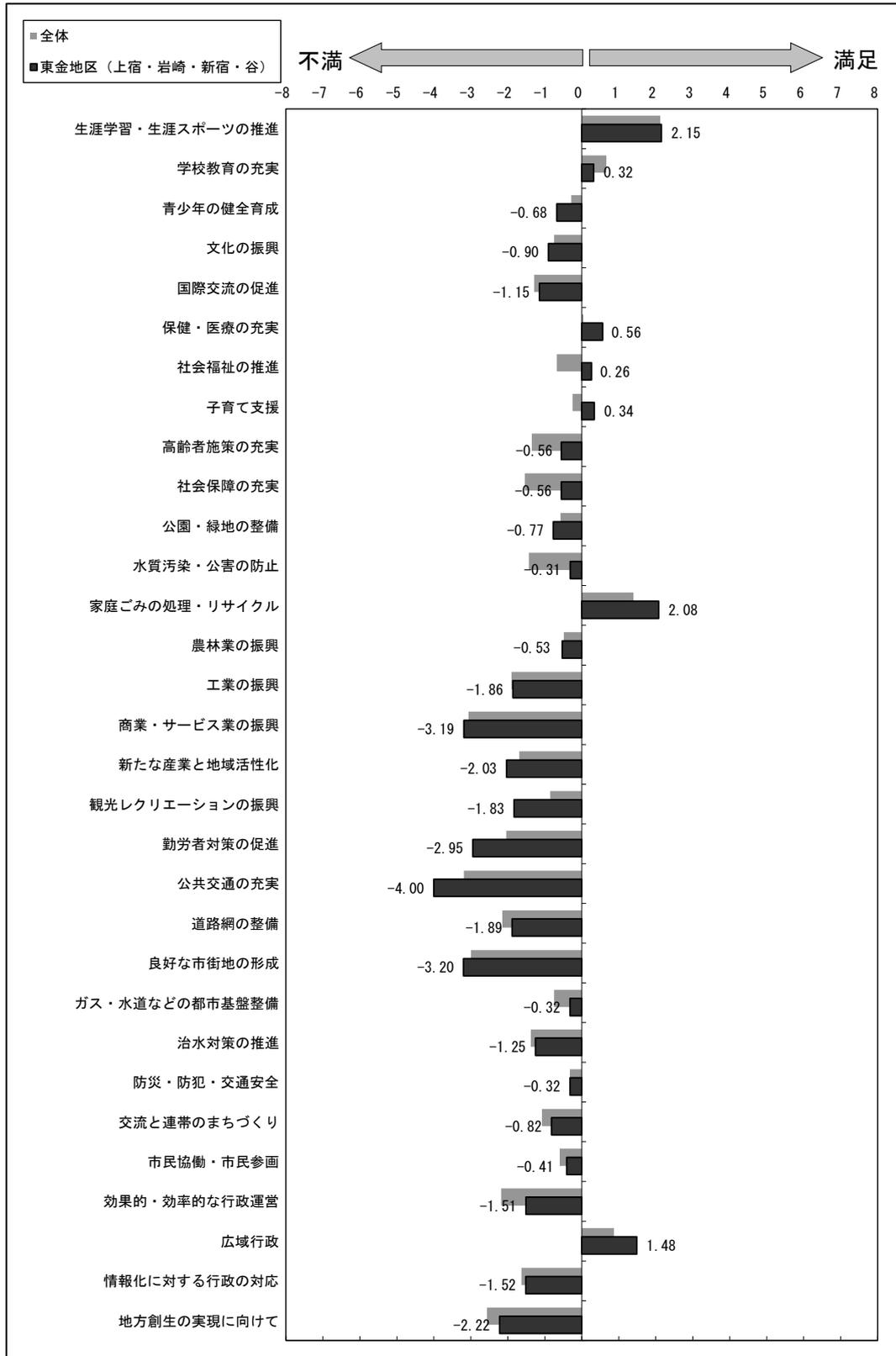
（単位：評価点）



図表 62 まちの各環境に関する満足度（居住地区）

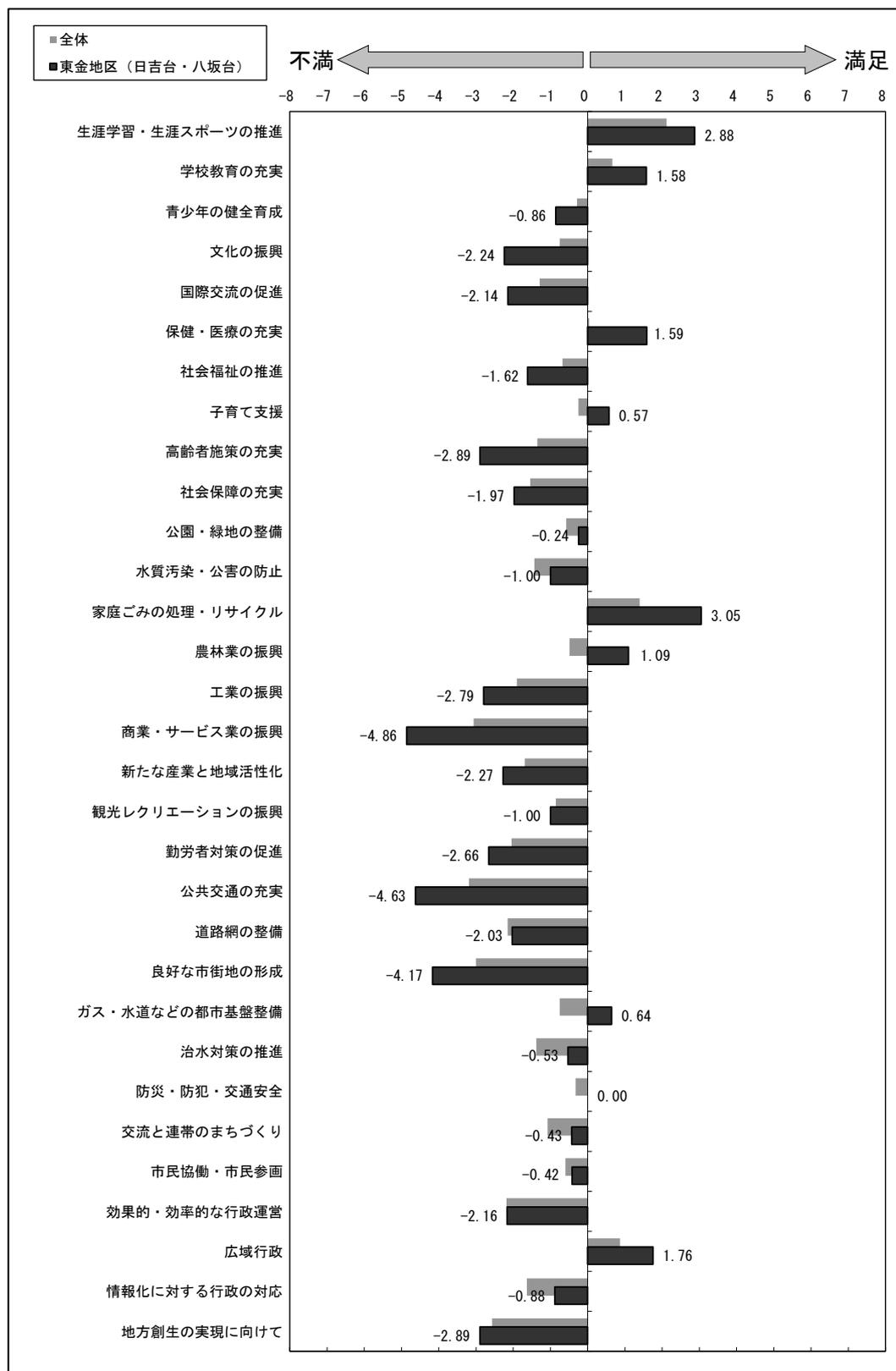
東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）

（単位：評価点）



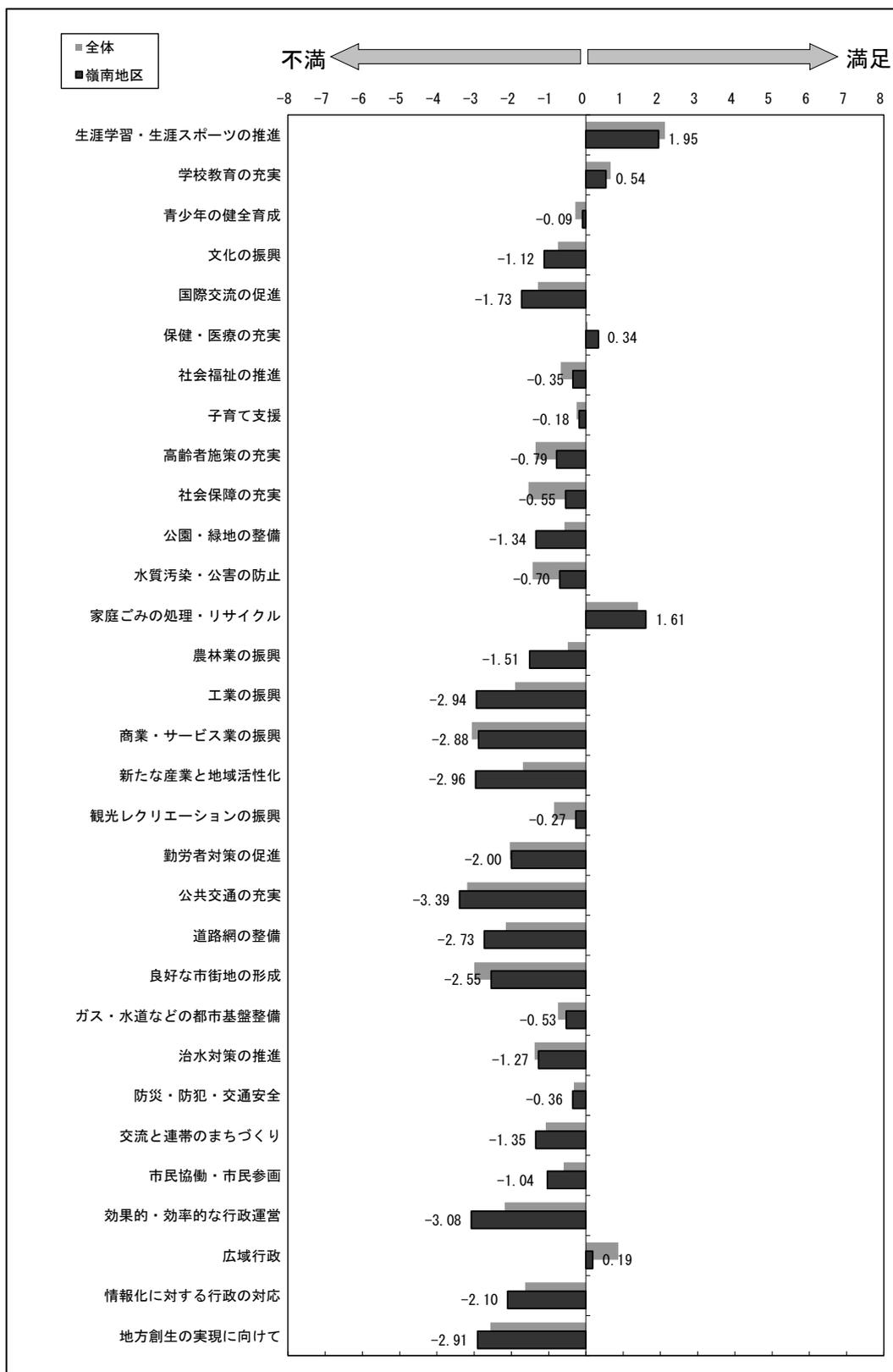
東金地区（日吉台・八坂台）

（単位：評価点）



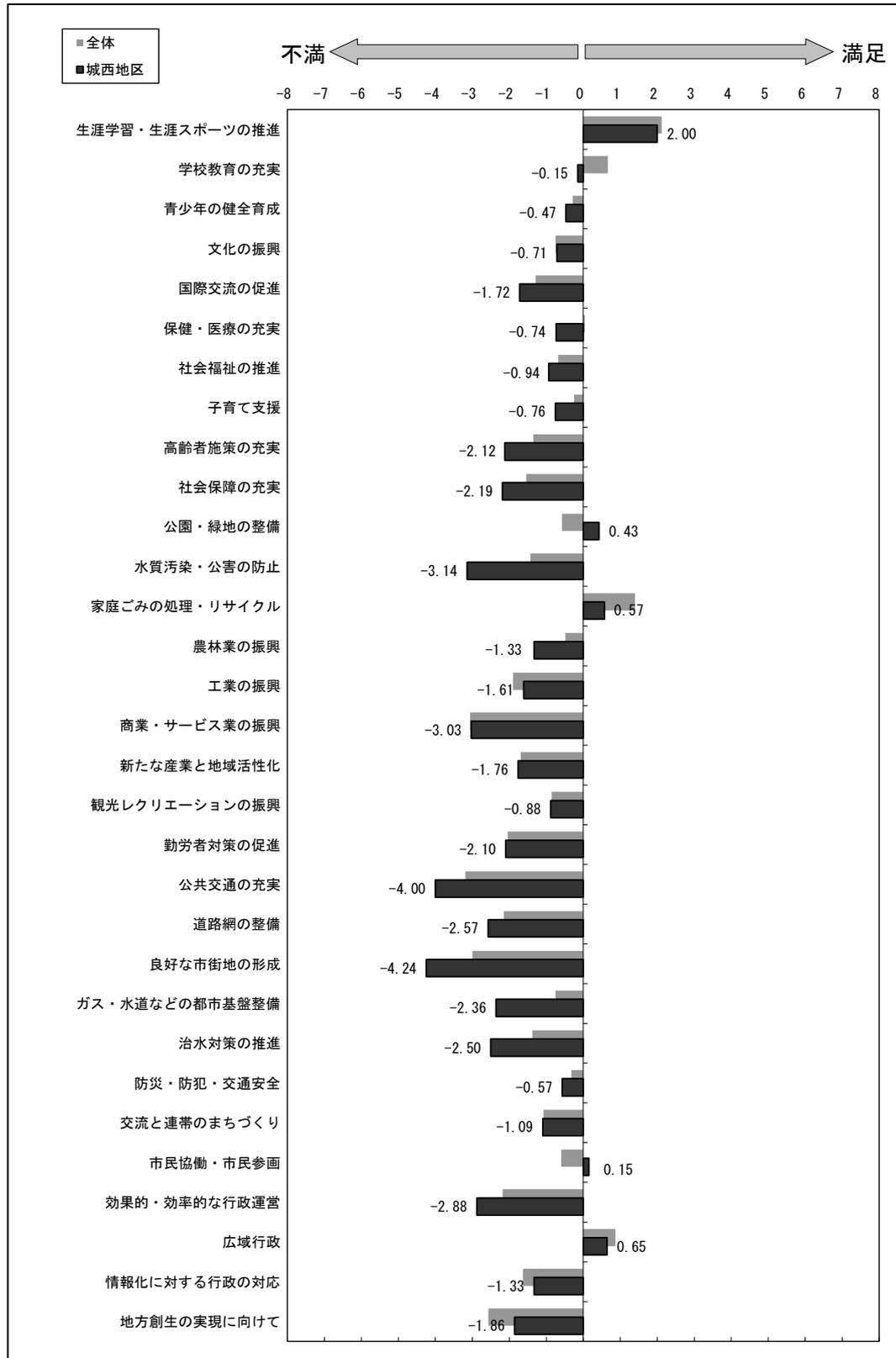
嶺南地区

(単位：評価点)



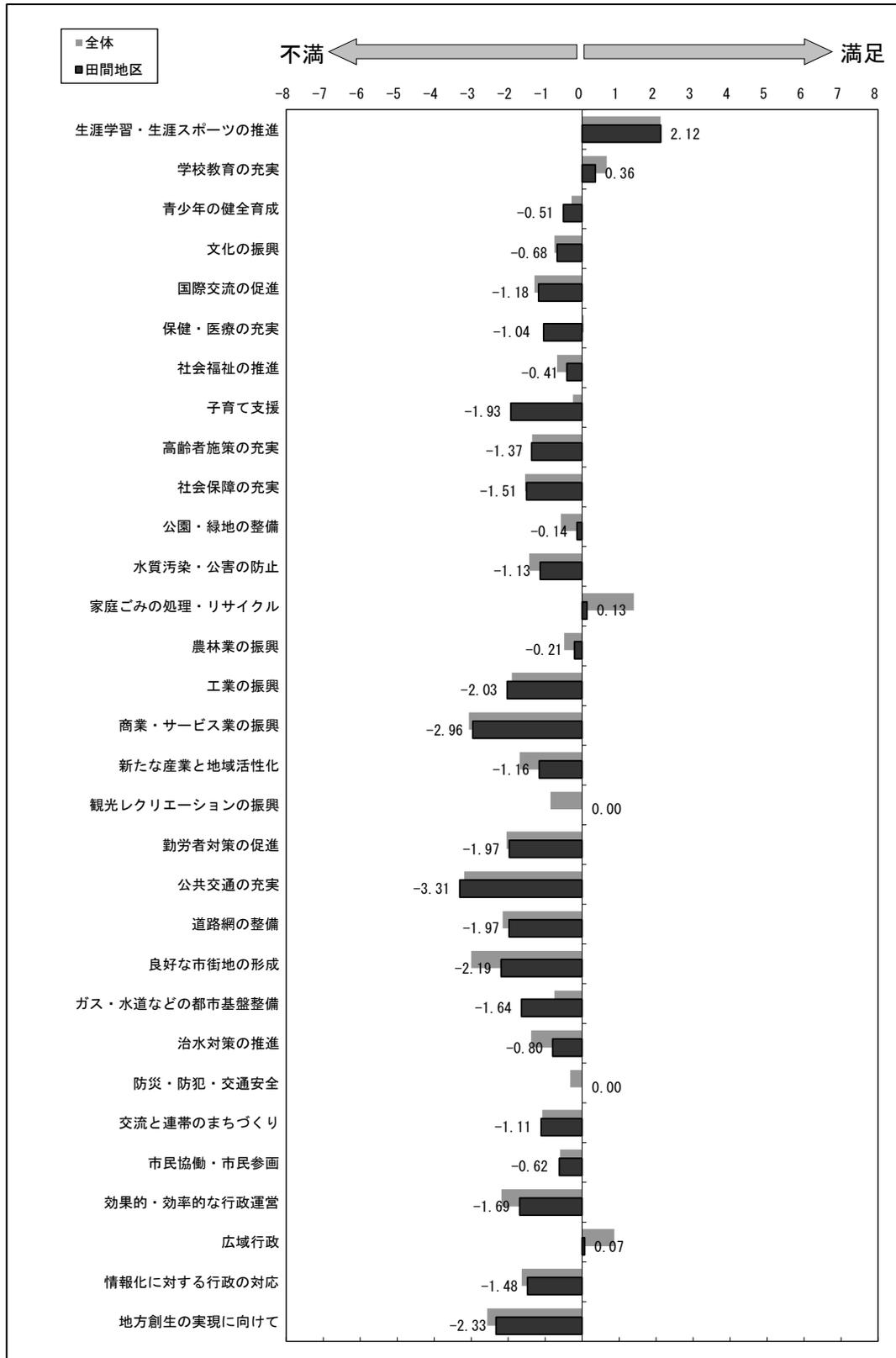
城西地区

(単位：評価点)



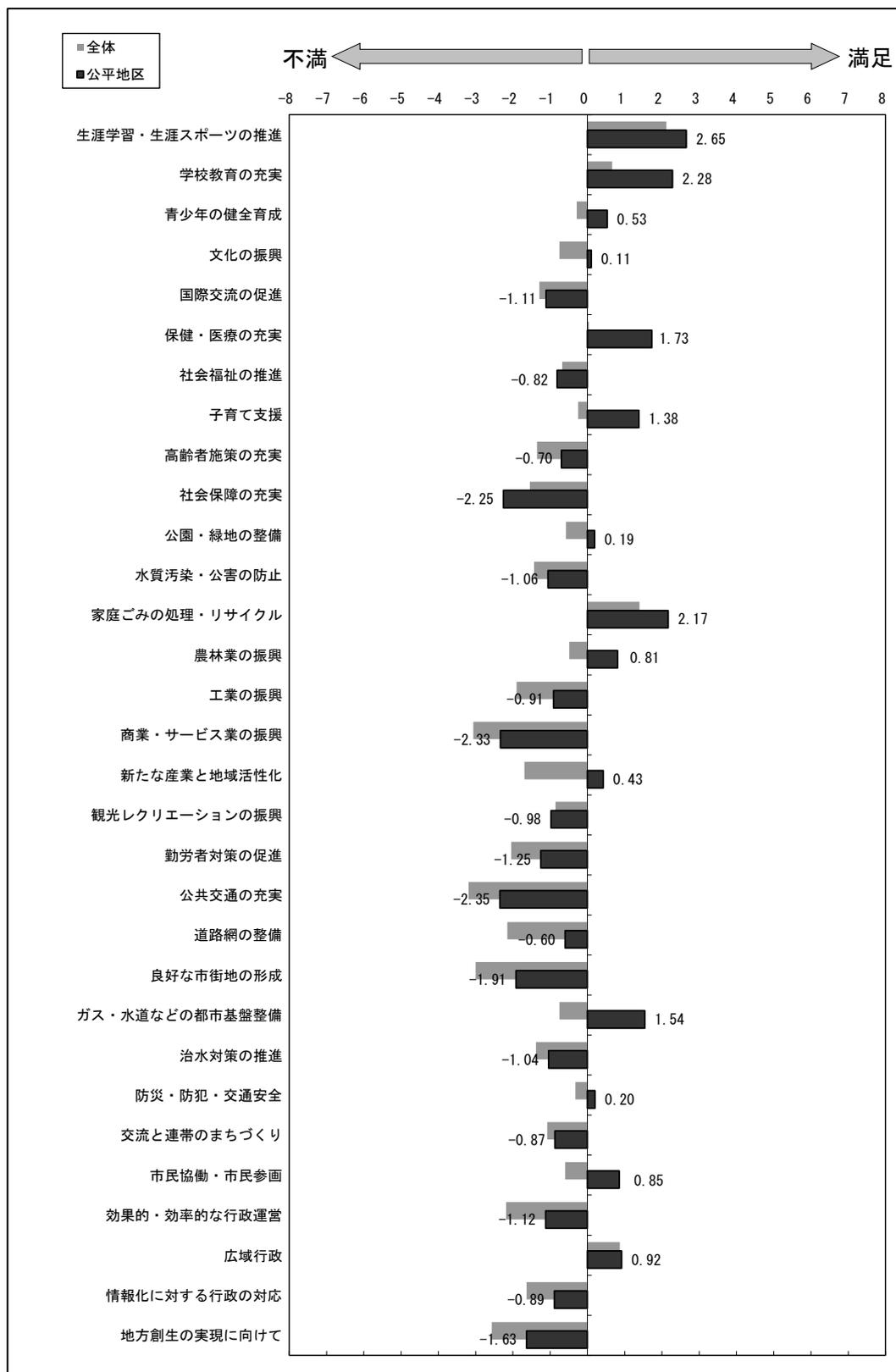
田間地区

(単位：評価点)



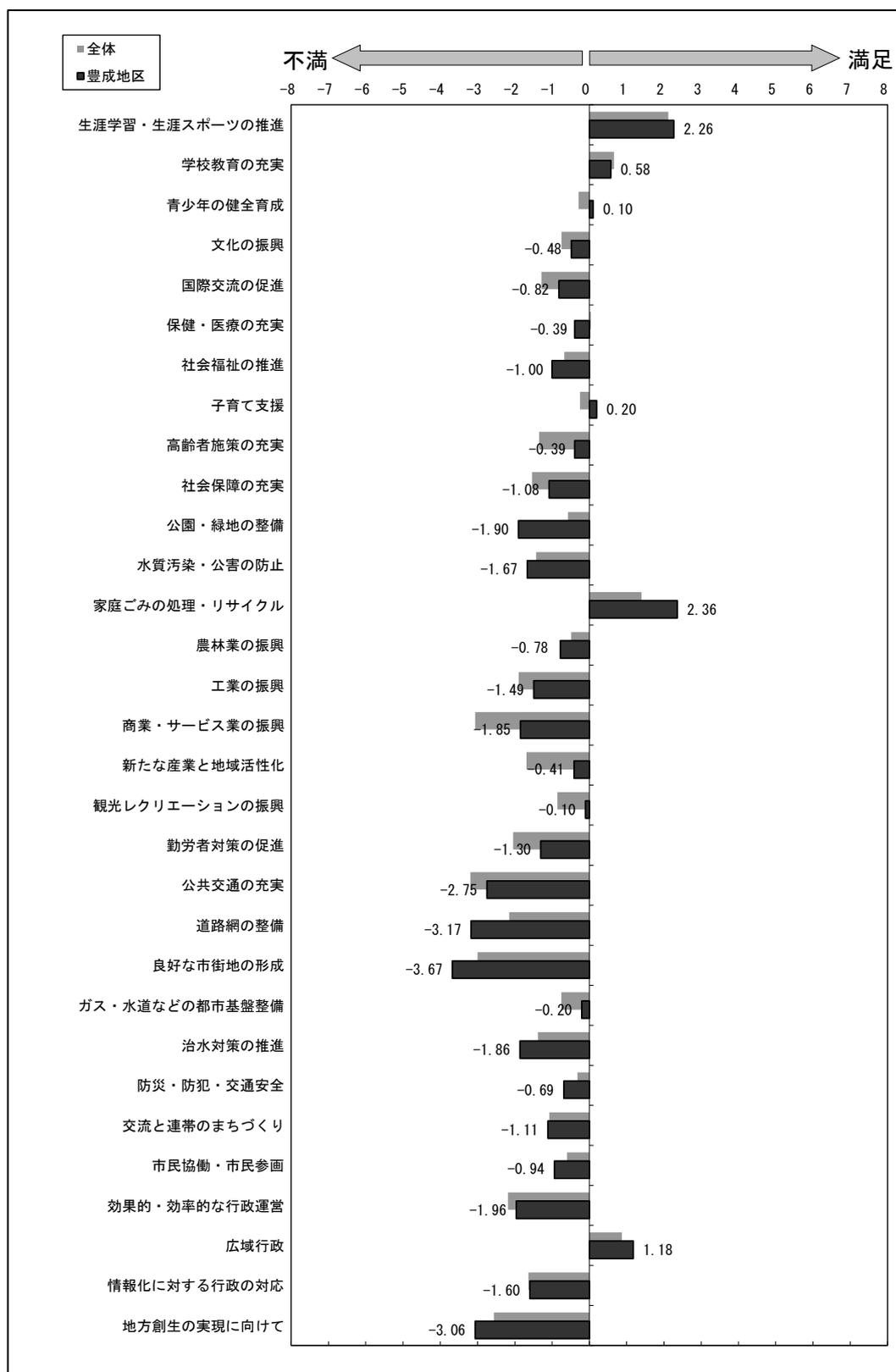
公平地区

(単位：評価点)



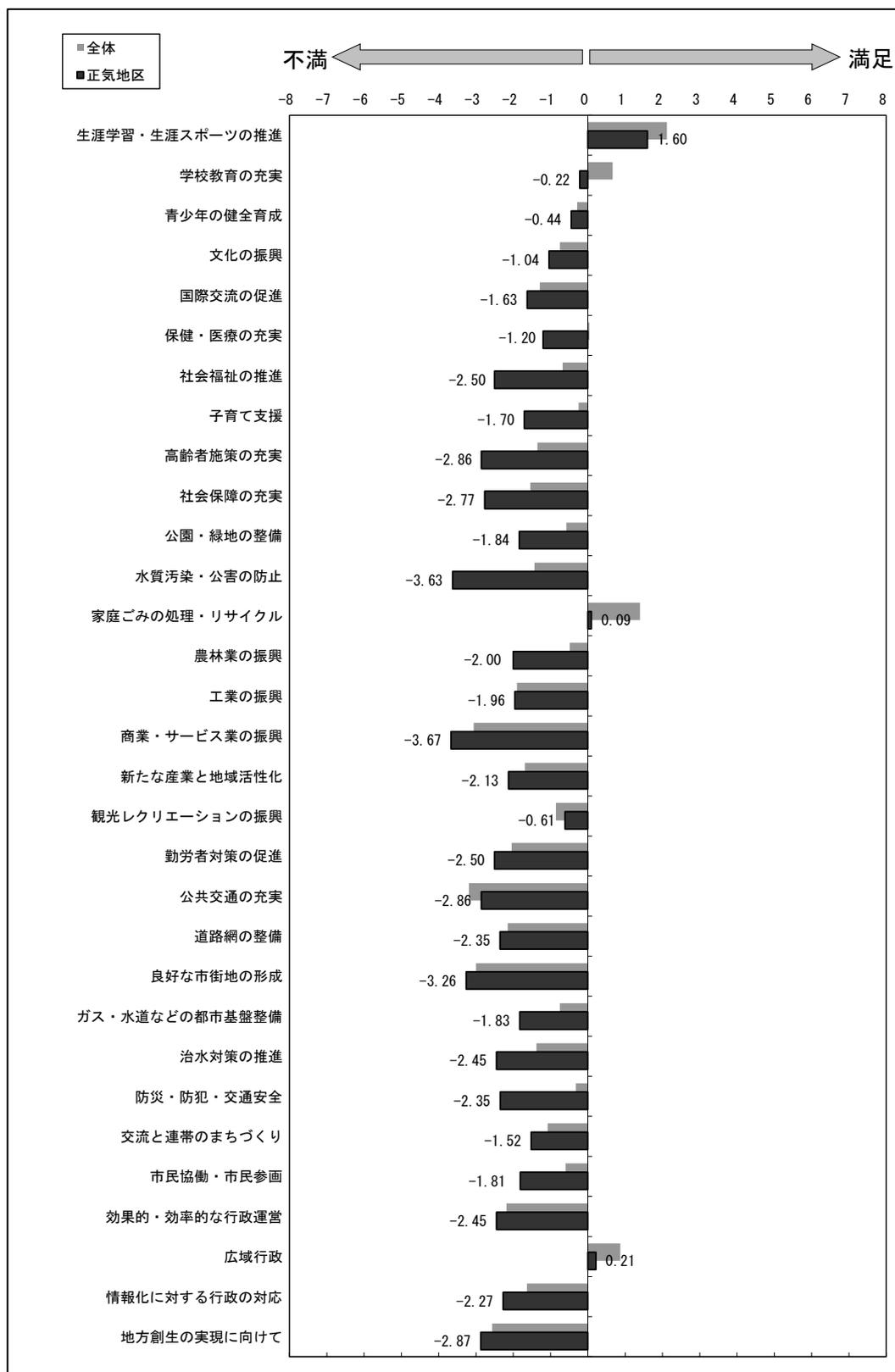
豊成地区

(単位：評価点)



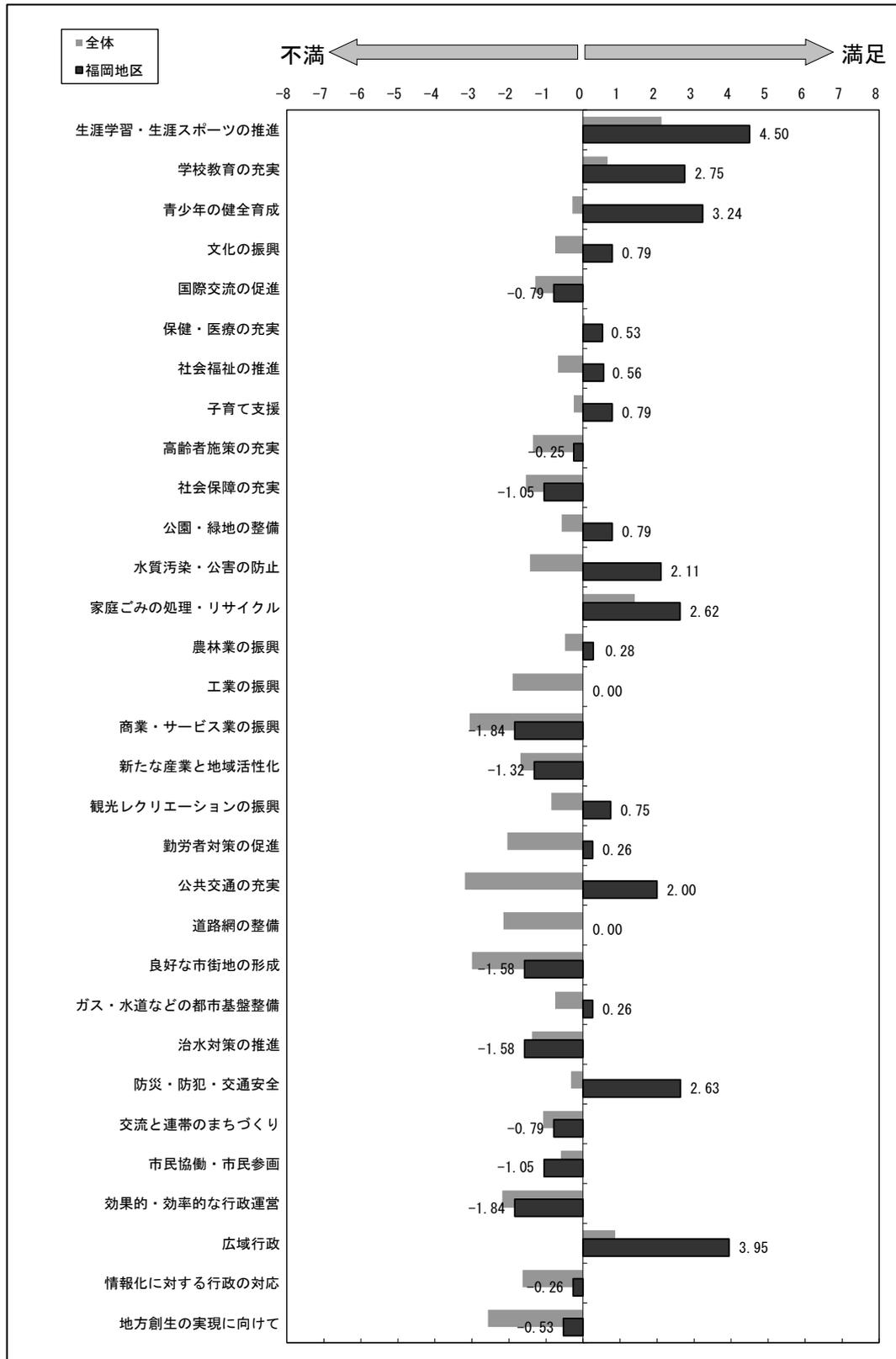
正気地区

(単位：評価点)



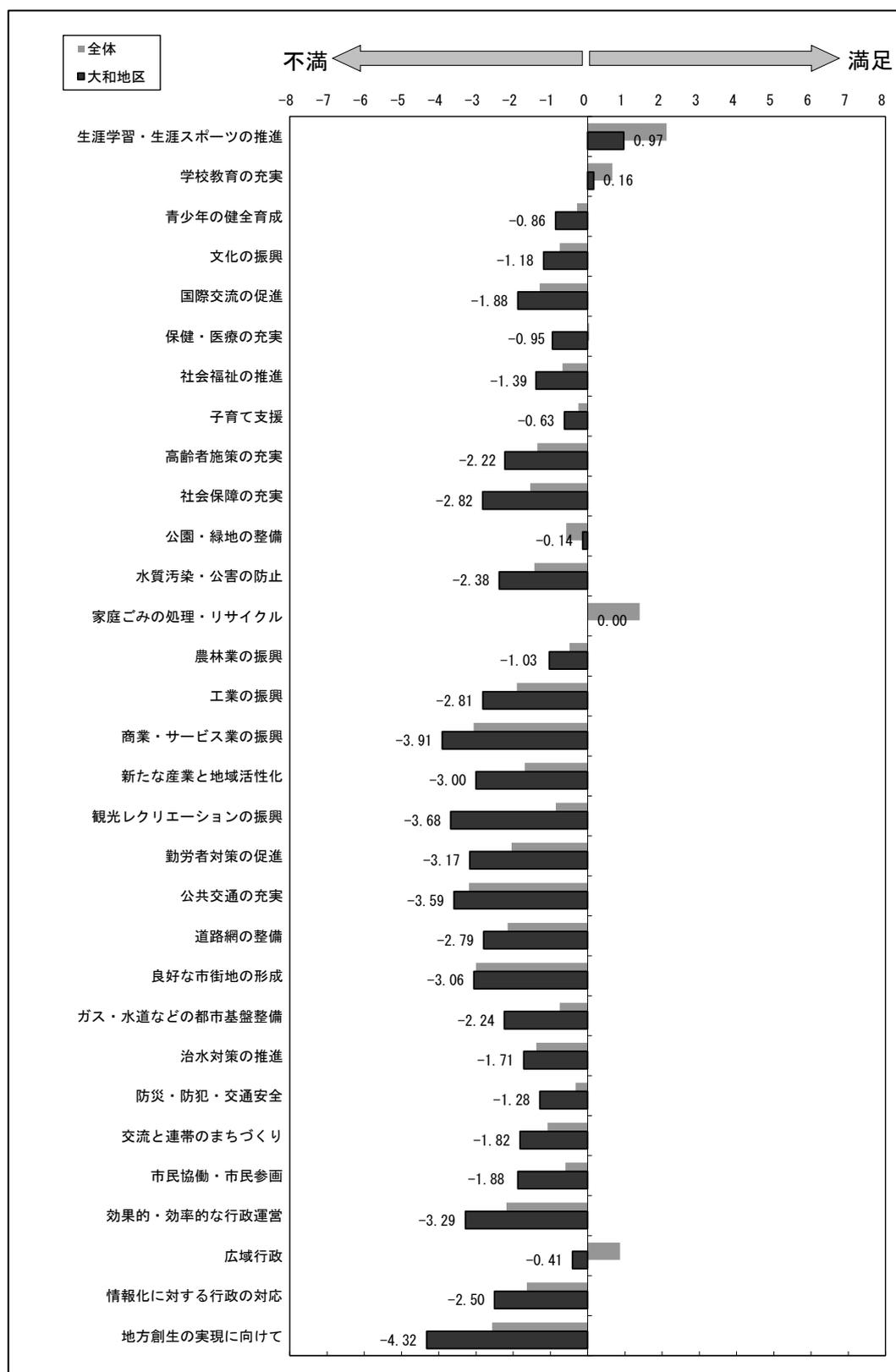
福岡地区

(単位：評価点)



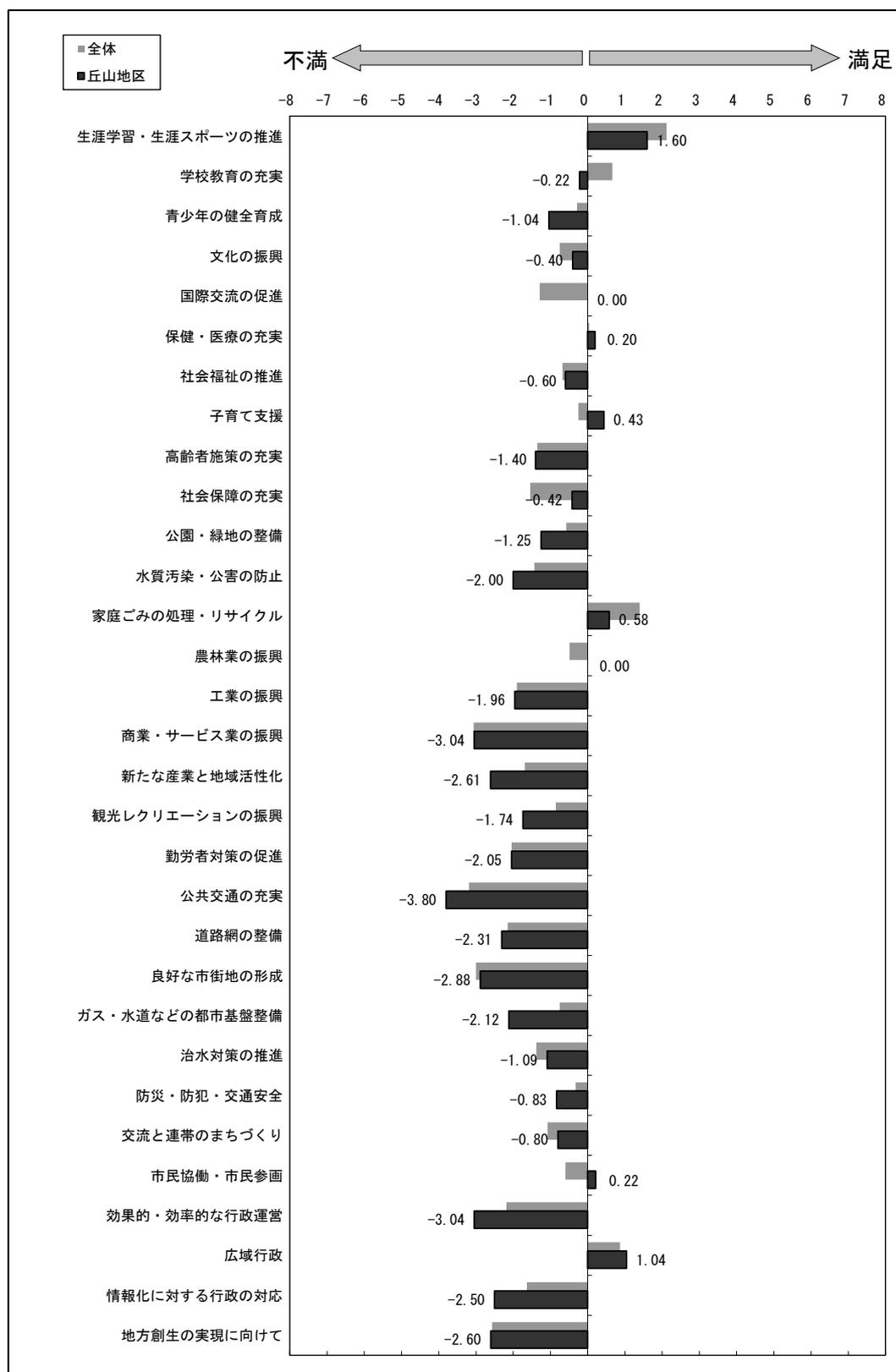
大和地区

(単位：評価点)



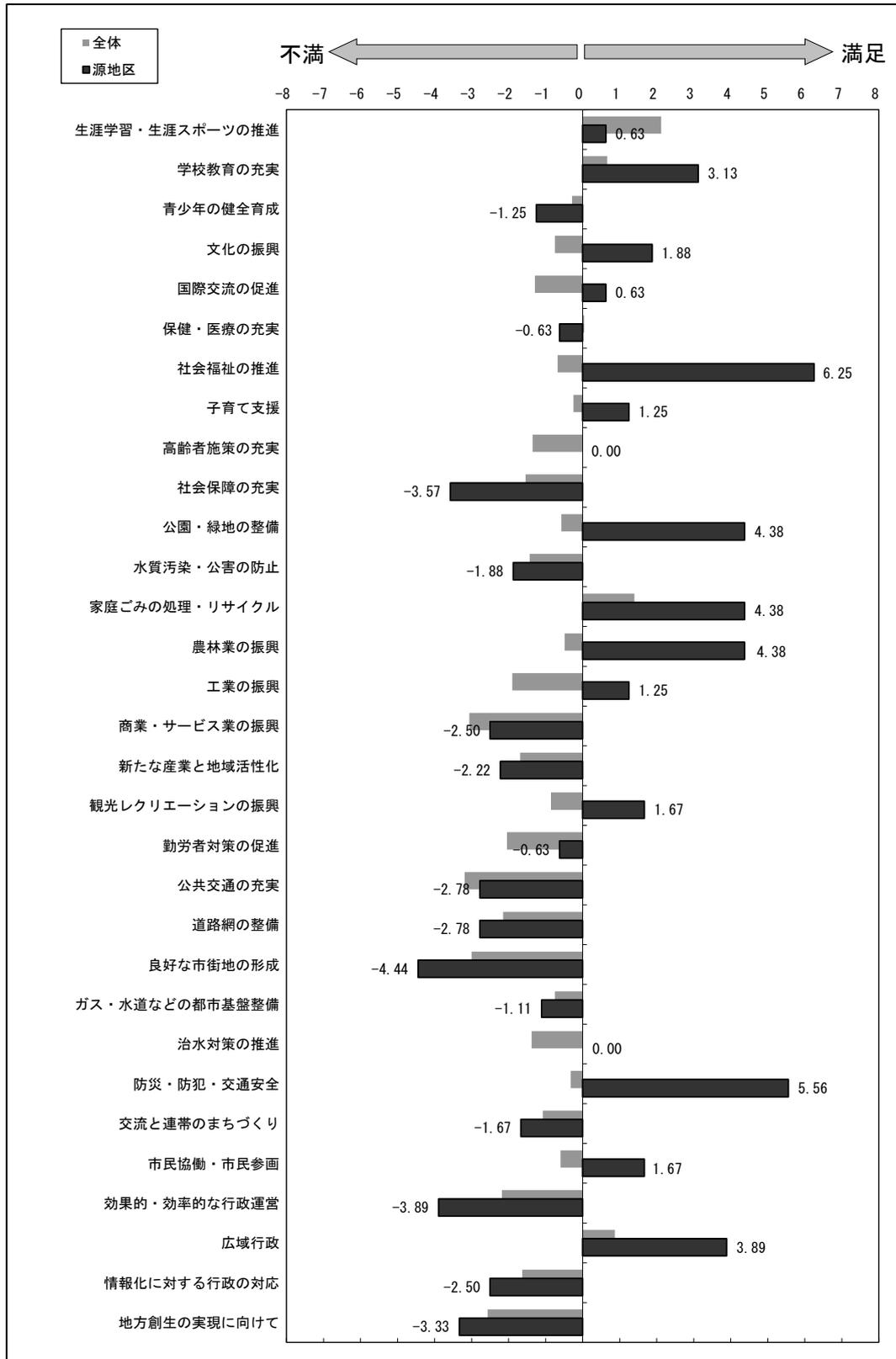
丘山地区

(単位：評価点)



源地区

(単位：評価点)



(2) まちの各環境に関する重要度

問 33 市の各分野の「現状の満足度」と「今後の重要度」をお聞きます。
(2) 今後の重要度



- 重要度評価が最も高い項目は「保健・医療の充実」。次いで「公共交通の充実」、「学校教育の充実」、「子育て支援」、「高齢者施策の充実」の順。

まちの各環境について、どの程度重視しているかを把握するため、満足度と同じ 31 項目について、「重要」、「やや重要」、「それほど重要でない」、「重要でない」の 4 段階で評価してもらい、その結果を加重平均値による数量化【後述参照】で評価点（重要度：最高点 10 点、最低点-10 点）を算出しました。

その結果、重要度評価が最も高い項目は、「保健・医療の充実」（10.89 点）となっており、次いで「公共交通の充実」（9.01 点）、「学校教育の充実」（8.93 点）と続き、以下、「子育て支援」（8.89 点）、「高齢者施策の充実」（8.57 点）などの順となっています。【図表 63 参照】

また、これを居住地区でみると、以下のとおりとなっています。

東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）

重要度の上位 5 項目は、第 1 位が「保健・医療の充実」（9.84 点）、第 2 位が「公共交通の充実」（8.47 点）、第 3 位が「子育て支援」（7.33 点）、第 4 位が「学校教育の充実」（7.30 点）、第 5 位が「家庭ごみの処理・リサイクル」（7.05 点）の順となっています。【図表 64 参照】

東金地区（日吉台・八坂台）

重要度の上位 5 項目は、第 1 位が「保健・医療の充実」（12.68 点）、第 2 位が「公共交通の充実」（11.88 点）、第 3 位が「子育て支援」（10.95 点）、第 4 位が「学校教育の充実」（10.13 点）、第 5 位が「高齢者施策の充実」（9.88 点）の順となっています。【図表 64 参照】

嶺南地区

重要度の上位 5 項目は、第 1 位が「保健・医療の充実」（11.61 点）、第 2 位が「高齢者施策の充実」（10.16 点）、第 3 位が「学校教育の充実」（9.27 点）、第 4 位が「家庭ごみの処理・リサイクル」（9.19 点）、第 5 位が「社会保障の充実」（8.92 点）の順となっています。【図表 64 参照】

城西地区

重要度の上位 5 項目は、第 1 位が「子育て支援」（9.41 点）、第 2 位が「保健・医療の

充実」(9.29点)、第3位が「家庭ごみの処理・リサイクル」(9.03点)、第4位が「水質汚染・公害の防止」(9.00点)、第5位が「道路網の整備」(8.89点)の順となっています。

[図表 64 参照]

田間地区

重要度の上位5項目は、第1位が「保健・医療の充実」(11.22点)、第2位が「公共交通の充実」(10.13点)、第3位が「学校教育の充実」及び「ガス・水道などの都市基盤整備」(同点9.01点)、第5位が「子育て支援」(8.80点)の順となっています。[図表 64 参照]

公平地区

重要度の上位5項目は、第1位が「学校教育の充実」(10.00点)、第2位が「保健・医療の充実」及び「防災・防犯・交通安全」(同点9.90点)、第4位が「子育て支援」(8.83点)、第5位が「水質汚染・公害の防止」(8.75点)の順となっています。[図表 64 参照]

豊成地区

重要度の上位5項目は、第1位が「水質汚染・公害の防止」(9.90点)、第2位が「家庭ごみの処理・リサイクル」(8.82点)、第3位が「学校教育の充実」及び「子育て支援」(同点8.67点)、第5位が「保健・医療の充実」(8.57点)の順となっています。[図表 64 参照]

正気地区

重要度の上位5項目は、第1位が「保健・医療の充実」(12.35点)、第2位が「水質汚染・公害の防止」(9.61点)、第3位が「学校教育の充実」(9.36点)、第4位が「家庭ごみの処理・リサイクル」及び「ガス・水道などの都市基盤整備」(同点8.85点)の順となっています。[図表 64 参照]

福岡地区

重要度の上位5項目は、第1位が「保健・医療の充実」(13.50点)、第2位が「家庭ごみの処理・リサイクル」(11.00点)、第3位が「社会福祉の推進」(10.79点)、第4位が「社会保障の充実」(10.71点)、第5位が「子育て支援」及び「公共交通の充実」(同点9.50点)の順となっています。[図表 64 参照]

大和地区

重要度の上位5項目は、第1位が「保健・医療の充実」(11.15点)、第2位が「高齢者施策の充実」(10.38点)、第3位が「学校教育の充実」(10.15点)、第4位が「子育て支援」(10.00点)、第5位が「社会保障の充実」(9.76点)の順となっています。[図表 64

参照]

丘山地区

重要度の上位5項目は、第1位が「保健・医療の充実」(11.67点)、第2位が「学校教育の充実」(8.96点)、第3位が「ガス・水道などの都市基盤整備」(8.89点)、第4位が「高齢者施策の充実」(8.70点)、第5位が「社会保障の充実」(8.65点)の順となっています。[図表 64 参照]

源地区

重要度の上位5項目は、第1位が「家庭ごみの処理・リサイクル」(13.13点)、第2位が「公共交通の充実」及び「ガス・水道などの都市基盤整備」(同点11.67点)、第4位が「社会保障の充実」(10.71点)、第5位が「広域行政」(10.00点)の順となっています。[図表 64 参照]

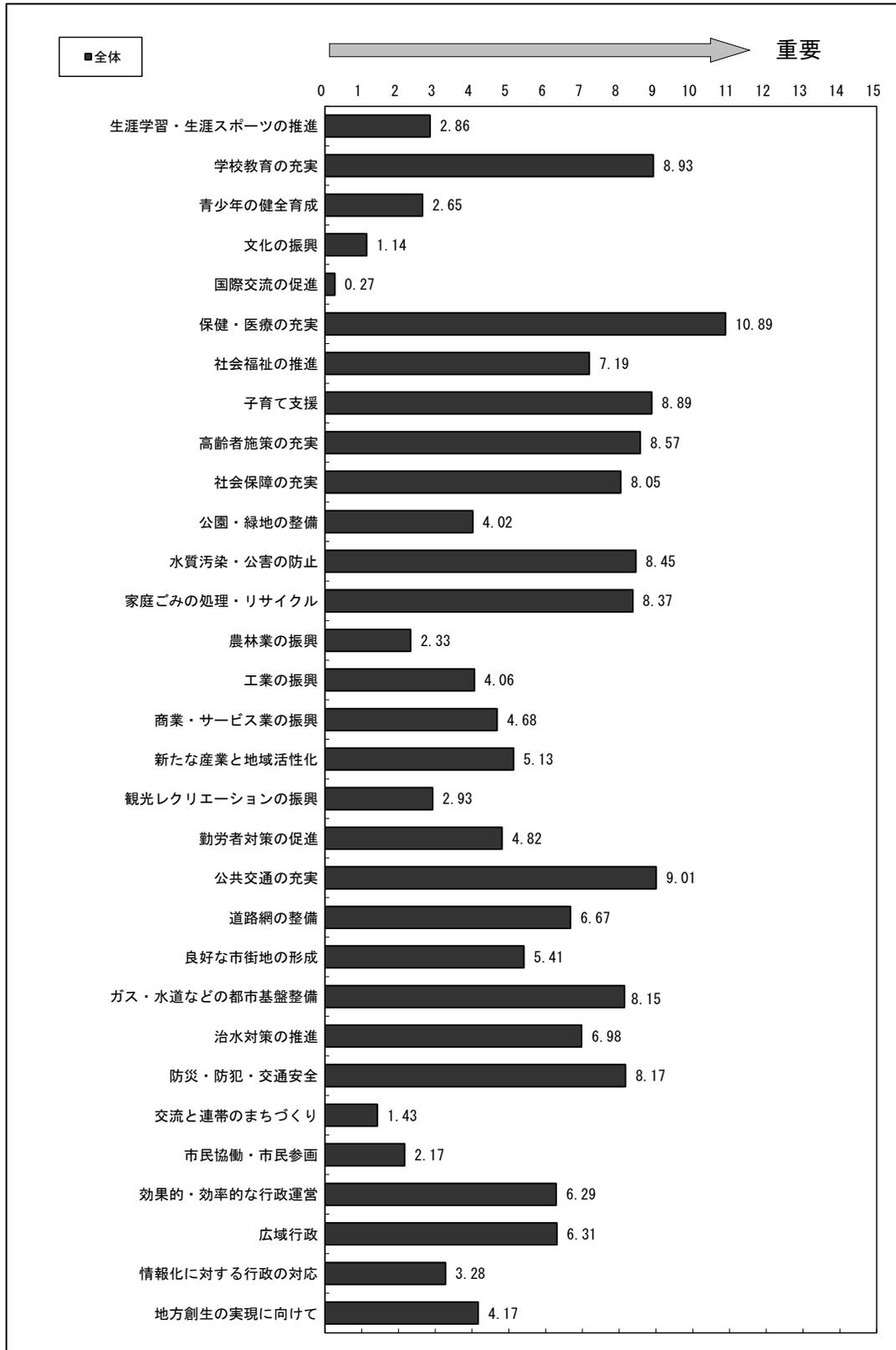
※加重平均値による評価点(重要度)の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(重要度)を算出する。

$$\text{評価点} = \left(\begin{array}{l} \text{「重要」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや重要」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「それほど重要でない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重要でない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right) \div \left(\begin{array}{l} \text{「重要」、「やや重要」、} \\ \text{「それほど重要でない」、} \\ \text{「重要でない」の} \\ \text{回答者数} \end{array} \right)$$

図表 63 まちの各環境に関する重要度（全体）

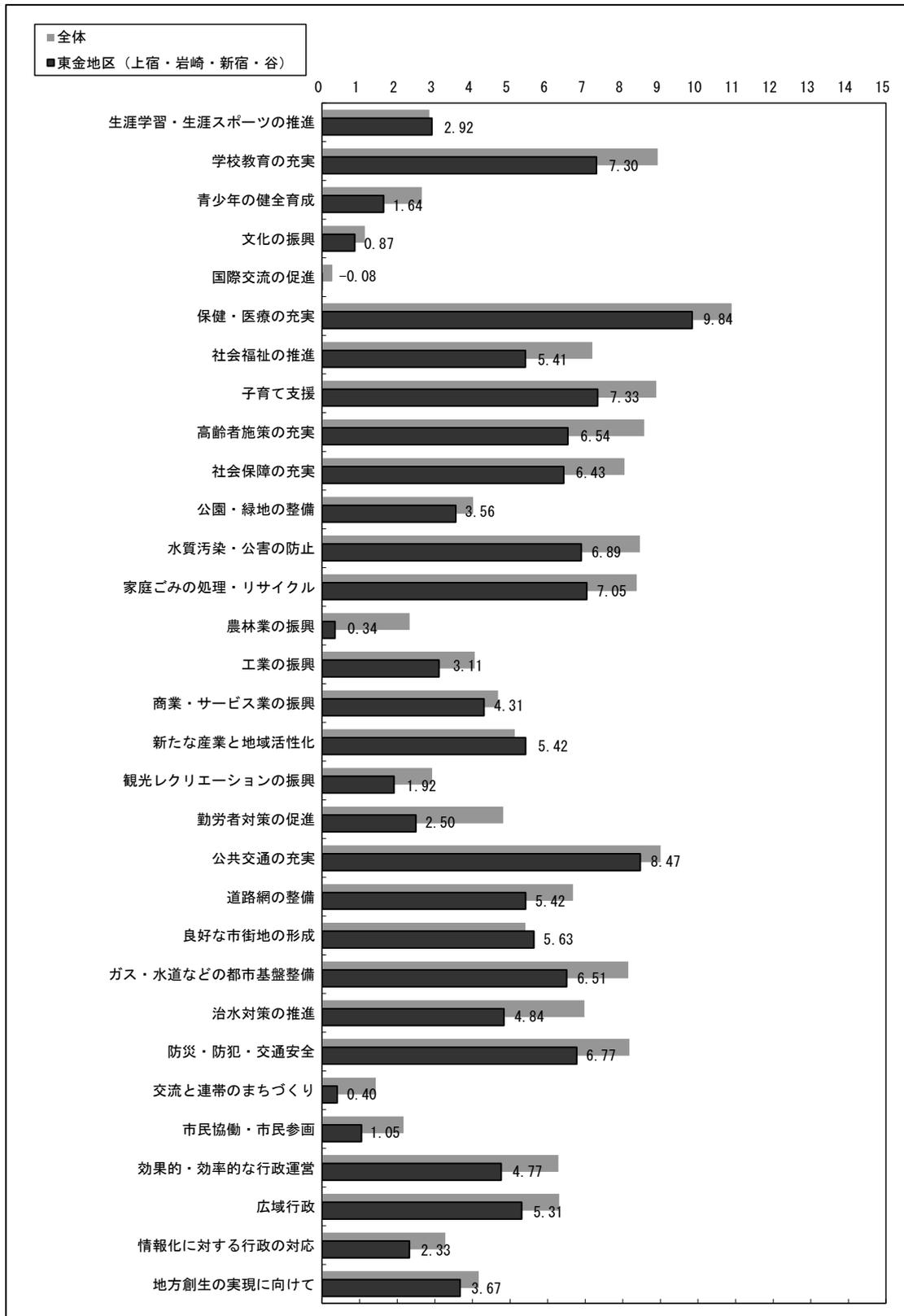
（単位：評価点）



図表 64 まちの各環境に関する重要度（居住地区）

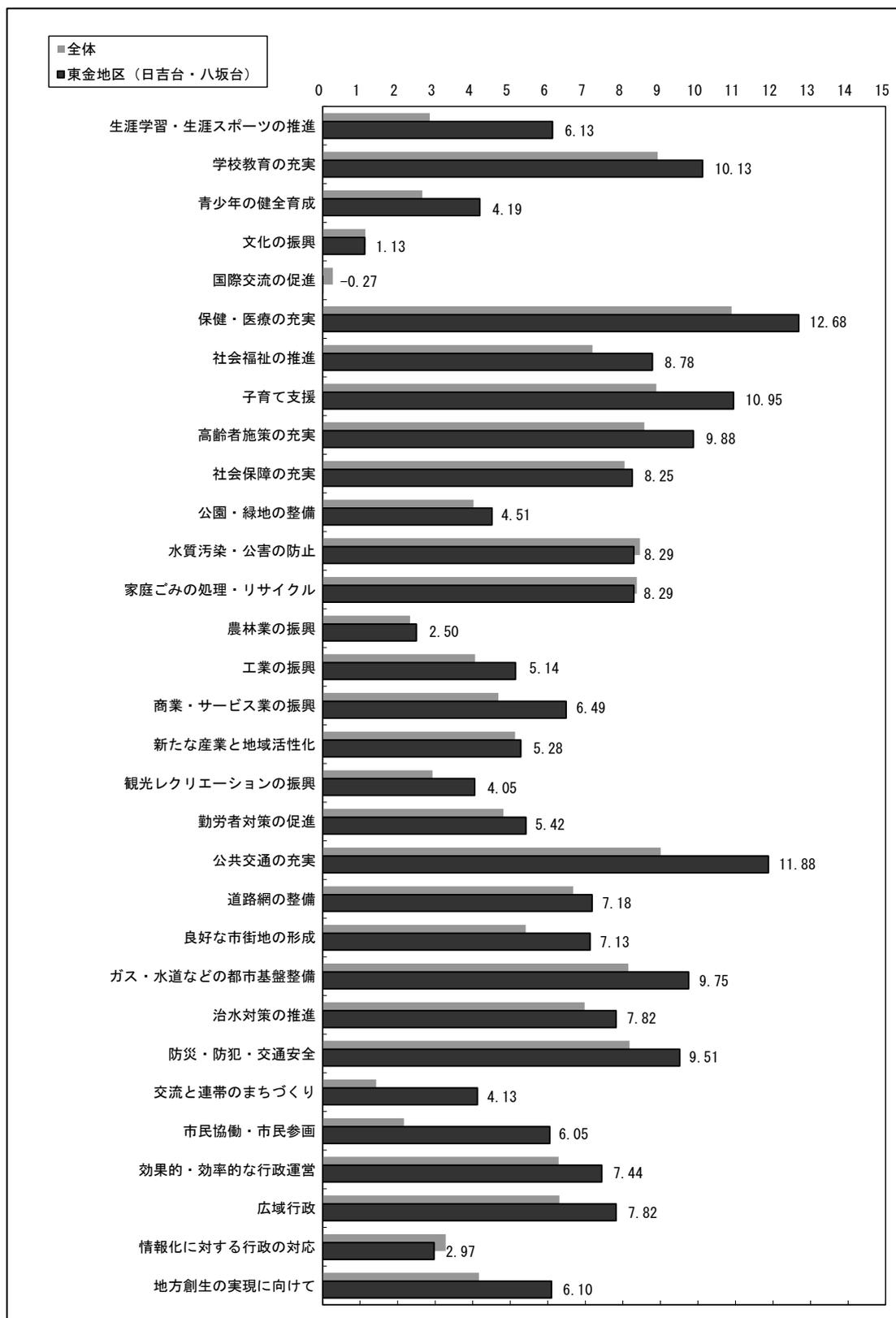
東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）

（単位：評価点）



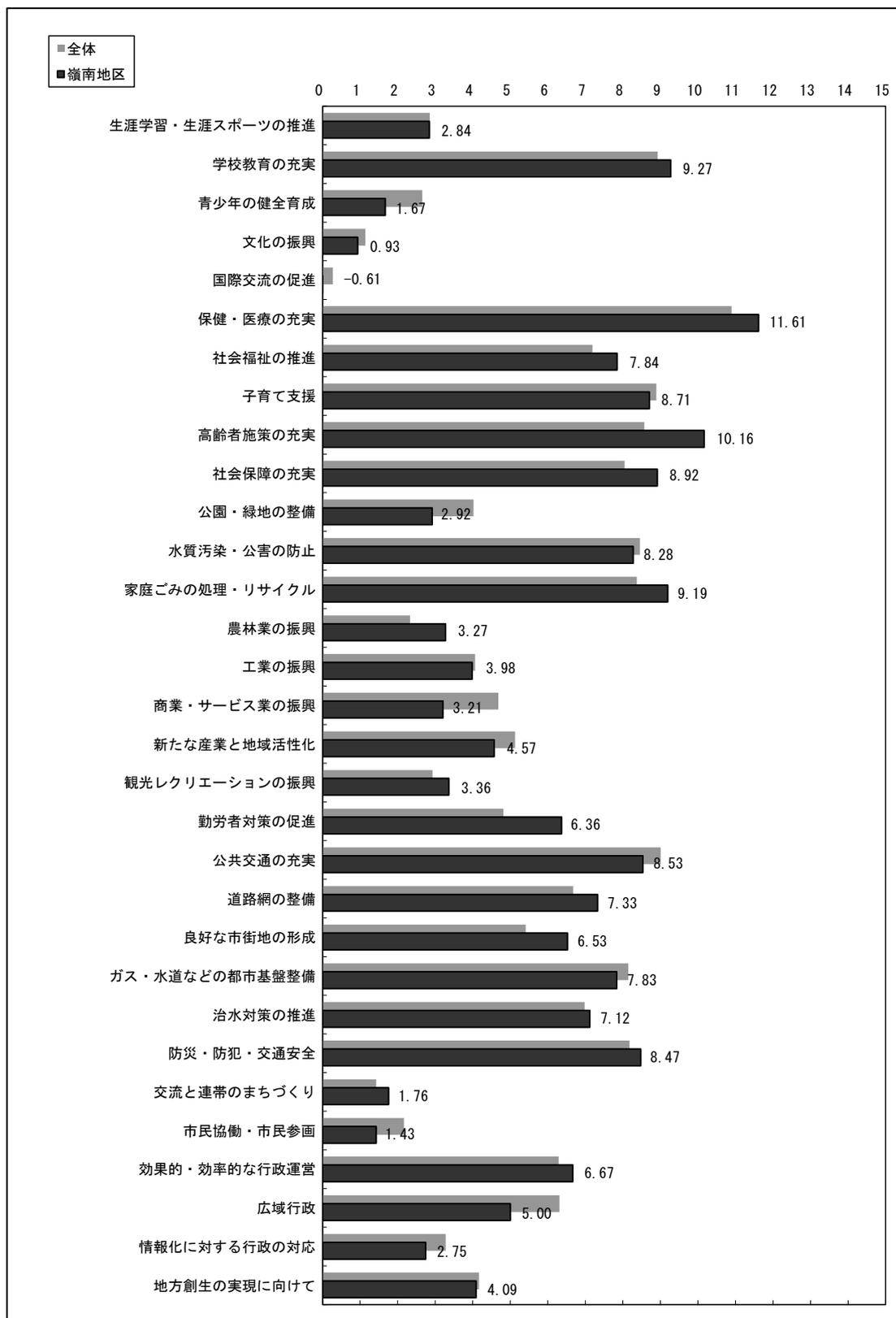
東金地区（日吉台・八坂台）

（単位：評価点）



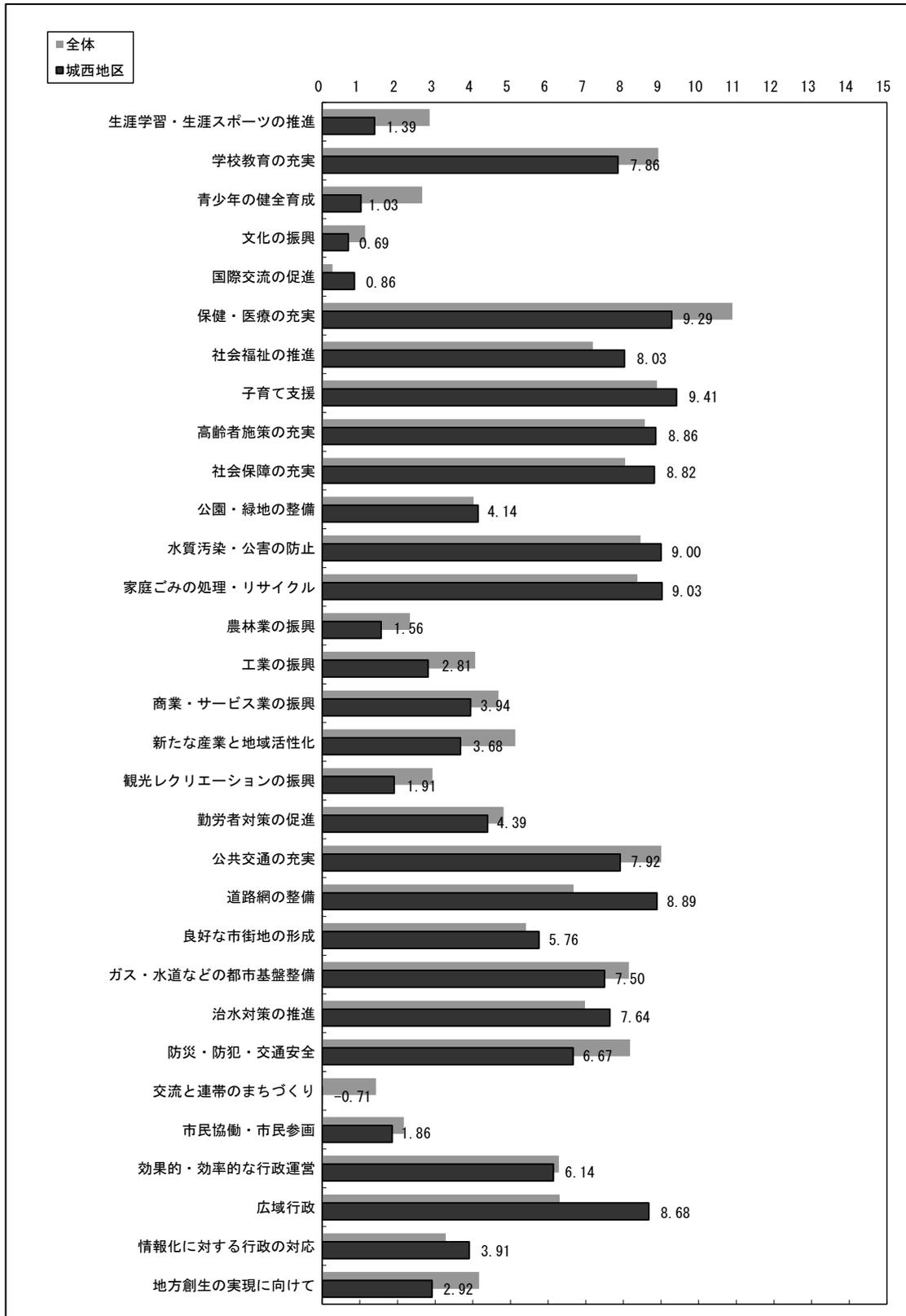
嶺南地区

(単位：評価点)



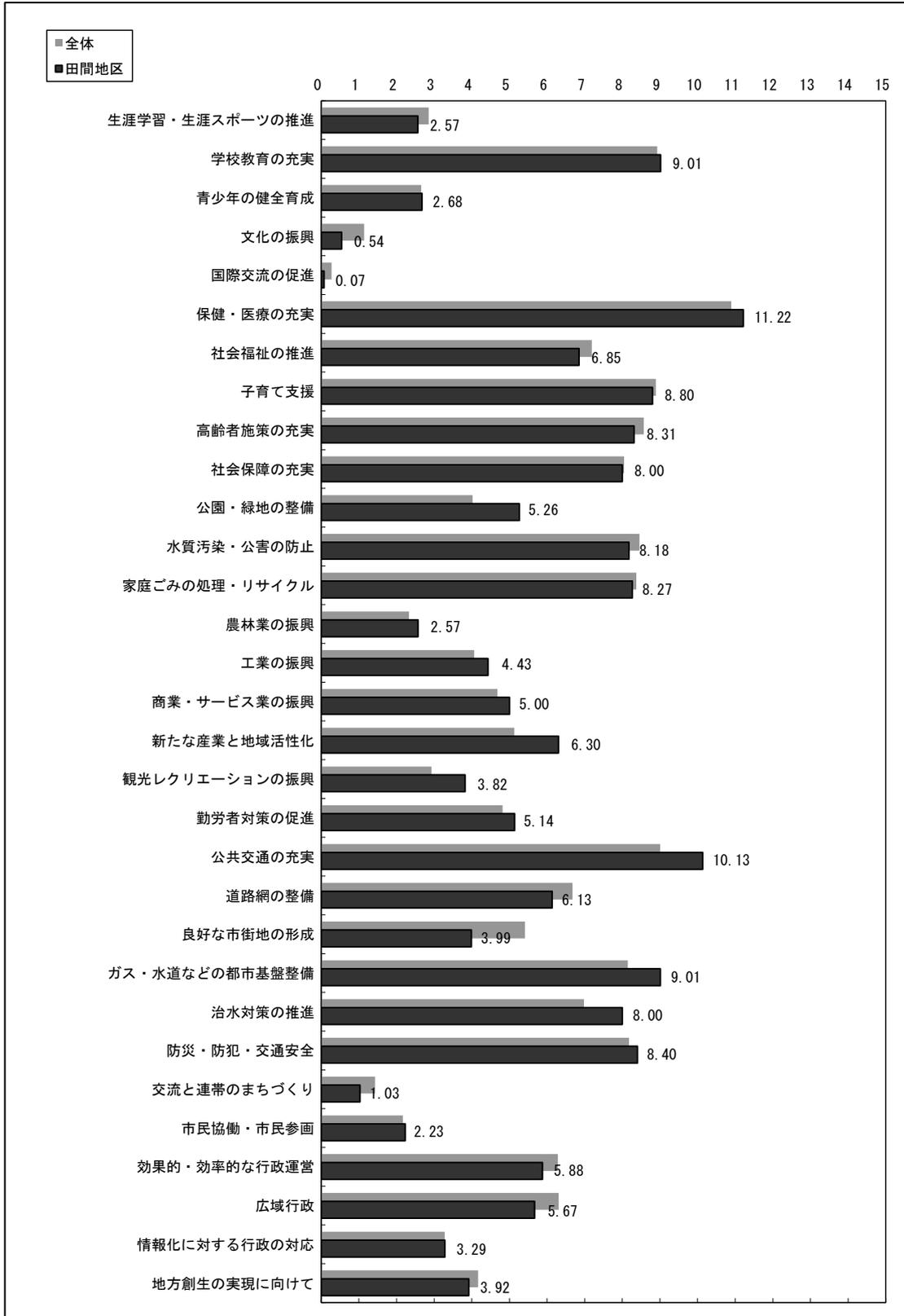
城西地区

(単位：評価点)



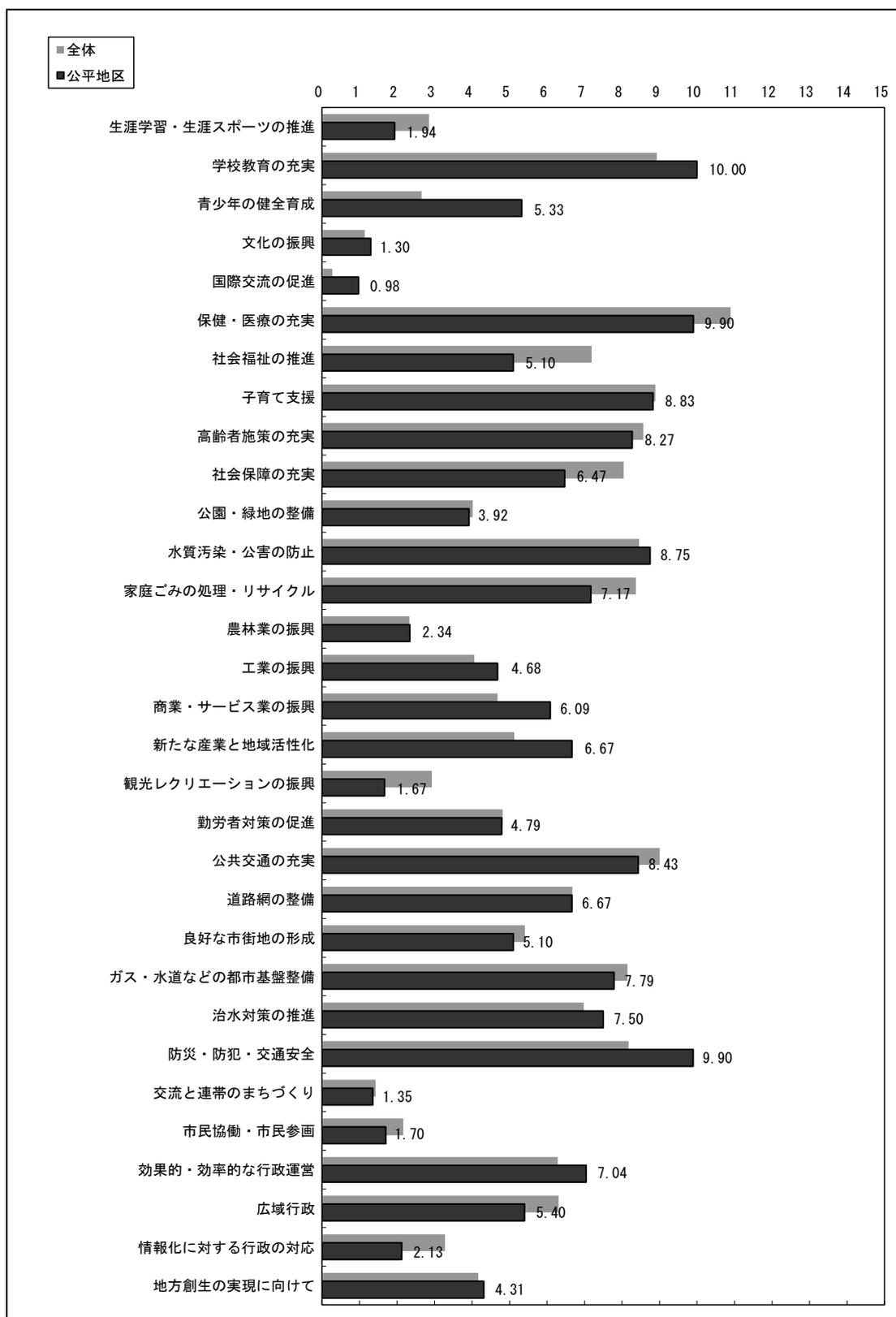
田間地区

(単位：評価点)



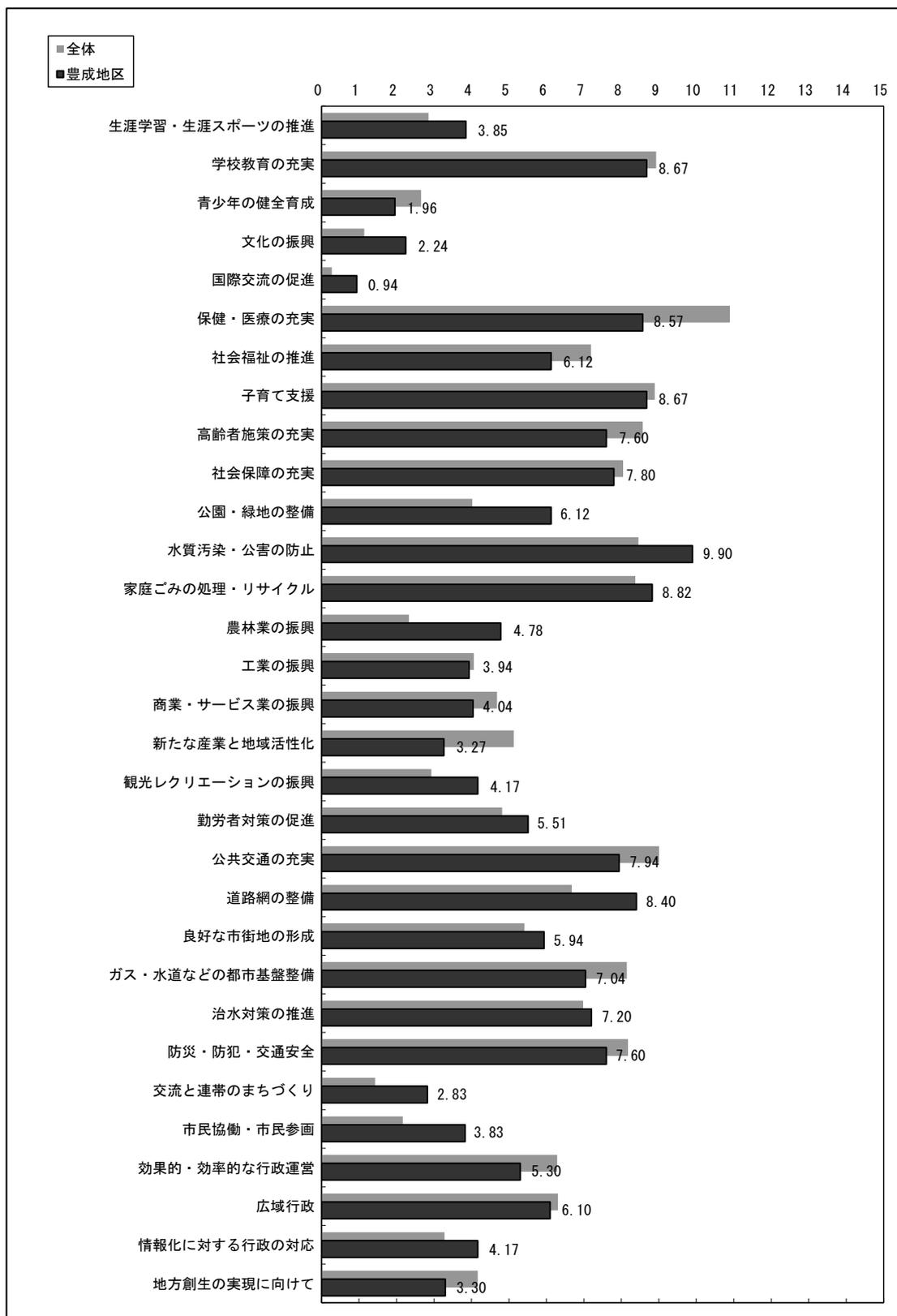
公平地区

(単位：評価点)



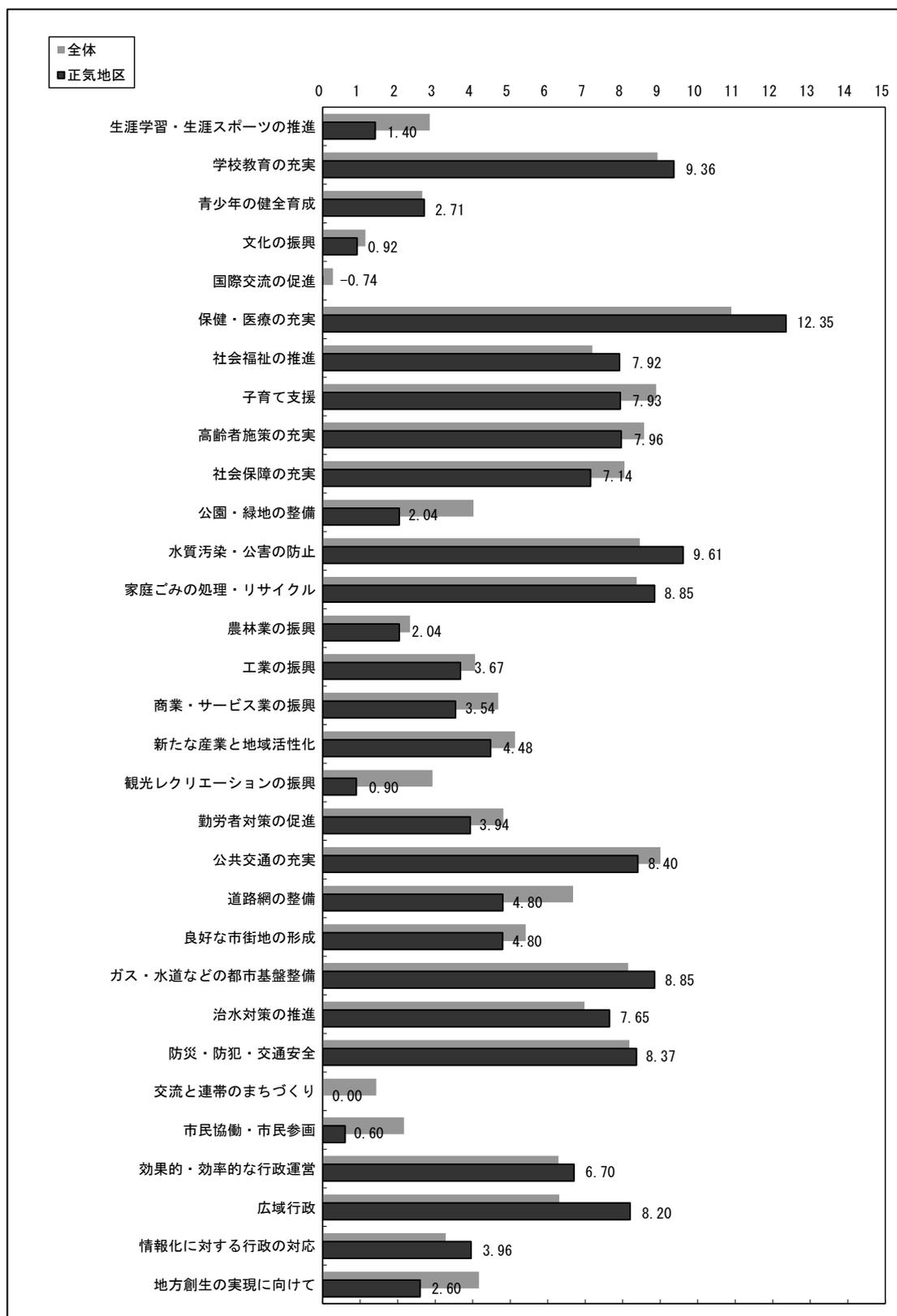
豊成地区

(単位：評価点)



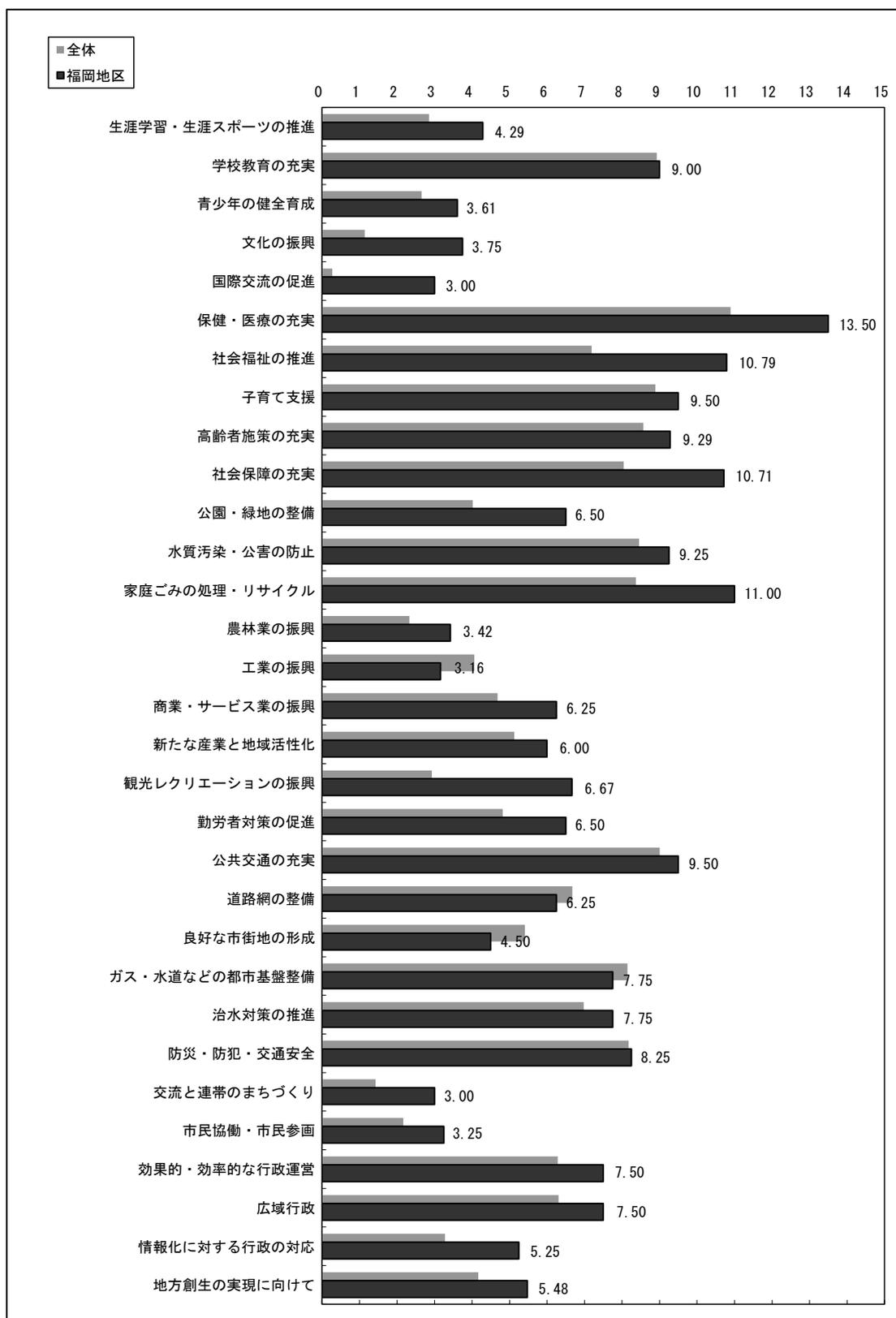
正気地区

(単位：評価点)



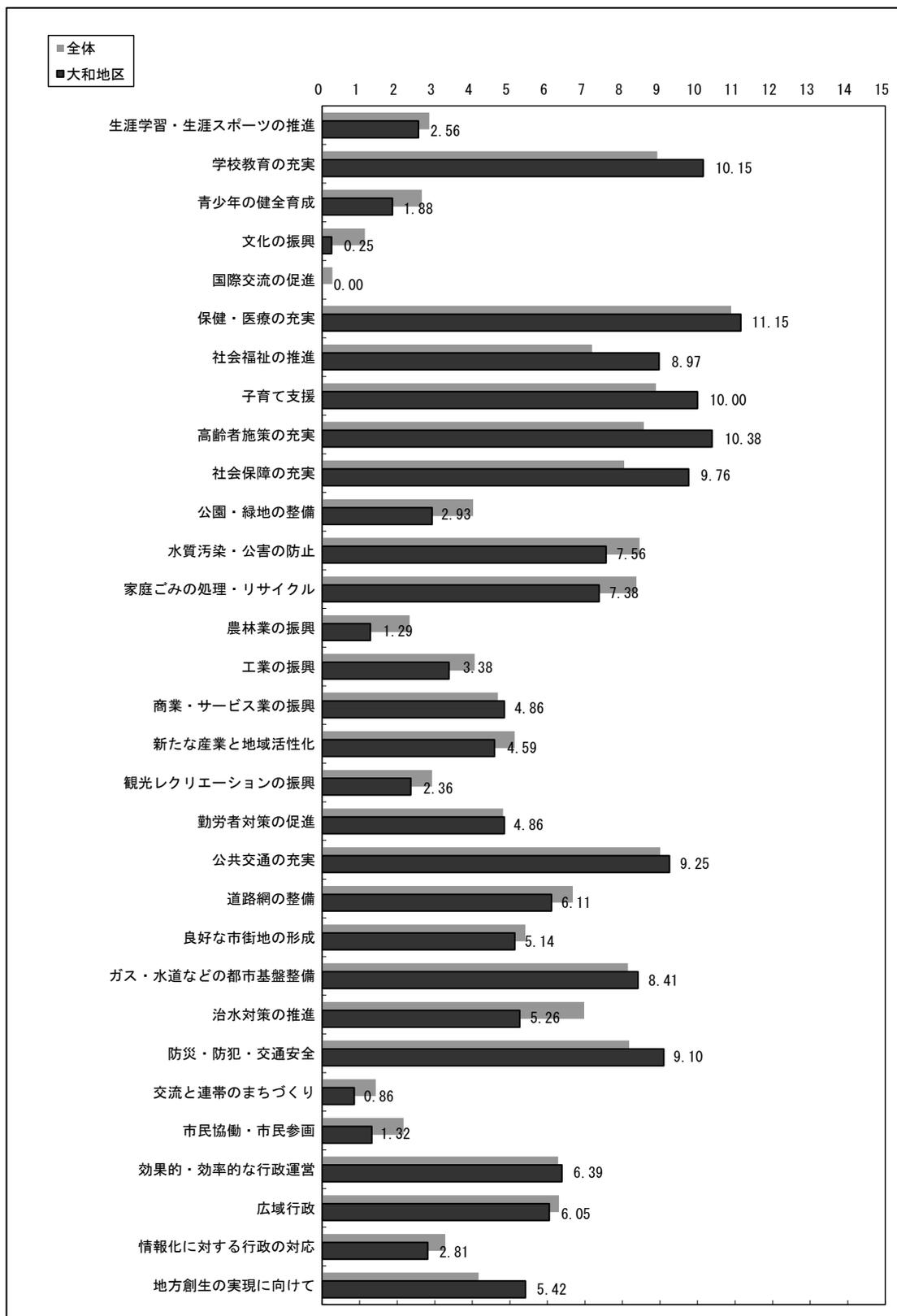
福岡地区

(単位：評価点)



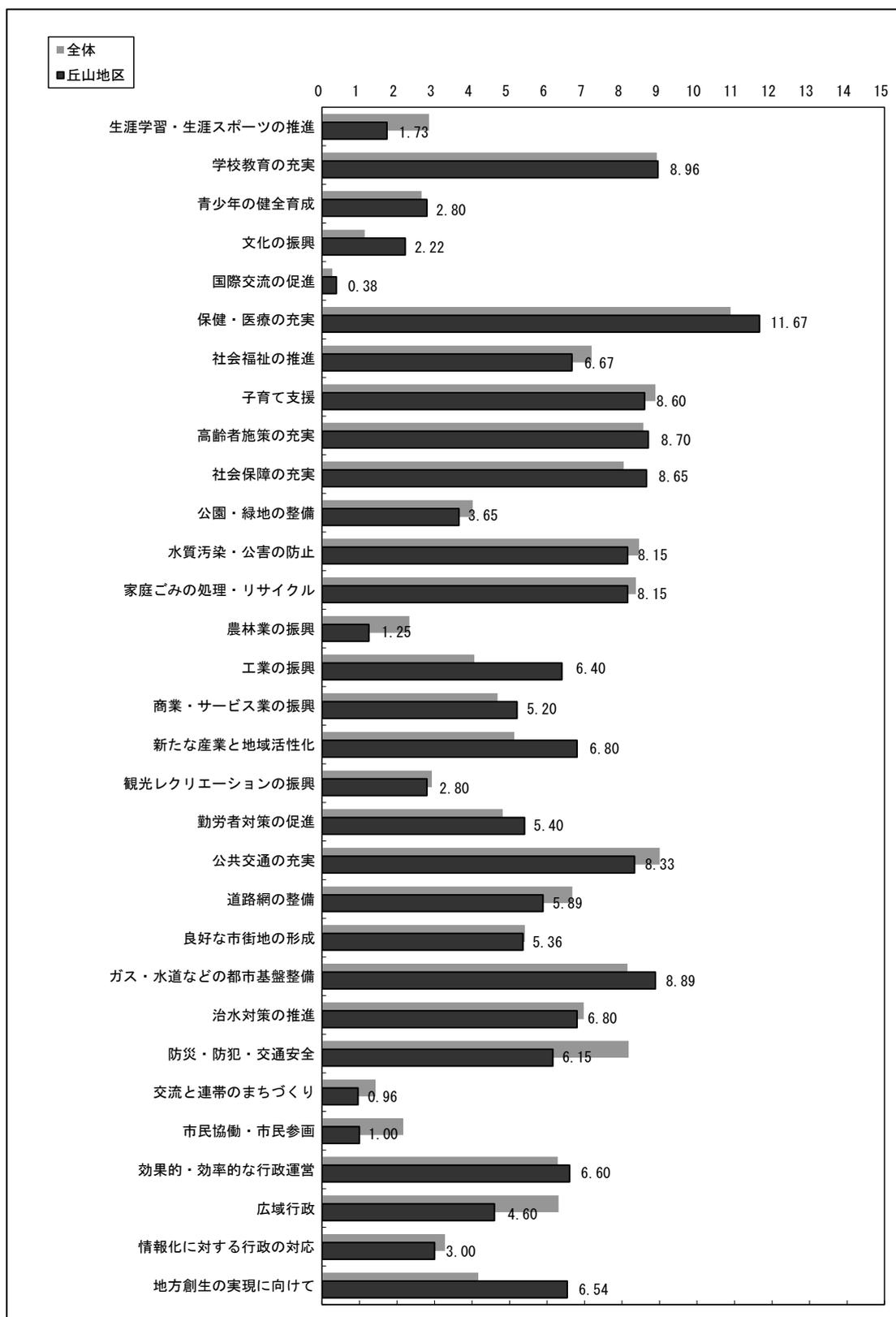
大和地区

(単位：評価点)



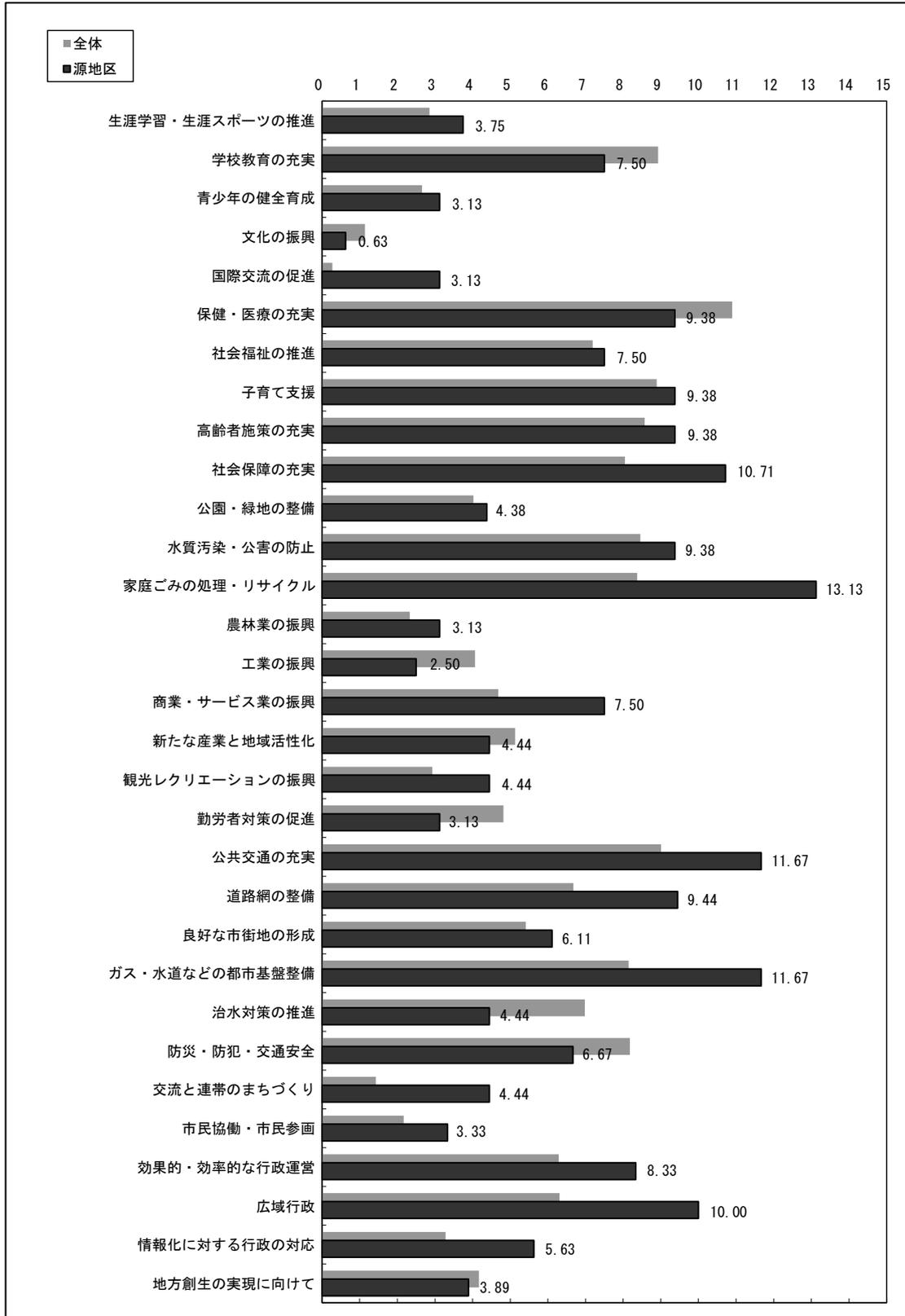
丘山地区

(単位：評価点)



源地区

(単位：評価点)



(3) 満足度と重要度の相関（優先度）

● 優先度が最も高い項目は「公共交通の充実」。次いで「社会保障の充実」、「良好な市街地の形成」、「道路網の整備」、「水質汚染・公害の防止」の順。

これまでみてきた満足度と重要度から、さらに市の現状評価や行政ニーズを把握するため、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。この散布図による数量化〔後述参照〕による分析で優先度（評価点：最高点 42.43 点、中間点 0 点、最低点 -42.43 点）を算出しました。

この結果をみると、優先度は、「公共交通の充実」（18.92 点）が第 1 位となっており、次いで「社会保障の充実」（7.55 点）、「良好な市街地の形成」（7.53 点）と続き、以下、「道路網の整備」（7.50 点）、「水質汚染・公害の防止」（7.45 点）の順となっています。

〔図表 65・66 参照〕

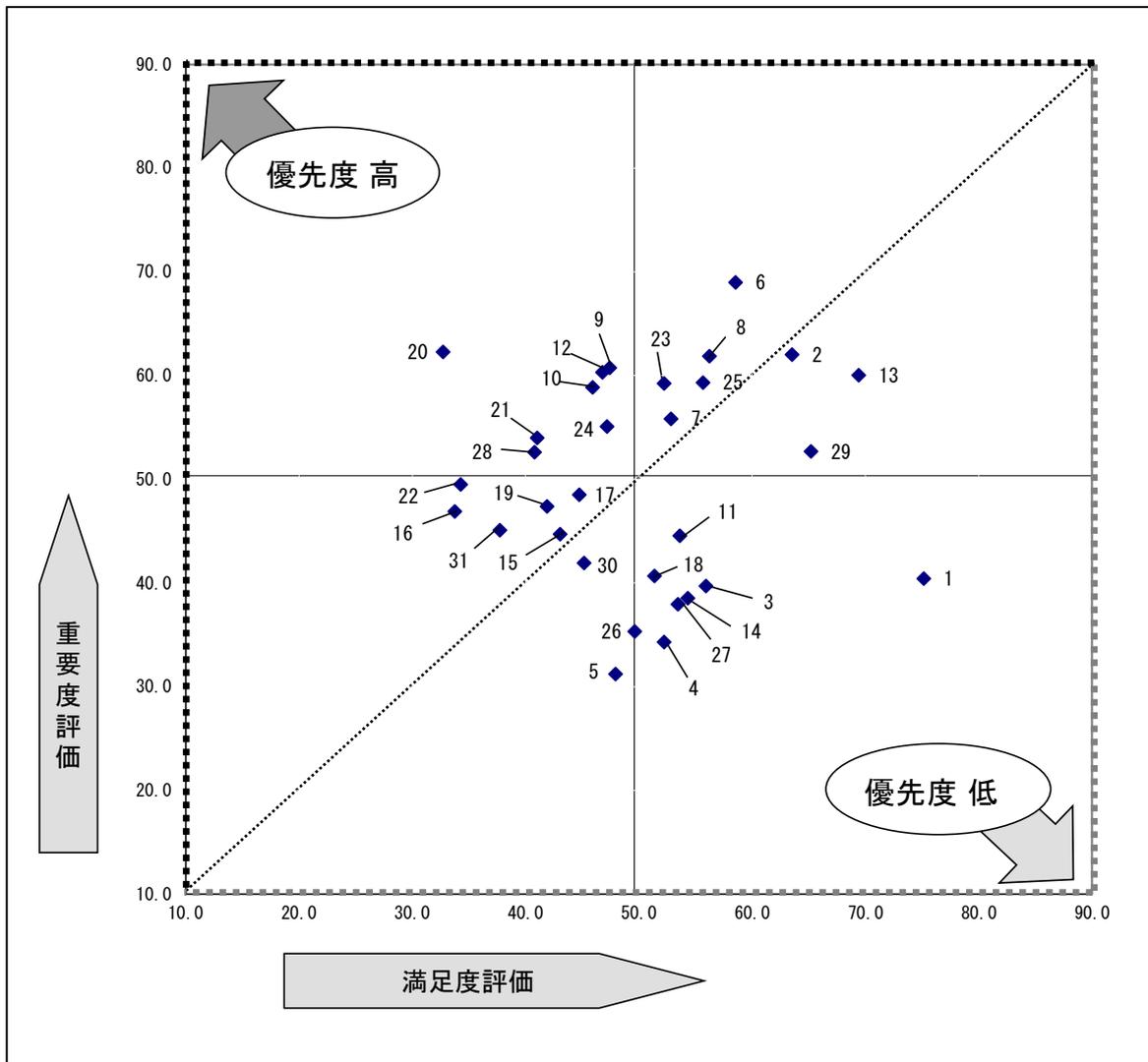
※散布図による評価点（優先度）の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
例：「効果的・効率的な行政運営」→満足度偏差値 40.80…、重要度偏差値 52.60…
- ② ①で算出した偏差値から平均（中心）からの距離を算出する。
例：「効果的・効率的な行政運営」→ $9.56… = \sqrt{(40.80-50)^2 + (52.60-50)^2}$
- ③ 平均（中心）から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。
例：「効果的・効率的な行政運営」→29.24 度
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる。）。
例：「効果的・効率的な行政運営」→ $0.6751 = (90-29.24) \times (1 \div 90)$
- ⑤ ②で算出された平均（中心）からの距離と③で算出された修正指数から優先度を算出する。
例：「効果的・効率的な行政運営」→ $6.45 = 9.56… \times 0.6751…$

距離・角度

指数の設定

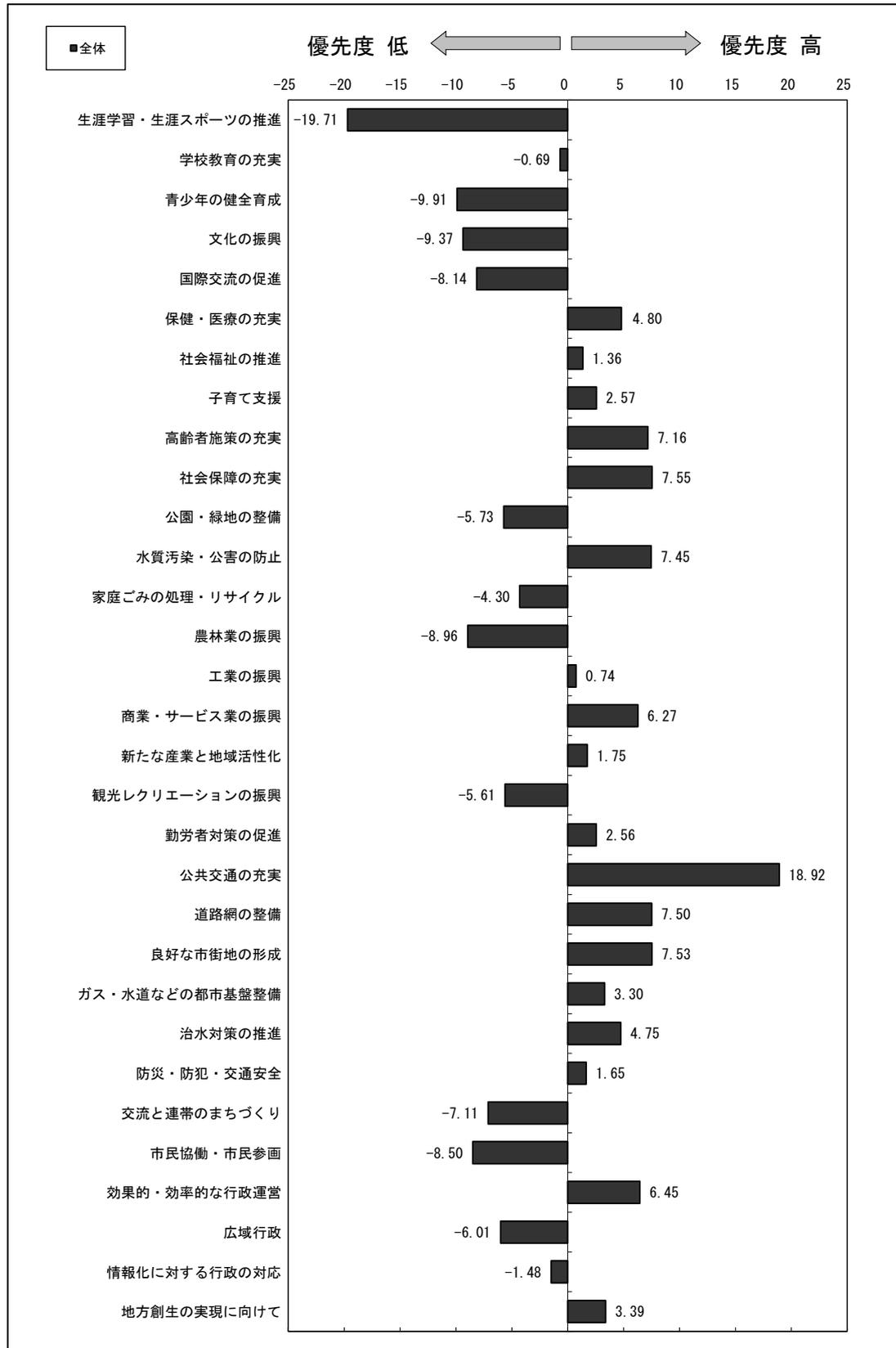
図表 65 満足度と重要度の相関（全体／優先度）



優先度高い		優先度低い	
20 公共交通の充実	31 地方創生の実現に向けて	1 生涯学習・生涯スポーツの推進	13 家庭ごみの処理・リサイクル
10 社会保障の充実	23 ガス・水道などの都市基盤整備	3 青少年の健全育成	30 情報化に対する行政の対応
22 良好な市街地の形成	8 子育て支援	4 文化の振興	2 学校教育の充実
21 道路網の整備	19 勤労者対策の促進	14 農林業の振興	
12 水質汚染・公害の防止	17 新たな産業と地域活性化	27 市民協働・市民参画	
9 高齢者施策の充実	25 防災・防犯・交通安全	5 国際交流の促進	
28 効果的・効率的な行政運営	7 社会福祉の推進	26 交流と連帯のまちづくり	
16 商業・サービス業の振興	15 工業の振興	29 広域行政	
6 保健・医療の充実		11 公園・緑地の整備	
24 治水対策の推進		18 観光レクリエーションの振興	

図表 66 満足度と重要度の相関（全体／優先度）

（単位：評価点）



10 東金市のまちづくりについて

(1) 将来に向けて目指すまちづくりのイメージ

問 34 東金市が将来に向けて目指すまちづくりは、どのような方向性がふさわしいと思いますか。【複数回答】

- 「安全・安心なまち」が他を引き離し第1位。次いで「高齢者への保健・福祉が充実したまち」、「市内交通ネットワークが便利なまち」の順。

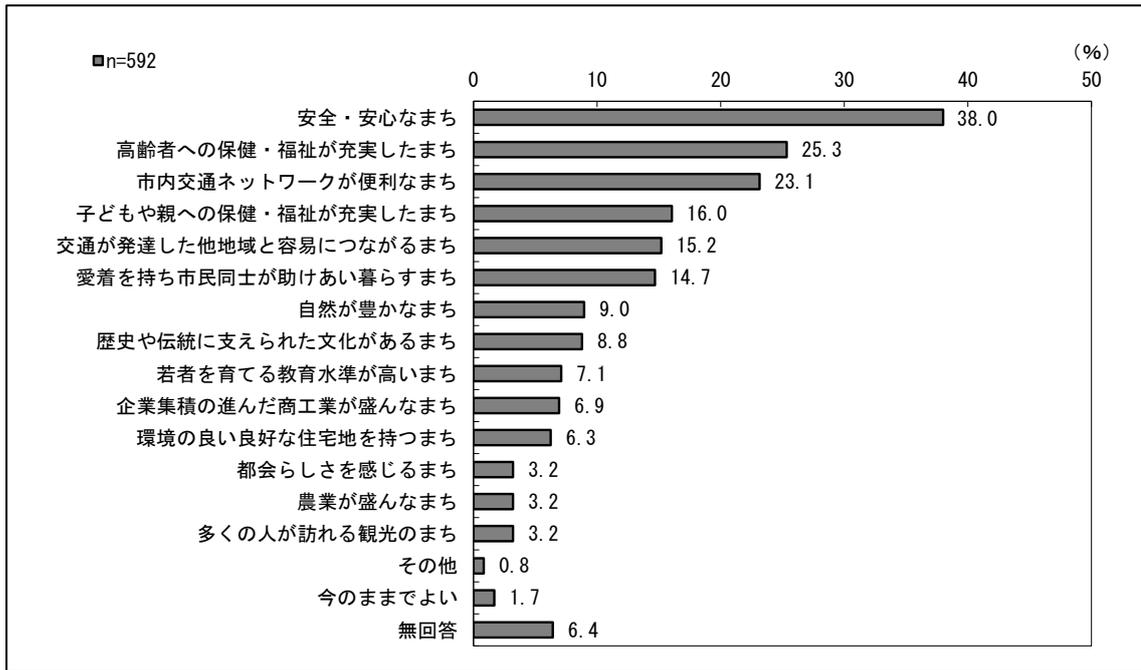
市が目指すべきまちづくりの方向性については、「安全・安心なまち」(38.0%)が最も多く、次いで「高齢者への保健・福祉が充実したまち」(25.3%)、「市内交通ネットワークが便利なまち」(23.1%)が続き、以下、「子どもや親への保健・福祉が充実したまち」(16.0%)、「交通が発達した他地域と容易につながるまち」(15.2%)、「愛着を持ち市民同士が助けあい暮らすまち」(14.7%)、「自然が豊かなまち」(9.0%)、「歴史や伝統に支えられた文化があるまち」(8.8%)、「若者を育てる教育水準が高いまち」(7.1%)、「企業集積の進んだ商工業が盛んなまち」(6.9%)、「環境の良い良好な住宅地を持つまち」(6.3%)などの順となっています。

これを属性別で見ると、性別では、上位3項目は全体と同様の傾向がみられます。

年齢では、概ね全体と同様に、ほとんどの世代で「安全・安心なまち」が第1位にあげられています。20歳代・30歳代・40歳代で「子どもや親への保健・福祉が充実したまち」(52.6%・44.8%・26.3%、40歳代では「市内交通ネットワークが便利なまち」と同率第2位)がそれぞれ第1位・第2位にあげられているほか、30歳代で「交通が発達した他地域と容易につながるまち」(24.1%)、70歳代で「愛着を持ち市民同士が助けあい暮らすまち」(21.8%)が第3位にあげられているのが特徴的です。

また、居住地区でも、ほとんどの地区で「安全・安心なまち」又は「高齢者への保健・福祉が充実したまち」のいずれかが第1位にあげられています。東金地区(日吉台・八坂台)では「市内交通ネットワークが便利なまち」(47.6%)が第1位にあげられています。[図表 67・68 参照]

図表 67 将来に向けて目指すまちづくりのイメージ（全体／複数回答）



図表 68 将来に向けて目指すまちづくりのイメージ（全体、属性別—上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		安全・安心なまち 38.0	高齢者への保健・福祉が充実したまち 25.3	市内交通ネットワークが便利なまち 23.1
性別	男性	安全・安心なまち 36.4	高齢者への保健・福祉が充実したまち 26.1	市内交通ネットワークが便利なまち 23.1
	女性	安全・安心なまち 44.9	高齢者への保健・福祉が充実したまち 24.6	市内交通ネットワークが便利なまち 23.0
年齢	20歳代	子どもや親への保健・福祉が充実したまち 52.6	安全・安心なまち 36.8	市内交通ネットワークが便利なまち 26.3
	30歳代	安全・安心なまち 48.3	子どもや親への保健・福祉が充実したまち 44.8	交通が発達した他地域と容易につながるまち 24.1
	40歳代	安全・安心なまち 38.8	市内交通ネットワークが便利なまち/子どもや親への保健・福祉が充実したまち	26.3
	50歳代	安全・安心なまち 31.4	高齢者への保健・福祉が充実したまち 28.6	市内交通ネットワークが便利なまち 27.1
	60歳代	安全・安心なまち 39.2	高齢者への保健・福祉が充実したまち 27.7	市内交通ネットワークが便利なまち 26.4
	70歳代	安全・安心なまち 38.8	高齢者への保健・福祉が充実したまち 27.9	愛着を持ち市民同士が助けあい暮らすまち 21.8
	80歳以上	安全・安心なまち 33.3	高齢者への保健・福祉が充実したまち 32.0	市内交通ネットワークが便利なまち 26.7
	職業	農林業	安全・安心なまち 44.4	農業が盛んなまち 22.2
自営業		安全・安心なまち 40.8	交通が発達した他地域と容易につながるまち 24.5	愛着を持ち市民同士が助けあい暮らすまち 22.4
会社員・公務員		安全・安心なまち 39.6	子どもや親への保健・福祉が充実したまち 24.8	市内交通ネットワークが便利なまち 23.5
会社・団体の役員		交通が発達した他地域と容易につながるまち/安全・安心なまち	31.6	若者を育てる教育水準が高いまち/子どもや親への保健・福祉が充実したまち/愛着を持ち市民同士が助けあい暮らすまち 21.1
パート・アルバイト		安全・安心なまち 40.3	高齢者への保健・福祉が充実したまち 25.8	市内交通ネットワークが便利なまち 24.2
家事専業		安全・安心なまち 34.8	市内交通ネットワークが便利なまち 30.3	高齢者への保健・福祉が充実したまち 27.3
無職		安全・安心なまち 35.5	高齢者への保健・福祉が充実したまち 33.0	市内交通ネットワークが便利なまち 23.0
その他		安全・安心なまち 40.0	市内交通ネットワークが便利なまち 30.0	高齢者への保健・福祉が充実したまち 25.0

		第1位	第2位	第3位
居住年数	5年未満	市内交通ネットワークが便利 なまち 37.3	安全・安心なまち 31.4	子どもや親への保健・福祉が充 実したまち 29.4
	5～10年未満	安全・安心なまち 40.8	子どもや親への保健・福祉が充 実したまち 24.5	市内交通ネットワークが便利 なまち/交通が発達した他地域 と容易につながるまち/高齢者 への保健・福祉が充実したまち 20.4
	10～20年未満	安全・安心なまち 35.3	市内交通ネットワークが便利 なまち 29.4	高齢者への保健・福祉が充実し たまち 28.2
	20～30年未満	安全・安心なまち 33.6	高齢者への保健・福祉が充実し たまち 32.8	市内交通ネットワークが便利 なまち 29.3
	30年以上	安全・安心なまち 41.1	高齢者への保健・福祉が充実し たまち 23.2	愛着を持ち市民同士が助けあ い暮らすまち 18.9
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新 宿・谷）	安全・安心なまち 38.4	市内交通ネットワークが便利 なまち 23.3	高齢者への保健・福祉が充実し たまち 21.9
	東金地区（日吉台・八坂台）	市内交通ネットワークが便利 なまち 47.6	安全・安心なまち 33.3	高齢者への保健・福祉が充実し たまち 28.6
	嶺南地区	安全・安心なまち 39.4	高齢者への保健・福祉が充実し たまち 24.2	市内交通ネットワークが便利 なまち/愛着を持ち市民同士が 助けあい暮らすまち 16.7
	城西地区	安全・安心なまち 31.6	高齢者への保健・福祉が充実し たまち 28.9	子どもや親への保健・福祉が充 実したまち/愛着を持ち市民同 士が助けあい暮らすまち 21.1
	田間地区	安全・安心なまち 44.9	市内交通ネットワークが便利 なまち 29.5	高齢者への保健・福祉が充実し たまち 24.4
	公平地区	安全・安心なまち 54.4	歴史や伝統に支えられた文化 があるまち 17.5	子どもや親への保健・福祉が充 実したまち/高齢者への保健・ 福祉が充実したまち/環境の良 い良好な住宅地を持つまち 15.8
	豊成地区	安全・安心なまち 37.5	愛着を持ち市民同士が助けあ い暮らすまち 23.2	市内交通ネットワークが便利 なまち/子どもや親への保健・ 福祉が充実したまち 17.9
	正気地区	安全・安心なまち 35.4	高齢者への保健・福祉が充実し たまち 23.1	市内交通ネットワークが便利 なまち/交通が発達した他地域 と容易につながるまち 21.5
	福岡地区	高齢者への保健・福祉が充実し たまち/安全・安心なまち 50.0		子どもや親への保健・福祉が充 実したまち 31.8
	大和地区	高齢者への保健・福祉が充実し たまち 30.6	安全・安心なまち 26.5	市内交通ネットワークが便利 なまち 24.5
	丘山地区	高齢者への保健・福祉が充実し たまち 43.3	市内交通ネットワークが便利 なまち 30.0	愛着を持ち市民同士が助けあ い暮らすまち 23.3
	源地区	高齢者への保健・福祉が充実し たまち 36.4	市内交通ネットワークが便利 なまち/交通が発達した他地域 と容易につながるまち/安全・ 安心なまち/愛着を持ち市民同 士が助けあい暮らすまち 18.2	

		第1位	第2位	第3位
家族構成	一人暮らし	安全・安心なまち 34.5	高齢者への保健・福祉が充実したまち 31.0	市内交通ネットワークが便利なまち 23.3
	夫婦二人	安全・安心なまち 36.6	市内交通ネットワークが便利なまち 29.8	高齢者への保健・福祉が充実したまち 25.5
	夫婦と子ども	安全・安心なまち 36.6	子どもや親への保健・福祉が充実したまち 24.8	高齢者への保健・福祉が充実したまち 23.0
	三世代（親・子・孫）	安全・安心なまち 50.8	高齢者への保健・福祉が充実したまち 22.2	市内交通ネットワークが便利なまち/愛着を持ち市民同士が助けあい暮らすまち 17.5
	その他	安全・安心なまち 37.3	高齢者への保健・福祉が充実したまち 25.3	市内交通ネットワークが便利なまち/交通が発達した他地域と容易につながるまち 19.3
住まいの形態	持家（一戸建）	安全・安心なまち 39.0	高齢者への保健・福祉が充実したまち 26.8	市内交通ネットワークが便利なまち 21.0
	持家（マンション等集合住宅）	安全・安心なまち 54.5	交通が発達した他地域と容易につながるまち 27.3	若者を育てる教育水準が高いまち/市内交通ネットワークが便利なまち/企業集積の進んだ商工業が盛んなまち/子どもや親への保健・福祉が充実したまち/愛着を持ち市民同士が助けあい暮らすまち 18.2
	賃貸（一戸建）	高齢者への保健・福祉が充実したまち 33.3	市内交通ネットワークが便利なまち/子どもや親への保健・福祉が充実したまち/安全・安心なまち	28.6
	賃貸（マンション等集合住宅）	市内交通ネットワークが便利なまち 37.5	安全・安心なまち 30.4	子どもや親への保健・福祉が充実したまち 19.6
	社宅・官舎、親の住まいに同居	安全・安心なまち 44.4	交通が発達した他地域と容易につながるまち 33.3	市内交通ネットワークが便利なまち/子どもや親への保健・福祉が充実したまち/高齢者への保健・福祉が充実したまち/環境の良い良好な住宅地を持つまち 22.2
	その他	市内交通ネットワークが便利なまち 30.8	高齢者への保健・福祉が充実したまち/安全・安心なまち	23.1

(2) コンパクトなまちづくりへの方向性

問 35 人口減少や少子高齢化が進む中、郊外への住宅開発をできるだけ抑制し、現在の市街地の範囲内で医療や子育て施設等を集約したコンパクトなまちづくりを進めるべきとの考え方が国から示されましたが、東金市のまちづくりの進め方として、どのような方向で考えていくべきだと思いますか。

- “進めるべき” が 61.7%、“進めるべきではない” が 13.6%。

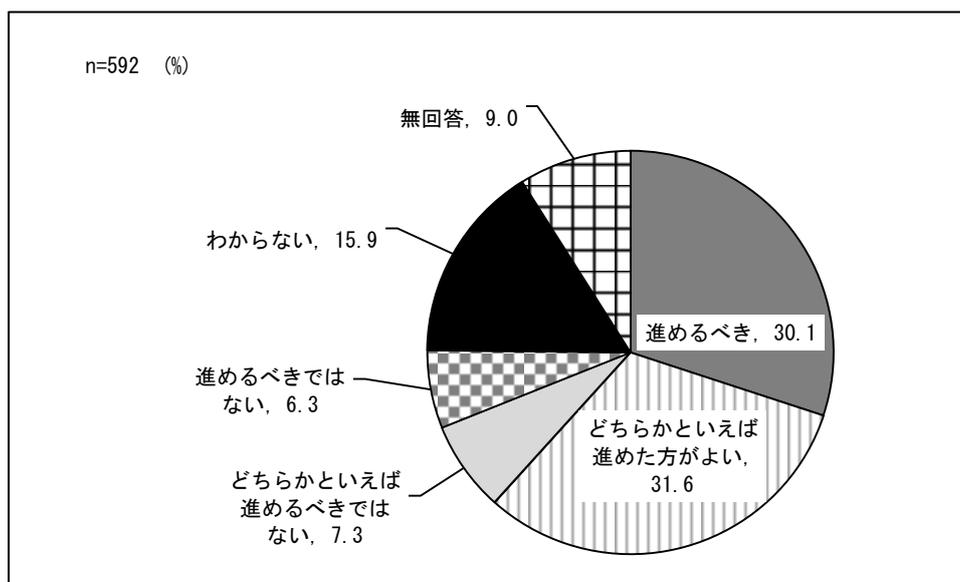
コンパクトなまちづくりへの方向性についてたずねたところ、「どちらかといえば進めた方がよい」(31.6%)が最も多く、次いで「進めるべき」(30.1%)が続き、これらをあわせた“進めるべき”が61.7%となっています。一方、“進めるべきではない”(「どちらかといえば進めるべきではない」(7.3%)と「進めるべきではない」(6.3%)の合計は13.6%となっています。

属性別で“進めるべき”率をみると、性別では、男性(65.9%)が女性(60.4%)を約6ポイント上回っています。

年齢では、50歳代(67.2%)で最も高く、ほとんどの世代で6割前後を占めています。これに対し、80歳以上(52.0%)では他の世代に比べ、やや低くなっています。

また、居住地区で“進めるべき”率をみると、田間地区(75.6%)、東金地区(日吉台・八坂台)(71.5%)で7割を超える高い比率となっていますが、最も低い豊成地区(42.9%)では5割以下にとどまる結果となっています。[図表 69・70 参照]

図表 69 コンパクトなまちづくりへの方向性 (全体)



図表 70 コンパクトなまちづくりへの方向性（全体、属性別）

（単位：％）

		合計(人)	進めるべき	どちらかといえば進めた方がよい	どちらかといえば進めるべきではない	進めるべきではない	わからない	無回答
全体		592	30.1	31.6	7.3	6.3	15.9	9.0
性別	男性	264	36.0	29.9	6.4	8.3	12.5	6.8
	女性	187	23.5	36.9	6.4	4.3	19.8	9.1
年齢	20歳代	19	31.6	31.6	15.8	10.5	10.5	0.0
	30歳代	29	24.1	34.5	13.8	10.3	17.2	0.0
	40歳代	80	30.0	28.8	12.5	8.8	18.8	1.3
	50歳代	70	28.6	38.6	10.0	10.0	10.0	2.9
	60歳代	148	32.4	31.8	8.8	4.1	16.9	6.1
	70歳代	165	34.5	28.5	1.8	4.8	15.8	14.5
	80歳以上	75	18.7	33.3	2.7	4.0	18.7	22.7
職業	農林業	18	5.6	38.9	0.0	16.7	22.2	16.7
	自営業	49	34.7	26.5	12.2	4.1	16.3	6.1
	会社員・公務員	149	30.9	32.9	8.7	11.4	13.4	2.7
	会社・団体の役員	19	26.3	31.6	15.8	10.5	10.5	5.3
	パート・アルバイト	62	33.9	27.4	4.8	3.2	21.0	9.7
	家事専業	66	24.2	39.4	7.6	4.5	15.2	9.1
	無職	200	32.5	31.0	6.0	3.0	15.5	12.0
	その他	20	20.0	25.0	0.0	5.0	20.0	30.0
居住年数	5年未満	51	27.5	27.5	15.7	9.8	13.7	5.9
	5～10年未満	49	38.8	30.6	4.1	10.2	10.2	6.1
	10～20年未満	85	31.8	31.8	9.4	4.7	16.5	5.9
	20～30年未満	116	30.2	32.8	6.0	5.2	17.2	8.6
	30年以上	285	28.4	31.9	6.0	5.6	16.8	11.2
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	73	37.0	28.8	2.7	4.1	19.2	8.2
	東金地区（日吉台・八坂台）	42	42.9	28.6	9.5	4.8	7.1	7.1
	嶺南地区	66	34.8	30.3	6.1	6.1	16.7	6.1
	城西地区	38	28.9	31.6	7.9	13.2	10.5	7.9
	田間地区	78	28.2	47.4	7.7	2.6	10.3	3.8
	公平地区	57	31.6	29.8	12.3	1.8	19.3	5.3
	豊成地区	56	14.3	28.6	10.7	12.5	23.2	10.7
	正気地区	65	27.7	27.7	6.2	10.8	15.4	12.3
	福岡地区	22	27.3	31.8	13.6	4.5	13.6	9.1
	大和地区	49	30.6	26.5	2.0	4.1	18.4	18.4
	丘山地区	30	30.0	26.7	6.7	6.7	20.0	10.0
源地区	11	9.1	45.5	0.0	0.0	18.2	27.3	
家族構成	一人暮らし	116	21.6	26.7	5.2	6.9	21.6	18.1
	夫婦二人	161	41.6	30.4	6.2	6.2	10.6	5.0
	夫婦と子ども	161	26.7	33.5	11.2	5.6	16.1	6.8
	三世代（親・子・孫）	63	27.0	28.6	7.9	7.9	20.6	7.9
	その他	83	26.5	39.8	3.6	4.8	15.7	9.6
住まいの形態	持家（一戸建）	477	31.2	31.4	7.1	5.9	14.3	10.1
	持家（マンション等集合住宅）	11	9.1	45.5	18.2	0.0	27.3	0.0
	賃貸（一戸建）	21	33.3	23.8	9.5	4.8	19.0	9.5
	賃貸（マンション等集合住宅）	56	30.4	30.4	7.1	8.9	21.4	1.8
	社宅・官舎、親の住まいに同居	9	11.1	55.6	0.0	11.1	22.2	0.0
	その他	13	7.7	30.8	0.0	7.7	38.5	15.4

(3) コンパクトなまちづくりに必要な施設

問 36 コンパクトなまちづくりを進める場合、東金駅を中心とした市街地内には、どのような施設が必要だと思いますか。【複数回答】

- 「病院や診療所などの医療施設」が第1位。次いで「日常生活に必要な店舗」、「スーパーマーケットなどの商業施設」の順。

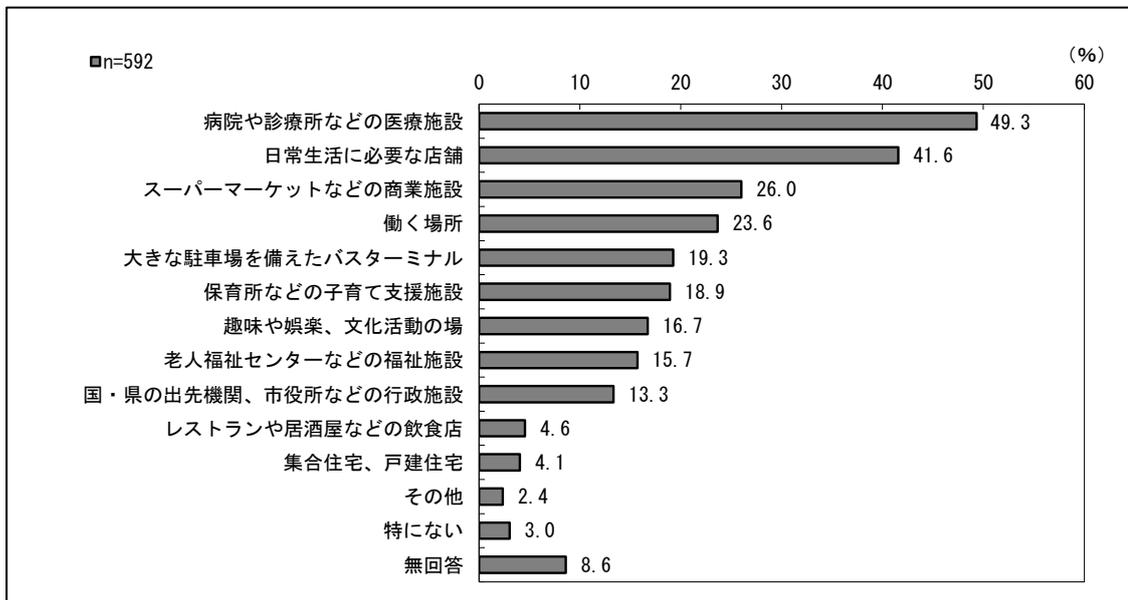
コンパクトなまちづくりに必要な施設については、「病院や診療所などの医療施設」(49.3%)が最も多く、次いで「日常生活に必要な店舗」(41.6%)が続き、以下、「スーパーマーケットなどの商業施設」(26.0%)、「働く場所」(23.6%)、「大きな駐車場を備えたバスターミナル」(19.3%)、「保育所などの子育て支援施設」(18.9%)、「趣味や娯楽、文化活動の場」(16.7%)、「老人福祉センターなどの福祉施設」(15.7%)などの順となっています。

これを属性別で見ると、すべての層で全体第1位の「病院や診療所などの医療施設」又は第2位の「日常生活に必要な店舗」のいずれかが第1位にあげられています。

年齢では、20歳代で「働く場所」(47.4%)、30歳代で「保育所などの子育て支援施設」(34.5%)、「スーパーマーケットなどの商業施設」・「働く場所」と同率第3位)、80歳以上で「老人福祉センターなどの福祉施設」(29.3%)がそれぞれ第3位にあげられています。

また、居住地区では、東金地区(日吉台・八坂台)・豊成地区で「大きな駐車場を備えたバスターミナル」(28.3%・26.8%)、豊成地区では「日常生活に必要な店舗」と同率第2位)、嶺南地区・大和地区で「働く場所」(37.9%・28.6%)、福岡地区で「趣味や娯楽、文化活動の場」(22.7%)、「老人福祉センターなどの福祉施設」と同率第3位)、源地区で「老人福祉センターなどの福祉施設」(27.3%)、「働く場所」と同率第3位)が第3位にあげられているのが特徴的です。[図表 71・72 参照]

図表 71 コンパクトなまちづくりに必要な施設 (全体/複数回答)



図表 72 コンパクトなまちづくりに必要な施設（全体、属性別—上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位	
全体		病院や診療所などの医療施設 49.3	日常生活に必要な店舗 41.6	スーパーマーケットなどの商業施設 26.0	
性別	男性	病院や診療所などの医療施設 47.7	日常生活に必要な店舗 43.9	スーパーマーケットなどの商業施設 24.6	
	女性	病院や診療所などの医療施設 54.0	日常生活に必要な店舗 42.2	スーパーマーケットなどの商業施設 28.3	
年齢	20歳代	日常生活に必要な店舗/病院や診療所などの医療施設 52.6	働く場所 47.4		
	30歳代	日常生活に必要な店舗 55.2	病院や診療所などの医療施設 48.3	スーパーマーケットなどの商業施設/保育所などの子育て支援施設/働く場所 34.5	
	40歳代	病院や診療所などの医療施設 50.0	日常生活に必要な店舗 40.0	スーパーマーケットなどの商業施設 33.8	
	50歳代	病院や診療所などの医療施設 57.1	日常生活に必要な店舗 40.0	スーパーマーケットなどの商業施設 32.9	
	60歳代	病院や診療所などの医療施設 50.7	日常生活に必要な店舗 37.2	スーパーマーケットなどの商業施設 24.3	
	70歳代	病院や診療所などの医療施設 46.1	日常生活に必要な店舗 40.6	スーパーマーケットなどの商業施設 23.0	
	80歳以上	日常生活に必要な店舗 45.3	病院や診療所などの医療施設 44.0	老人福祉センターなどの福祉施設 29.3	
	職業	農林業	病院や診療所などの医療施設 44.4	日常生活に必要な店舗 38.9	大きな駐車場を備えたバスターミナル 33.3
自営業		病院や診療所などの医療施設 49.0	日常生活に必要な店舗 44.9	保育所などの子育て支援施設 28.6	
会社員・公務員		病院や診療所などの医療施設 57.0	日常生活に必要な店舗 43.0	働く場所 28.9	
会社・団体の役員		病院や診療所などの医療施設 42.1	保育所などの子育て支援施設 31.6	働く場所 26.3	
パート・アルバイト		日常生活に必要な店舗 50.0	病院や診療所などの医療施設 41.9	働く場所 38.7	
家事専業		病院や診療所などの医療施設 60.6	日常生活に必要な店舗 42.4	スーパーマーケットなどの商業施設 36.4	
無職		病院や診療所などの医療施設 46.5	日常生活に必要な店舗 40.0	スーパーマーケットなどの商業施設 23.5	
その他		日常生活に必要な店舗/スーパーマーケットなどの商業施設/働く場所			30.0

		第1位	第2位	第3位
居住年数	5年未満	日常生活に必要な店舗 51.0	病院や診療所などの医療施設 45.1	保育所などの子育て支援施設/ 働く場所 29.4
	5～10年未満	病院や診療所などの医療施設 51.0	日常生活に必要な店舗 42.9	スーパーマーケットなどの商 業施設/働く場所 30.6
	10～20年未満	病院や診療所などの医療施設 48.2	日常生活に必要な店舗 37.6	働く場所 28.2
	20～30年未満	病院や診療所などの医療施設 49.1	日常生活に必要な店舗 35.3	スーパーマーケットなどの商 業施設 33.6
	30年以上	病院や診療所などの医療施設 49.8	日常生活に必要な店舗 43.2	スーパーマーケットなどの商 業施設 22.8
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新 宿・谷）	病院や診療所などの医療施設 64.4	日常生活に必要な店舗 45.2	スーパーマーケットなどの商 業施設 30.1
	東金地区（日吉台・八坂台）	日常生活に必要な店舗 47.6	病院や診療所などの医療施設 40.5	大きな駐車場を備えたバスタ ーミナル 28.6
	嶺南地区	病院や診療所などの医療施設 54.5	日常生活に必要な店舗 39.4	働く場所 37.9
	城西地区	日常生活に必要な店舗 47.4	スーパーマーケットなどの商 業施設 34.2	病院や診療所などの医療施設 31.6
	田間地区	日常生活に必要な店舗 48.7	病院や診療所などの医療施設 43.6	スーパーマーケットなどの商 業施設 30.8
	公平地区	病院や診療所などの医療施設 57.9	日常生活に必要な店舗 38.6	スーパーマーケットなどの商 業施設 29.8
	豊成地区	病院や診療所などの医療施設 46.4	日常生活に必要な店舗/大きな駐車場を備えたバスタ ーミナル 26.8	
	正気地区	日常生活に必要な店舗/病院や診療所などの医療施設 44.6		スーパーマーケットなどの商 業施設 26.2
	福岡地区	病院や診療所などの医療施設 50.0	日常生活に必要な店舗 45.5	スーパーマーケットなどの商 業施設/老人福祉センターなど の福祉施設/趣味や娯楽、文化 活動の場 22.7
	大和地区	病院や診療所などの医療施設 49.0	日常生活に必要な店舗 38.8	働く場所 28.6
	丘山地区	病院や診療所などの医療施設 53.3	スーパーマーケットなどの商 業施設 30.0	日常生活に必要な店舗 26.7
	源地区	日常生活に必要な店舗 45.5	病院や診療所などの医療施設 36.4	老人福祉センターなどの福祉 施設/働く場所 27.3

		第1位	第2位	第3位
家族構成	一人暮らし	病院や診療所などの医療施設 40.5	日常生活に必要な店舗 36.2	スーパーマーケットなどの商業施設/働く場所 22.4
	夫婦二人	病院や診療所などの医療施設 55.3	日常生活に必要な店舗 42.9	スーパーマーケットなどの商業施設 26.7
	夫婦と子ども	病院や診療所などの医療施設 49.1	日常生活に必要な店舗 42.9	保育所などの子育て支援施設/働く場所 26.1
	三世代（親・子・孫）	病院や診療所などの医療施設 58.7	日常生活に必要な店舗 36.5	スーパーマーケットなどの商業施設 28.6
	その他	日常生活に必要な店舗/病院や診療所などの医療施設	働く場所 44.6	33.7
住まいの形態	持家（一戸建）	病院や診療所などの医療施設 51.2	日常生活に必要な店舗 40.0	スーパーマーケットなどの商業施設 26.2
	持家（マンション等集合住宅）	日常生活に必要な店舗/働く場所	54.5	スーパーマーケットなどの商業施設 36.4
	賃貸（一戸建）	病院や診療所などの医療施設 52.4	働く場所 47.6	日常生活に必要な店舗 42.9
	賃貸（マンション等集合住宅）	日常生活に必要な店舗 50.0	病院や診療所などの医療施設 42.9	趣味や娯楽、文化活動の場 32.1
	社宅・官舎、親の住まいに同居	病院や診療所などの医療施設 55.6	日常生活に必要な店舗 44.4	趣味や娯楽、文化活動の場/大きな駐車場を備えたバスターミナル/働く場所 33.3
	その他	日常生活に必要な店舗 38.5	老人福祉センターなどの福祉施設/働く場所	30.8

(4) 行うべき道路整備について

問 37 少子高齢化、人口減少が進む中、東金市が持続していくためには、どのような性格の道路整備を行うべきだと思いますか。【複数回答】

- 「自転車や歩行者などに配慮した道路への改修」が他を引き離し第1位。次いで「地域間の道路整備」、「幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺）」の順。

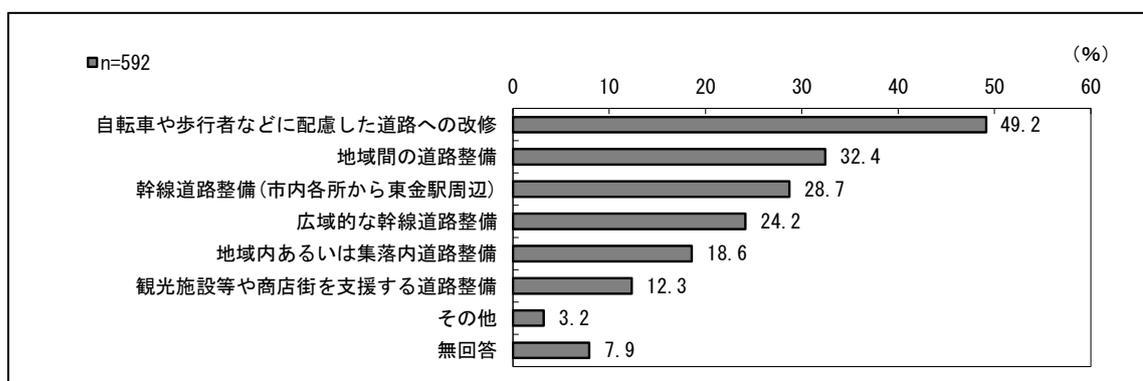
今後行うべき道路整備については、「自転車や歩行者などに配慮した道路への改修」（49.2%）が最も多く、次いで「地域間の道路整備」（32.4%）が続き、以下、「幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺）」（28.7%）、「広域的な幹線道路整備」（24.2%）、「地域内あるいは集落内道路整備」（18.6%）、「観光施設等や商店街を支援する道路整備」（12.3%）などの順となっています。

これを属性別で見ると、上位3項目は概ね全体と同様の傾向がみられます。

年齢では、全体と同様、ほとんどの世代で「自転車や歩行者などに配慮した道路への改修」が第1位となっていますが、30歳代では「広域的な幹線道路整備」（51.7%）が第1位にあげられています。

また、居住地区では、源地区で「地域内あるいは集落内道路整備」（36.4%、「自転車や歩行者などに配慮した道路への改修」と同率第1位）が第1位にあげられているほか、嶺南地区・正気地区・福岡地区でも上位3項目にあげられているほか、東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）では「観光施設等や商店街を支援する道路整備」（23.3%）、嶺南地区・城西地区・田間地区・豊成地区・大和地区では「広域的な幹線道路整備」（28.8%・36.8%・29.5%・30.4%・28.6%、嶺南地区では「地域内あるいは集落内道路整備」と同率第3位）が上位3項目にあげられています。[図表 73・74 参照]

図表 73 行うべき道路整備について（全体／複数回答）



図表 74 行うべき道路整備について（全体、属性別—上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 49.2	地域間の道路整備 32.4	幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺） 28.7
性別	男性	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 48.1	地域間の道路整備 36.0	幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺） 27.3
	女性	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 49.7	幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺） 31.0	地域間の道路整備 29.4
年齢	20歳代	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 57.9	幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺） 52.6	地域間の道路整備 31.6
	30歳代	広域的な幹線道路整備 51.7	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 44.8	地域間の道路整備 34.5
	40歳代	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 45.0	幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺） 38.8	地域間の道路整備 37.5
	50歳代	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 54.3	幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺）／地域間の道路整備 25.7	
	60歳代	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 52.7	地域間の道路整備 37.8	幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺） 25.7
	70歳代	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 47.9	地域間の道路整備 29.7	幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺） 27.3
	80歳以上	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 45.3	幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺） 30.7	地域間の道路整備 25.3
	職業	農林業	地域間の道路整備／地域内あるいは集落内道路整備／自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 38.9	
自営業		自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 46.9	幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺） 38.8	広域的な幹線道路整備／地域内あるいは集落内道路整備 22.4
会社員・公務員		自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 51.7	地域間の道路整備 39.6	広域的な幹線道路整備 31.5
会社・団体の役員		広域的な幹線道路整備／自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 42.1	幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺）／地域間の道路整備 26.3	
パート・アルバイト		自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 53.2	地域間の道路整備 35.5	広域的な幹線道路整備／幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺） 21.0
家事専業		自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 62.1	幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺） 33.3	地域間の道路整備 19.7
無職		自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 44.0	地域間の道路整備 32.5	幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺） 28.0
その他		自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 55.0	地域間の道路整備 30.0	幹線道路整備（市内各所から東金駅周辺） 25.0

		第1位	第2位	第3位
居住年数	5年未満	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 54.9	地域間の道路整備 37.3	広域的な幹線道路整備 35.3
	5～10年未満	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 51.0	地域間の道路整備 32.7	広域的な幹線道路整備 30.6
	10～20年未満	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 43.5	地域間の道路整備 35.3	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 31.8
	20～30年未満	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 53.4	地域間の道路整備 32.8	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 28.4
	30年以上	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 48.1	地域間の道路整備 29.8	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 28.1
居住地区	東金地区(上宿・岩崎・新宿・谷)	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 53.4	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 38.4	観光施設等や商店街を支援する道路整備 23.3
	東金地区(日吉台・八坂台)	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 45.2	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 42.9	地域間の道路整備 40.5
	嶺南地区	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 50.0	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 33.3	広域的な幹線道路整備/地域内あるいは集落内道路整備 28.8
	城西地区	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 50.0	広域的な幹線道路整備 36.8	地域間の道路整備 34.2
	田間地区	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 55.1	地域間の道路整備 41.0	広域的な幹線道路整備 29.5
	公平地区	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 50.9	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺)/地域間の道路整備 29.8	
	豊成地区	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 44.6	地域間の道路整備 33.9	広域的な幹線道路整備 30.4
	正気地区	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 50.8	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 29.2	地域内あるいは集落内道路整備 27.7
	福岡地区	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 63.6	地域内あるいは集落内道路整備 45.5	地域間の道路整備 36.4
	大和地区	地域間の道路整備 42.9	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 36.7	広域的な幹線道路整備 28.6
	丘山地区	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 43.3	地域間の道路整備 40.0	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 26.7
	源地区	地域内あるいは集落内道路整備/自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 36.4		幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺)/地域間の道路整備 27.3

		第1位	第2位	第3位
家族構成	一人暮らし	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 50.0	地域間の道路整備 30.2	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 25.0
	夫婦二人	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 50.3	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 33.5	地域間の道路整備 32.3
	夫婦と子ども	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 48.4	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 30.4	地域間の道路整備 29.2
	三世代(親・子・孫)	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 44.4	地域間の道路整備 31.7	広域的な幹線道路整備/幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 23.8
	その他	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 51.8	地域間の道路整備 37.3	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 27.7
住まいの形態	持家(一戸建)	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 46.5	地域間の道路整備 31.9	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 31.0
	持家(マンション等集合住宅)	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 45.5	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 36.4	地域間の道路整備 36.4
	賃貸(一戸建)	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 76.2	地域間の道路整備 33.3	広域的な幹線道路整備 23.8
	賃貸(マンション等集合住宅)	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 60.7	広域的な幹線道路整備 33.9	地域間の道路整備 30.4
	社宅・官舎、親の住まいに同居	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 66.7	地域間の道路整備 44.4	広域的な幹線道路整備/幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 22.2
	その他	自転車や歩行者などに配慮した道路への改修 46.2	地域間の道路整備 30.8	幹線道路整備(市内各所から東金駅周辺) 23.1

(5) 公園・緑に対する考え方

問 38 超高齢化社会が目前にせまる中、健康長寿につながり、憩いの場にもなる「公園・緑」といったものに対するあなたの考えに近いものはどれですか。【複数回答】

- 「防災施設を備えた公園整備」が他を引き離し第1位。次いで「水辺空間の保全と活用」、「身近なところで安らげる小規模な公園整備」の順。

公園・緑に対する考え方については、「防災施設を備えた公園整備」(52.5%)が最も多く、次いで「水辺空間の保全と活用」(38.0%)、「身近なところで安らげる小規模な公園整備」(37.3%)が続き、以下、「身近な自然の保全と活用」(30.4%)、「スポーツやレジャー機能に特化した公園整備」(26.5%)、「東金市を象徴する特徴のある公園整備」(23.8%)、「農地の保全と活用」(17.2%)、「鎮守の杜などの保全と活用」(10.1%)などの順となっています。

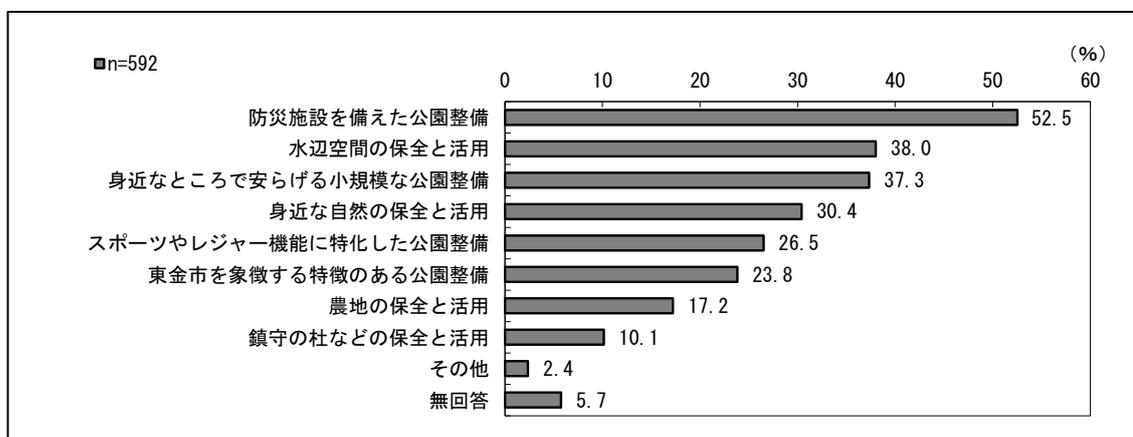
これを属性別でみると、上位3項目は概ね全体と同様の傾向がみられますが、性別では、女性で「スポーツやレジャー機能に特化した公園整備」(33.7%)、「身近なところで安らげる小規模な公園整備」と同率第3位)が第3位にあげられています。

年齢では、20歳代・30歳代で「スポーツやレジャー機能に特化した公園整備」(73.7%・51.7%)が第1位にあげられているほか、40歳代・50歳代でも第3位にあげられています。また、60歳代では「身近な自然の保全と活用」(39.9%)、「水辺空間の保全と活用」と同率第2位)が第2位にあげられています。

また、居住地区では、東金地区(日吉台・八坂台)・公平地区・正気地区・丘山地区・源地区で「身近な自然の保全と活用」(50.0%・35.1%・33.8%・43.3%・36.4%)、源地区では「身近なところで安らげる小規模な公園整備」と同率第3位)、嶺南地区で「スポーツやレジャー機能に特化した公園整備」(30.3%)が上位3項目にあげられています。

[図表 75・76 参照]

図表 75 公園・緑に対する考え方(全体/複数回答)



図表 76 公園・緑に対する考え方（全体、属性別—上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		防災施設を備えた公園整備 52.5	水辺空間の保全と活用 38.0	身近なところで安らげる小規模な公園整備 37.3
性別	男性	防災施設を備えた公園整備 50.8	水辺空間の保全と活用 43.9	身近なところで安らげる小規模な公園整備 35.6
	女性	防災施設を備えた公園整備 55.1	スポーツやレジャー機能に特化した公園整備/身近なところで安らげる小規模な公園整備 33.7	
年齢	20歳代	スポーツやレジャー機能に特化した公園整備 73.7	防災施設を備えた公園整備 47.4	身近なところで安らげる小規模な公園整備/水辺空間の保全と活用 42.1
	30歳代	スポーツやレジャー機能に特化した公園整備 51.7	防災施設を備えた公園整備/身近なところで安らげる小規模な公園整備/水辺空間の保全と活用 48.3	
	40歳代	防災施設を備えた公園整備 50.0	水辺空間の保全と活用 37.5	スポーツやレジャー機能に特化した公園整備/身近なところで安らげる小規模な公園整備 36.3
	50歳代	防災施設を備えた公園整備 54.3	水辺空間の保全と活用 34.3	スポーツやレジャー機能に特化した公園整備 31.4
	60歳代	防災施設を備えた公園整備 63.5	身近な自然の保全と活用/水辺空間の保全と活用 39.9	
	70歳代	防災施設を備えた公園整備 47.3	身近なところで安らげる小規模な公園整備 40.0	水辺空間の保全と活用 37.6
	80歳以上	防災施設を備えた公園整備 46.7	身近なところで安らげる小規模な公園整備 42.7	水辺空間の保全と活用 32.0
	職業	農林業	農地の保全と活用 72.2	水辺空間の保全と活用 44.4
自営業		防災施設を備えた公園整備 61.2	水辺空間の保全と活用 49.0	身近な自然の保全と活用 34.7
会社員・公務員		防災施設を備えた公園整備 49.7	水辺空間の保全と活用 47.0	スポーツやレジャー機能に特化した公園整備 35.6
会社・団体の役員		防災施設を備えた公園整備 68.4	水辺空間の保全と活用 42.1	スポーツやレジャー機能に特化した公園整備/身近なところで安らげる小規模な公園整備/身近な自然の保全と活用 31.6
パート・アルバイト		防災施設を備えた公園整備 61.3	スポーツやレジャー機能に特化した公園整備 35.5	身近なところで安らげる小規模な公園整備 33.9
家事専業		防災施設を備えた公園整備 53.0	身近なところで安らげる小規模な公園整備 40.9	身近な自然の保全と活用 36.4
無職		防災施設を備えた公園整備 51.0	身近なところで安らげる小規模な公園整備 43.5	身近な自然の保全と活用 33.0
その他		防災施設を備えた公園整備/水辺空間の保全と活用 45.0		スポーツやレジャー機能に特化した公園整備 35.0

		第1位	第2位	第3位
居住年数	5年未満	防災施設を備えた公園整備 47.1	水辺空間の保全と活用 37.3	スポーツやレジャー機能に特化した公園整備/身近なところで安らげる小規模な公園整備/身近な自然の保全と活用 35.3
	5～10年未満	防災施設を備えた公園整備/水辺空間の保全と活用 49.0		身近な自然の保全と活用 36.7
	10～20年未満	防災施設を備えた公園整備 55.3	身近なところで安らげる小規模な公園整備 38.8	スポーツやレジャー機能に特化した公園整備 36.5
	20～30年未満	防災施設を備えた公園整備 58.6	水辺空間の保全と活用 37.9	身近なところで安らげる小規模な公園整備 37.1
	30年以上	防災施設を備えた公園整備 50.5	身近なところで安らげる小規模な公園整備 38.9	水辺空間の保全と活用 36.8
居住地区	東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）	水辺空間の保全と活用 49.3	防災施設を備えた公園整備 47.9	身近なところで安らげる小規模な公園整備 35.6
	東金地区（日吉台・八坂台）	防災施設を備えた公園整備 59.5	身近な自然の保全と活用 50.0	水辺空間の保全と活用 40.5
	嶺南地区	防災施設を備えた公園整備 57.6	身近なところで安らげる小規模な公園整備 45.5	スポーツやレジャー機能に特化した公園整備 30.3
	城西地区	防災施設を備えた公園整備 57.9	身近なところで安らげる小規模な公園整備 42.1	水辺空間の保全と活用 39.5
	田間地区	防災施設を備えた公園整備 52.6	水辺空間の保全と活用 41.0	身近なところで安らげる小規模な公園整備 38.5
	公平地区	防災施設を備えた公園整備 56.1	水辺空間の保全と活用 38.6	身近な自然の保全と活用 35.1
	豊成地区	防災施設を備えた公園整備 42.9	身近なところで安らげる小規模な公園整備 37.5	水辺空間の保全と活用 33.9
	正気地区	防災施設を備えた公園整備 56.9	身近なところで安らげる小規模な公園整備 35.4	身近な自然の保全と活用 33.8
	福岡地区	身近なところで安らげる小規模な公園整備/水辺空間の保全と活用 45.5		防災施設を備えた公園整備 40.9
	大和地区	防災施設を備えた公園整備 49.0	身近なところで安らげる小規模な公園整備 40.8	水辺空間の保全と活用 36.7
	丘山地区	防災施設を備えた公園整備 46.7	身近な自然の保全と活用 43.3	水辺空間の保全と活用 40.0
	源地区	防災施設を備えた公園整備 63.6	身近なところで安らげる小規模な公園整備/身近な自然の保全と活用	36.4

		第1位	第2位	第3位
家族構成	一人暮らし	防災施設を備えた公園整備 45.7	身近なところで安らげる小規模な公園整備 36.2	身近な自然の保全と活用 34.5
	夫婦二人	防災施設を備えた公園整備 53.4	身近なところで安らげる小規模な公園整備 41.6	水辺空間の保全と活用 39.1
	夫婦と子ども	防災施設を備えた公園整備 54.7	水辺空間の保全と活用 38.5	スポーツやレジャー機能に特化した公園整備 36.0
	三世代（親・子・孫）	防災施設を備えた公園整備 57.1	水辺空間の保全と活用 41.3	身近なところで安らげる小規模な公園整備 28.6
	その他	防災施設を備えた公園整備 53.0	身近なところで安らげる小規模な公園整備 41.0	水辺空間の保全と活用 36.1
住まいの形態	持家（一戸建）	防災施設を備えた公園整備 55.1	水辺空間の保全と活用 37.7	身近なところで安らげる小規模な公園整備 36.9
	持家（マンション等集合住宅）	防災施設を備えた公園整備 63.6	東金市を象徴する特徴のある公園整備/身近なところで安らげる小規模な公園整備 36.4	
	賃貸（一戸建）	防災施設を備えた公園整備 38.1	スポーツやレジャー機能に特化した公園整備/身近なところで安らげる小規模な公園整備/水辺空間の保全と活用 33.3	
	賃貸（マンション等集合住宅）	防災施設を備えた公園整備 46.4	身近なところで安らげる小規模な公園整備 44.6	スポーツやレジャー機能に特化した公園整備 41.1
	社宅・官舎、親の住まいに同居	水辺空間の保全と活用 77.8	身近な自然の保全と活用 44.4	スポーツやレジャー機能に特化した公園整備/防災施設を備えた公園整備 33.3
	その他	身近なところで安らげる小規模な公園整備/水辺空間の保全と活用 38.5		東金市を象徴する特徴のある公園整備/スポーツやレジャー機能に特化した公園整備/農地の保全と活用 30.8

第23回東金市民アンケート調査報告書

令和元年11月

調査・発行／東金市役所企画政策部企画課

〒283-8511 千葉県東金市東岩崎 1-1

TEL0475-50-1122
